

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第196集

市内遺跡発掘調査報告書2010

2012.3

佐久市教育委員会

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第196集

市内遺跡発掘調査報告書 2010

2012. 3

佐久市教育委員会

例 言

1. 本書は、2010年度（平成22年度）において個人住宅・民間開発及び公共開発に関わる発掘調査を実施した市内遺跡発掘調査報告書である。

2. 市内遺跡発掘調査の費用は、全額を国庫補助金及び市費の公費により賄った。

3. 調査組織

2010年度（平成22年度）

調査主体者 佐久市教育委員会

教 育 長 土屋 盛夫

事 務 局 社会教育部長 工藤 秀康

文化財課長 森角 吉晴

文化財調査係長 三石 宗一

文化財調査係 林 幸彦

小林真寿

上原 学

並木節子

羽毛田卓也

井出泰章

須藤隆司

富沢一明

出澤 力

4. 各遺跡の執筆は調査担当者が行い、加筆・編集は林が行った。

5. 本誌掲載の関係資料等は、佐久市教育委員会の責任下に保管してある。

目 次

1 試掘調査			
1 松の木遺跡 9	1	48 野沢城跡22	50
2 小山の神B遺跡 2	3	49 岩村田遺跡群128	51
3 白山遺跡群 6	4	50 三分遺跡群 2	51
4 松の木遺跡10	5	51 大塚遺跡群 9	52
5 岩村田遺跡群126	6	52 岩村田遺跡群129	52
6 白山遺跡群 7	8	53 西妻神遺跡 4	53
7 像ヶ岡遺跡	9	54 浅井城跡 4	53
8 西近津遺跡群12	10	55 蛇塚遺跡群25	54
9 大塚遺跡群 8	11	56 野馬窪遺跡群10	54
10 西近津遺跡群13	12	57 扇田遺跡 2	55
11 高師町遺跡群 9	13	58 周防畑遺跡群58	55
12 西近津遺跡群14	14	59 五本木遺跡 (外20件別紙一覽)	56
13 野馬窪遺跡群 9	15	60 社宮司遺跡 3	56
14 望月城跡	16	61 周防畑遺跡群59	57
15 中道遺跡群13	18	62 日向屋敷遺跡	57
16 岩村田遺跡群127	19	63 西大久保遺跡群15	58
17 城下遺跡 5	20	64 西大久保遺跡群16	58
18 荒船湖遺跡群 2	21	65 龍岡城跡 6	59
19 枇杷坂遺跡群69	22	66 樋口遺跡	59
20 周防畑遺跡群54	23	67 原遺跡 3	60
21 馬瀬口遺跡群 5・高師町遺跡群10	24	68 東大久保遺跡群12	60
22 上滝遺跡 2・中滝遺跡 2・下滝遺跡 3	26	69 馬瀬口遺跡群 6	61
23 田口館跡 2	27	70 平賀中屋敷遺跡群14	61
24 尼塚遺跡群 2	28	71 上砂田遺跡 5	62
25 西赤座遺跡14	29	72 大沢屋敷遺跡	62
26 権現山遺跡群 2	30	73 町浦遺跡	63
27 深堀遺跡群 7	31	74 神明B遺跡	63
28 宮の上遺跡群18	32	75 山ノ畑遺跡	64
29 宮の上遺跡群19	33	76 黒田A遺跡 2	64
30 前田遺跡群13	34	77 大井城跡 3	65
31 周防畑遺跡群55	35	78 岩村田遺跡群130	65
32 宮の上遺跡群20	36	79 松の木遺跡11	66
33 宮の上遺跡群21	37	80 大井城跡 4	66
34 塚原屋敷添遺跡 5	38	81 筒畑遺跡群 4	67
35 上ノ段遺跡	39	82 曾根城遺跡 2・芝宮遺跡群26	67
36 周防畑遺跡群56	40	83 大井城跡 5	68
37 跡部儘田遺跡群	41	84 周防畑遺跡群60	68
38 原遺跡 2	42	85 西大久保遺跡群17	69
39 周防畑遺跡群57	43	86 筒畑遺跡群 5	69
40 平賀中屋敷遺跡群13	44	87 栗毛坂遺跡群50	70
41 蛇塚遺跡群24	45	88 岩村田遺跡群131	70
42 包蔵地外	46	3 本調査報告書	
2 立会調査		西一本柳遺跡群西一本柳遺跡 X IX	71
43 田口館跡 3	48	周防畑遺跡群南近津遺跡 V	82
44 上平遺跡群 4	48	周防畑遺跡群南近津遺跡IV	87
45 新町遺跡11	49	2010年度(平成22年度)市内遺跡発掘調査一覽表	92
46 龍岡城跡 4	49	2010年度(平成22年度)五本木遺跡他20件位置図	94
47 龍岡城跡 5	50	2010年度(平成22年度)市内遺跡発掘調査位置図	95

1 試掘調査報告

試掘調査

1 松の木遺跡9

所在地 佐久市岩村田下塚本1361 外

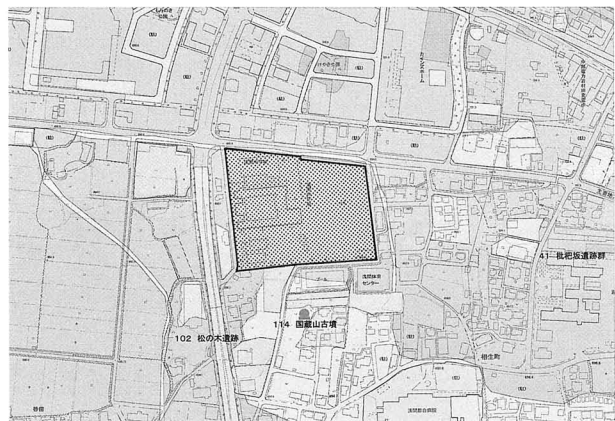
開発主体者 佐久市教育施設課

開発事業名 浅間中学校整備事業

調査期間 平成22年10月21・22日、
11月1・2・4日

調査面積 380㎡ (開発面積36,000㎡)

調査担当者 上原 学

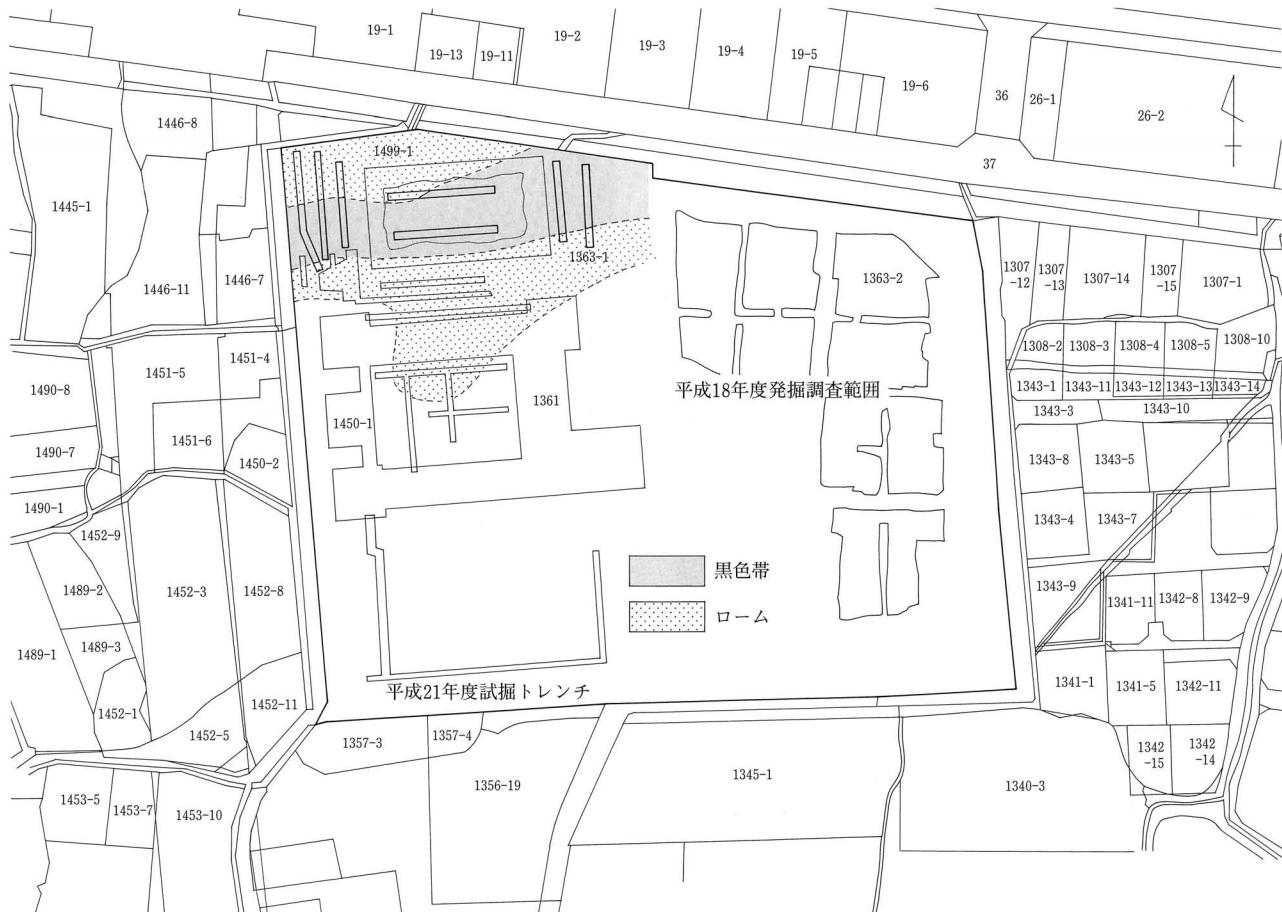


松の木遺跡9位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

中学校建設のグラウンド造成等に伴い試掘調査を実施した。今年度は学校用地北西の体育館が存在していた地域周辺である。調査は体育館西側に南北方向のトレンチ3本、体育館跡地に東西方向のトレンチ2本、体育館東側に南北方向のトレンチ2本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、東西方向に粘質の黒色土が堆積しており、北側で確認できた砂層直下のロームも水性であり、一帯は低地帯であることが確認できた。調査では遺構・遺物は認められなかった。

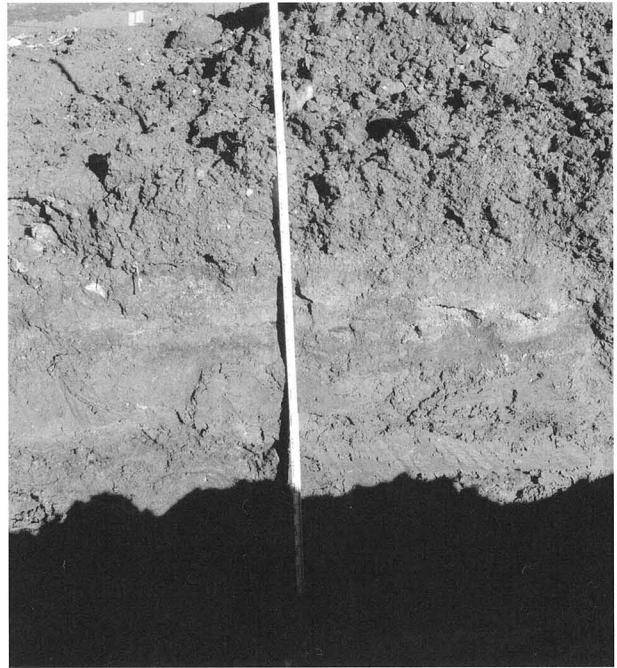
本年度調査箇所における、本調査の必要はない。



松の木遺跡9調査全体図 (1 : 1,000)



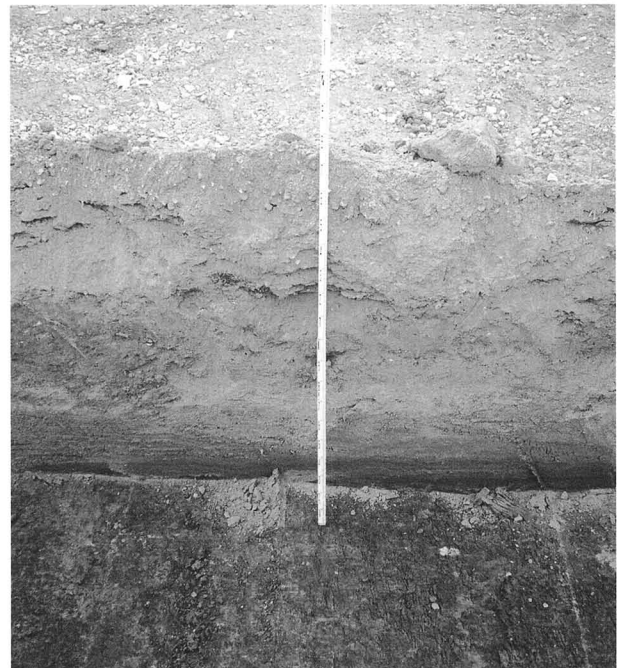
試掘トレンチ



堆積状況



試掘トレンチ

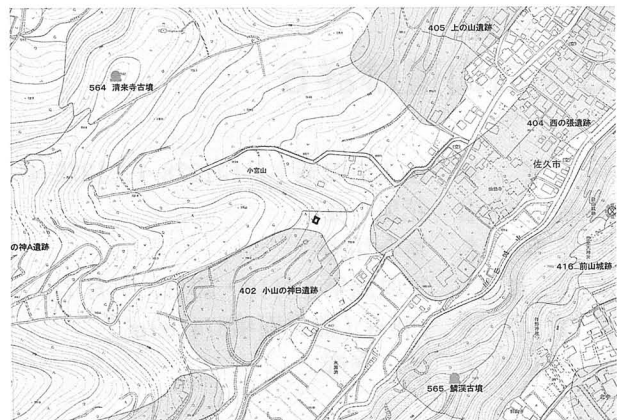


堆積状況

試掘調査

2 小山の神B遺跡2

所在地 佐久市小宮山字布替戸651
開発主体者 碓井 正雄
開発事業名 墓地造成
調査期間 平成22年4月28日～5月7日
調査面積 74㎡（開発面積179㎡）
調査担当者 林 幸彦



小山の神B遺跡2位置図（1：10,000）

調査の結果

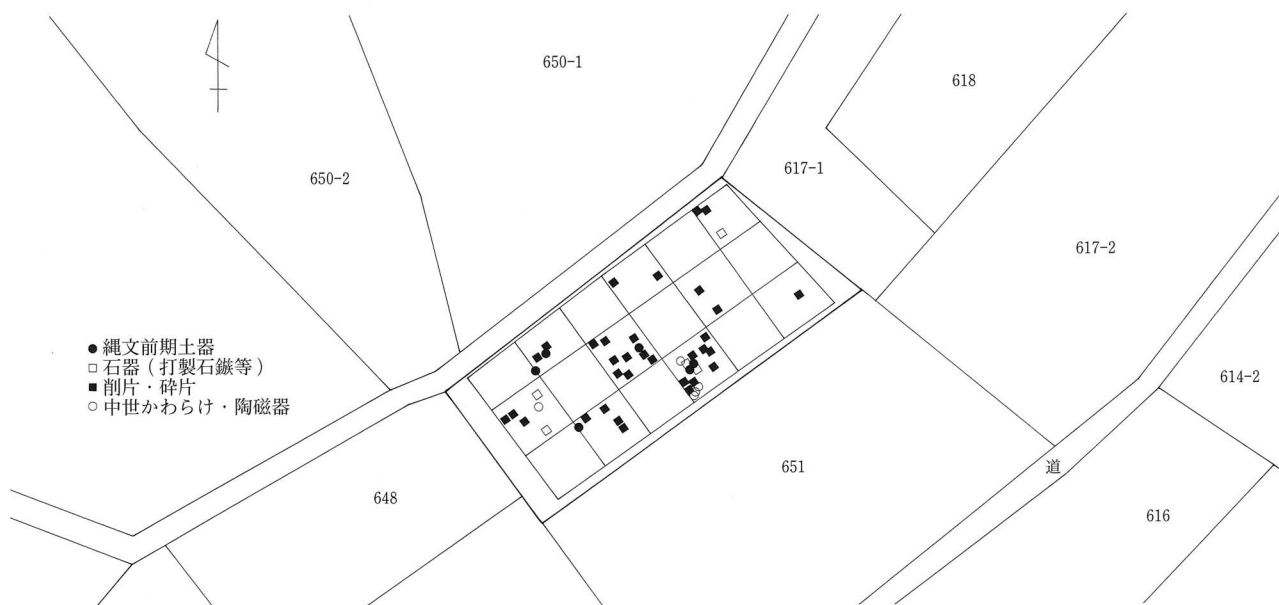
対象地内にグリッドを設定し、遺構の有無を調査した。表土5～20cmで縄文時代前期の遺物包含層が確認された。0～1.5・2.3m盛り土後に墓地造成が行われるため、遺物包含層は保護される。



調査風景



堆積状況

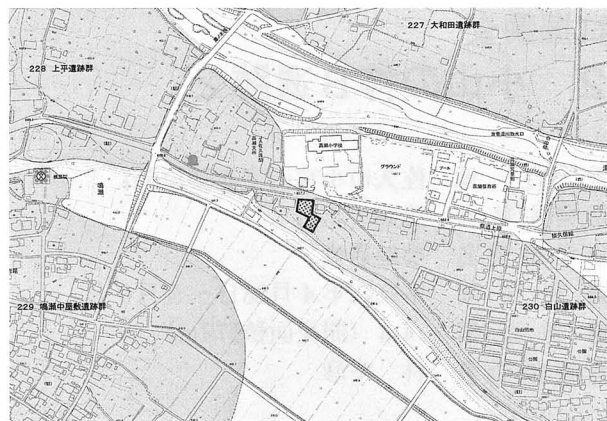


小山の神B遺跡2調査全体図（1：1,000）

試掘調査

3 白山遺跡群6

所在地 佐久市鳴瀬字社口1278-1、1278-4
開発主体者 花里 寛一
開発事業名 集合住宅
調査期間 平成22年4月19・20日、7月7日
調査面積 138㎡（開発面積874.89㎡）
調査担当者 林 幸彦



白山遺跡群6位置図（1：10,000）

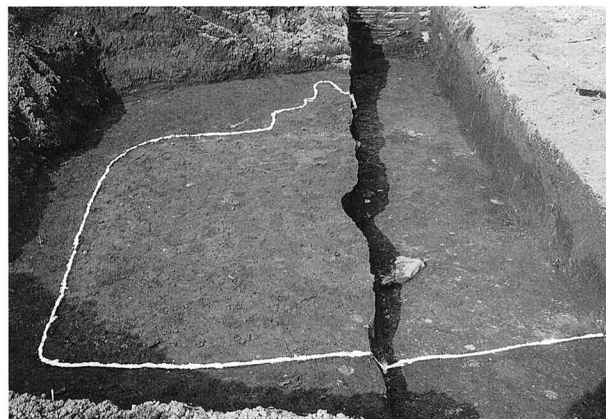
調査の結果

対象地内に8本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下40cmの雨水浸透トレンチ設置予定地点から平安時代の竪穴式住居址が確認された。

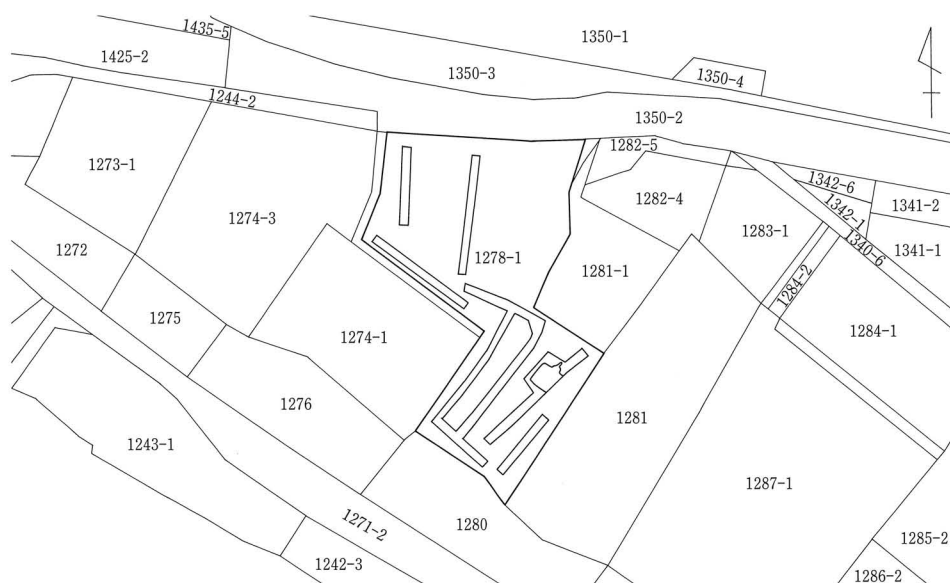
建物建築予定地内では、遺構は検出されなかった。雨水浸透トレンチは設計を変更し竪穴式住居址が検出された地点は、保護された。



調査風景



遺構検出状況

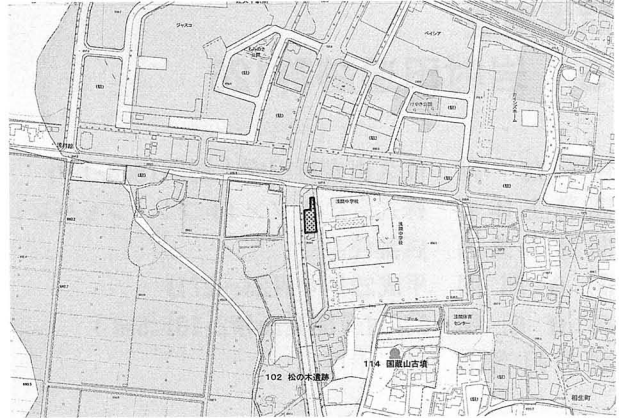


白山遺跡群6 調査全体図（1：1,000）

試掘調査

4 松の木遺跡10

所在地 佐久市岩村田1446-7
開発主体者 有限会社 新日本開発
開発事業名 店舗建築工事
調査期間 平成22年4月13日
調査面積 22㎡（開発面積515.27㎡）
調査担当者 林 幸彦



松の木遺跡10位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地内に2本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下50cmまで客土されている。さらに、その下位に水田耕土状の堆積がみられたが、明確ではない。

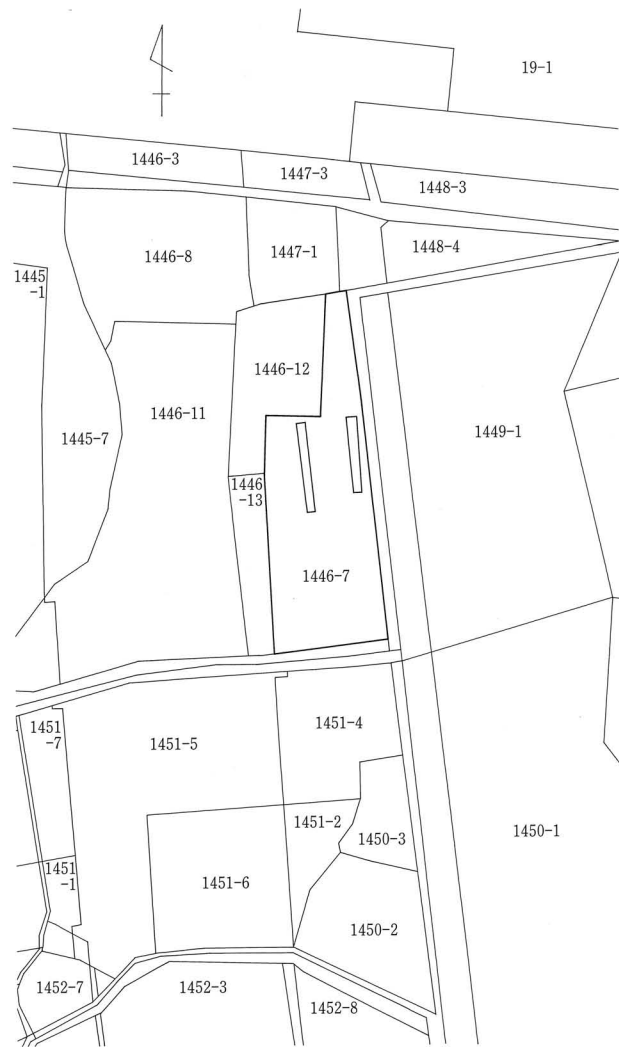
事業は、延期されている。



調査風景



堆積状況

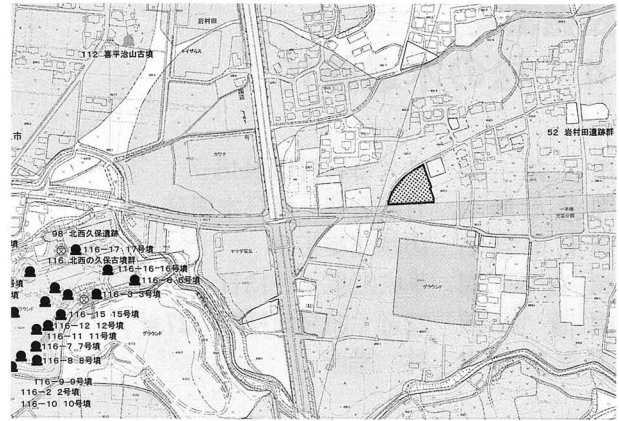


松の木遺跡10調査全体図（1：1,000）

試掘調査

5 岩村田遺跡群126

所在地 佐久市岩村田字上樋田1808-1 外
開発主体者 株式会社 セブンイレブン・ジャパン
開発事業名 店舗建設
調査期間 平成22年4月23～27日
調査面積 536㎡（開発面積2,101.5㎡）
調査担当者 林 幸彦



岩村田遺跡群126位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地内に11本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下5～50cmで平安時代の竪穴住居址等が確認された。セブンイレブン・ジャパン店舗建築は、事業主体者の事情で中止された。

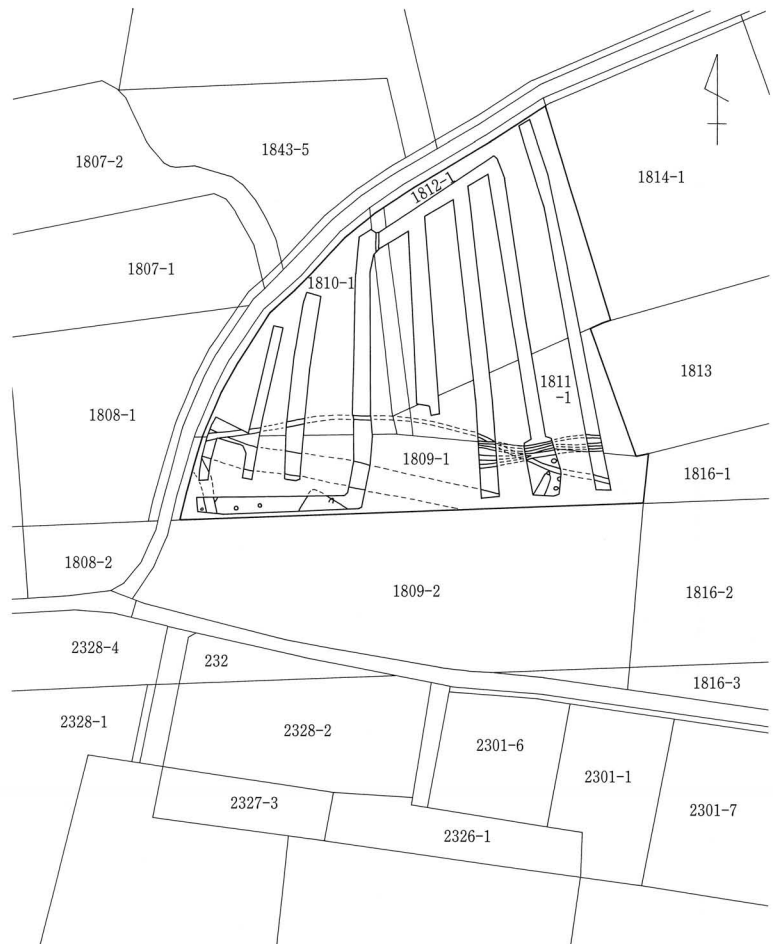
その後、平成23年に株式会社ボストンハウスが店舗を建築することになり、保護協議の結果、記録保存のための発掘調査を実施した。



調査風景



堆積状況



岩村田遺跡群126調査全体図（1：1,000）



遺構検出状況



遺構検出状況



遺構検出状況



遺構検出状況



遺構検出状況

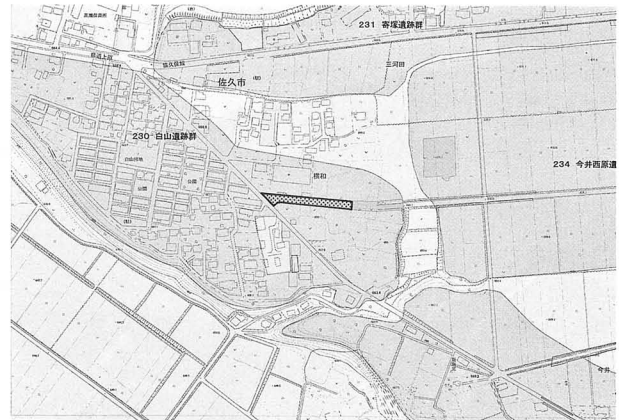


遺構検出状況

試掘調査

6 白山遺跡群7

所在地 佐久市横和字下原1012-9 外
開発主体者 佐久市高速交通課
開発事業名 道路改良
調査期間 平成22年4月22・23日
調査面積 291.6㎡（開発面積1,400㎡）
調査担当者 須藤 隆司



白山遺跡群7位置図（1：10,000）

調査の結果

重機によるトレンチ2本で遺構の確認調査を実施した。結果、古代集落（弥生から平安時代）の竪穴住居址、中世の遺構群（土坑・ピット・溝址）が確認された。

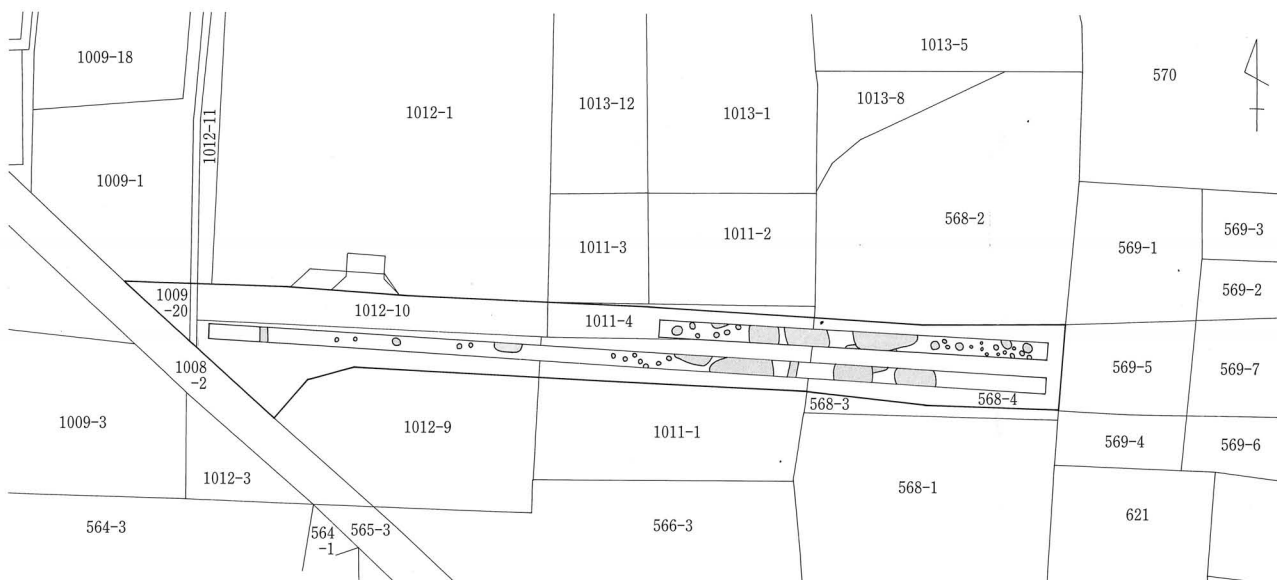
記録保存を目的とした本調査を平成22年6月から実施した。



遺構検出状況



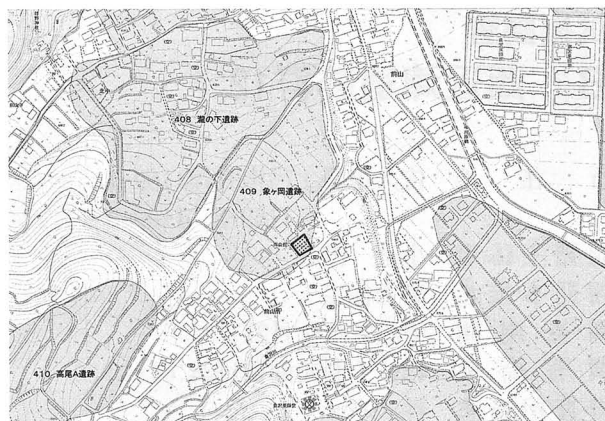
遺構検出状況



白山遺跡群7調査全体図（1：1,000）

試掘調査 7 像ヶ岡遺跡

所在地 佐久市前山553-1
 開発主体者 前山南区長 本間 秀徳
 開発事業名 公会場建設
 調査期間 平成22年7月21・22日
 調査面積 32㎡（開発面積501.4㎡）
 調査担当者 林 幸彦

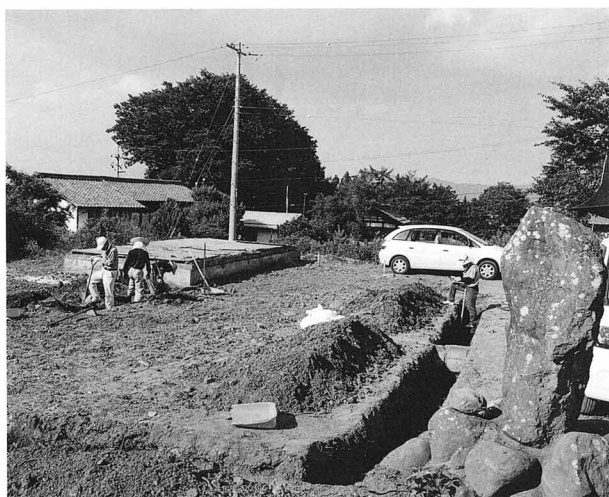


像ヶ岡遺跡位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地内に9箇所のトレンチ・グリットを設定し、遺構の有無を調査した。旧公会場建築時に削平されていて、約50cmの客土がみられた。

遺構・遺物は検出されなかった。



調査風景



堆積状況



像ヶ岡遺跡調査全体図（1：1,000）

試掘調査

8 西近津遺跡群12

所在地 佐久市長土呂南近津1169-1、
1169-2、1169-3

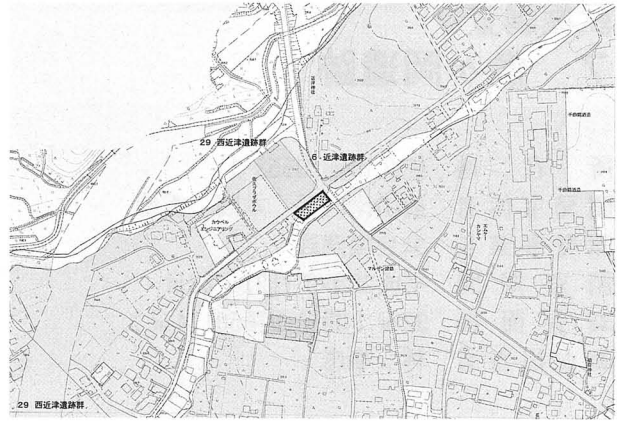
開発主体者 小池 澄江

開発事業名 集合住宅

調査期間 平成22年9月27日

調査面積 42㎡（開発面積1124.64㎡）

調査担当者 林 幸彦



西近津遺跡群12位置図（1：10,000）

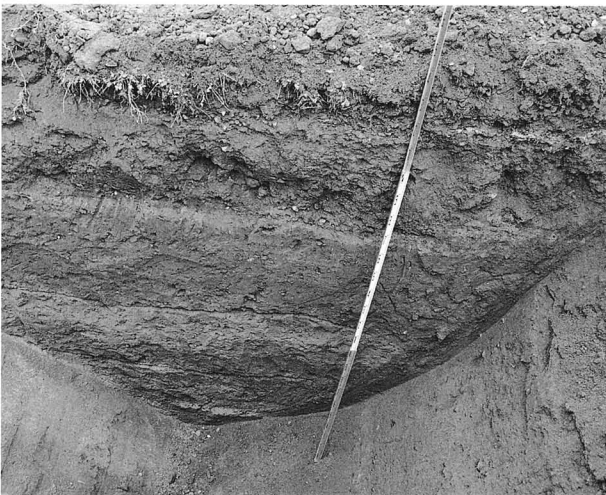
調査の結果

対象地内に4本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下80～250cmで黄褐色土等の浅間第一軽石流の再堆積土の地山に達した。

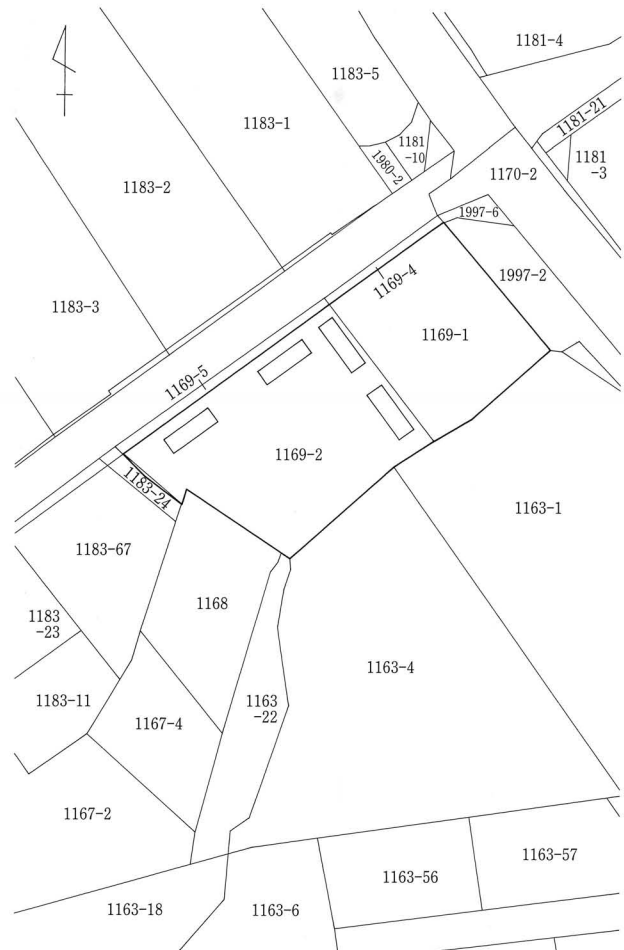
遺構は検出されなかった。



調査風景



堆積状況

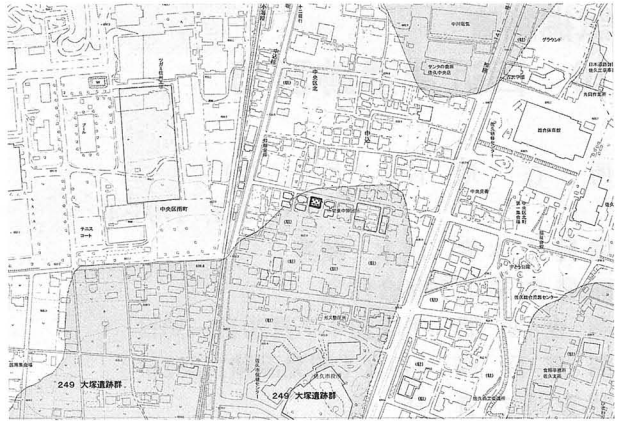


西近津遺跡群12調査全体図（1：1,000）

試掘調査

9 大塚遺跡群 8

所在地 佐久市中込3110-15
開発主体者 有限会社 信州ファーマ
開発事業名 店舗建設
調査期間 平成22年7月20日
調査面積 30㎡（開発面積163.83㎡）
調査担当者 林 幸彦



大塚遺跡群 8 位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

対象地内に4本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。

旧市営住宅建築時及び取り壊し時に、現地表面から50cm程掘削・整地がされていた。この面が砂質褐色土の地山である。



調査風景



堆積状況



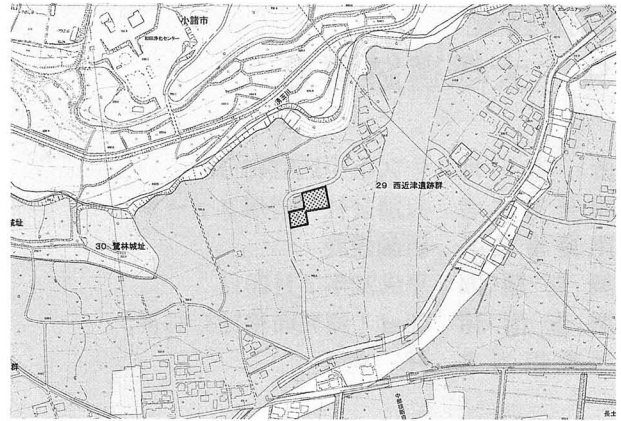
大塚遺跡群 8 調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

10 西近津遺跡群13

所在地 佐久市長土呂森下
1796-2、1796-4

開発主体者 茂木 義秀
開発事業名 集合住宅
調査期間 平成22年7月20日～30日
調査面積 340㎡（開発面積1,382㎡）
調査担当者 林 幸彦



西近津遺跡群13位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地内に11本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下40cm～50cmで古墳時代後期～平安時代の竪穴式住居址等が確認された。

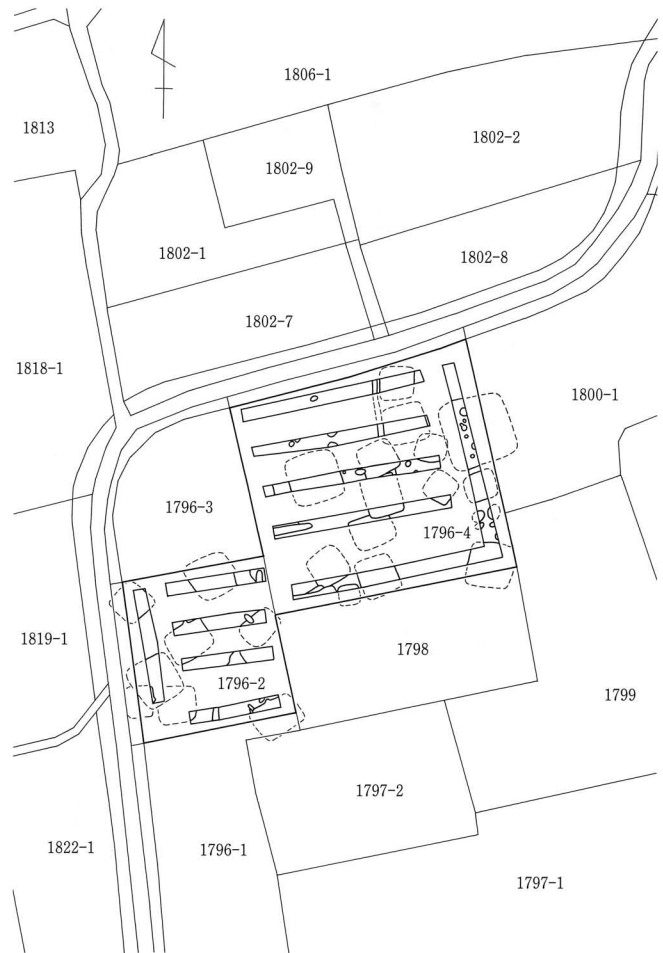
試掘調査後の保護協議で遺構保護層が確保できない2棟の集合住宅用地及びL型擁壁部分600㎡について、記録保存調査を実施することが確認された。発掘調査は、平成22年9月から行われた。



調査風景



遺構検出状況

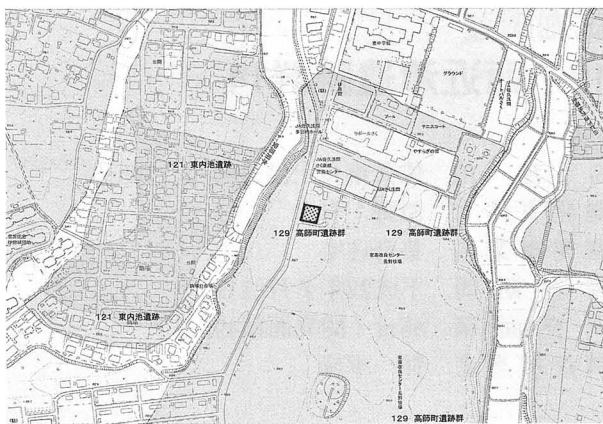


西近津遺跡群13調査全体図（1：1,000）

試掘調査

11 高師町遺跡群9

所在地 佐久市新子田字稲荷反1411-3
開発主体者 中澤 文一
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成22年6月18日
調査面積 60㎡（開発面積551.69㎡）
調査担当者 林 幸彦



高師町遺跡群9位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地内に4本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下5～10cmで黄褐色土の浅間第一軽石流の地山に達した。遺構・遺物は検出されなかった。



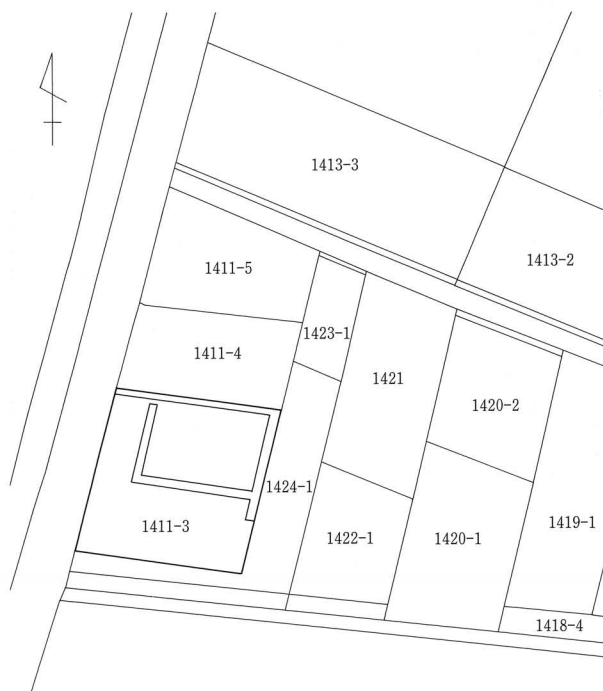
試掘トレンチ



堆積状況



試掘トレンチ

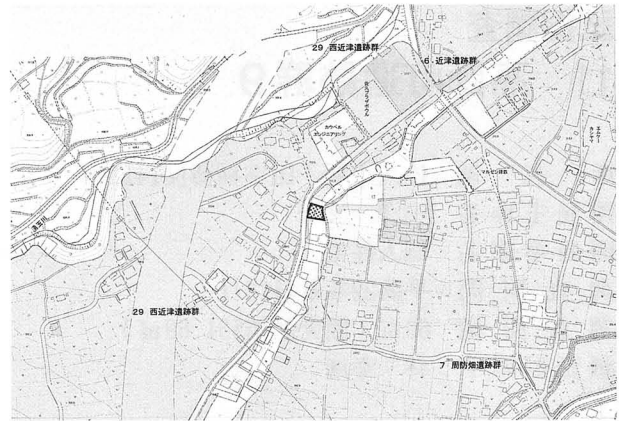


高師町遺跡群9調査全体図（1：1,000）

試掘調査

12 西近津遺跡群14

所在地 佐久市長土呂1184-6,1185-3
開発主体者 原野 春彦
開発事業名 集合住宅
調査期間 平成22年7月21日
調査面積 46㎡（開発面積495㎡）
調査担当者 林 幸彦



西近津遺跡群14位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地内に5本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下80～100cmで黄褐色土等の浅間第一軽石流の再堆積土の地山に達した。

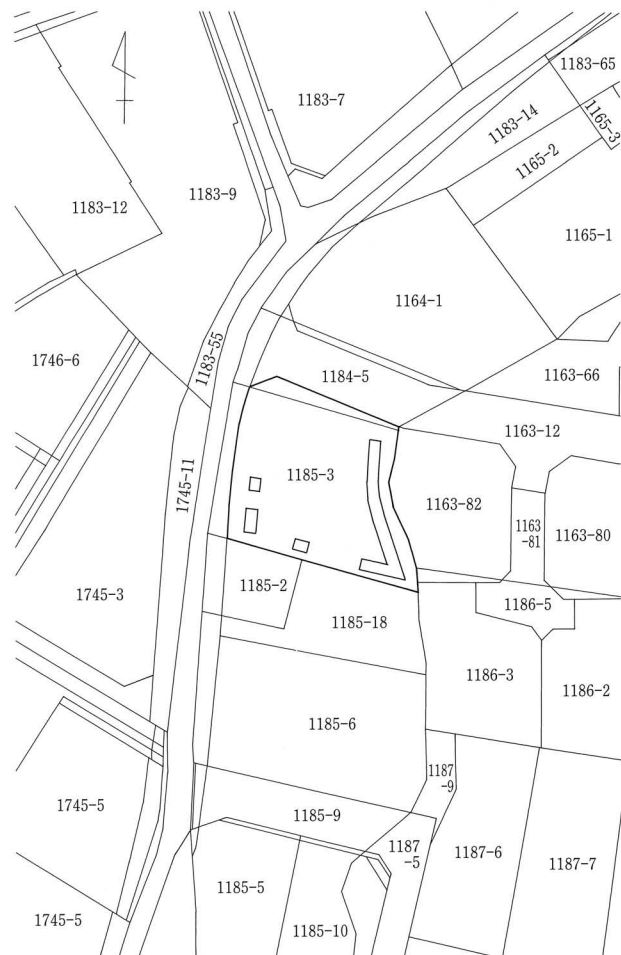
遺構は検出されなかった。土器片には摩耗がみられる。



調査風景



堆積状況



西近津遺跡群14調査全体図（1：1,000）

試掘調査

13 野馬窪遺跡群9

所在地 佐久市猿久保字野馬窪167-5
開発主体者 株式会社 エヌ・ティ・ティ
・ドコモ 長野支店

開発事業名 無線基地局建設
調査期間 平成22年8月3～11・25日
調査面積 52㎡（開発面積185㎡）
調査担当者 林 幸彦



野馬窪遺跡群9位置図（1：10,000）

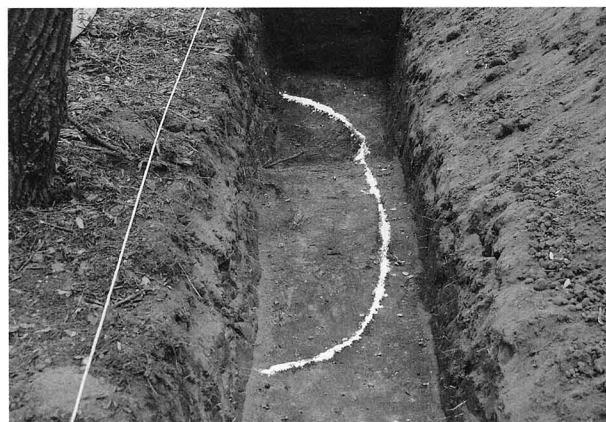
調査の結果

対象地内に9本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下20～50cmで平安時代の竪穴住居址等が確認された。

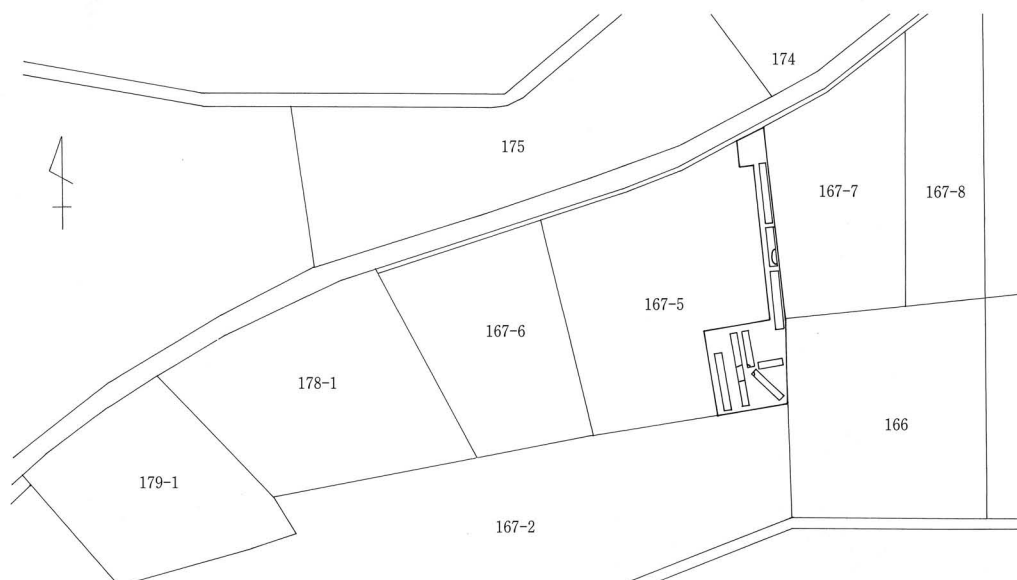
平成23年9月から記録保存の発掘調査を実施した。



調査風景



遺構検出状況

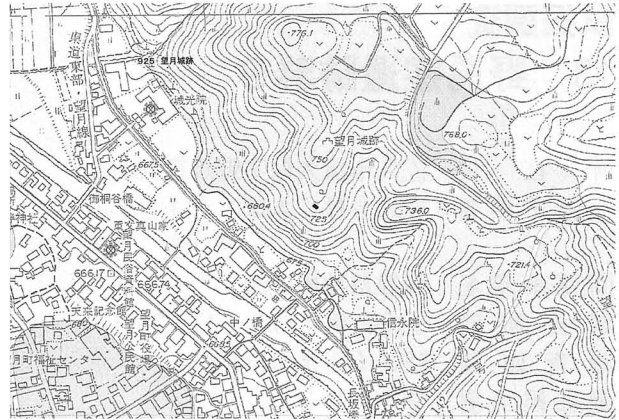


野馬窪遺跡群9調査全体図（1：1,000）

試掘調査

14 望月城跡

所在地 佐久市望月字城前1447-1
開発主体者 日本放送協会 長野放送局
開発事業名 放送事業
調査期間 平成22年8月18・19日
調査面積 13㎡（開発面積25㎡）
調査担当者 林 幸彦



望月城跡位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地内に3本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下20～30cmで粘質の強い地山に達した。遺構・遺物は検出されなかった。



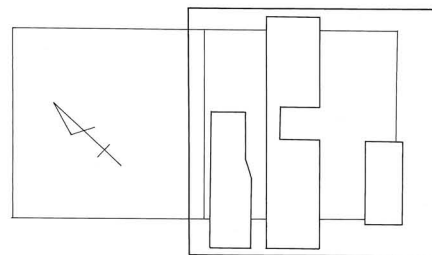
調査風景



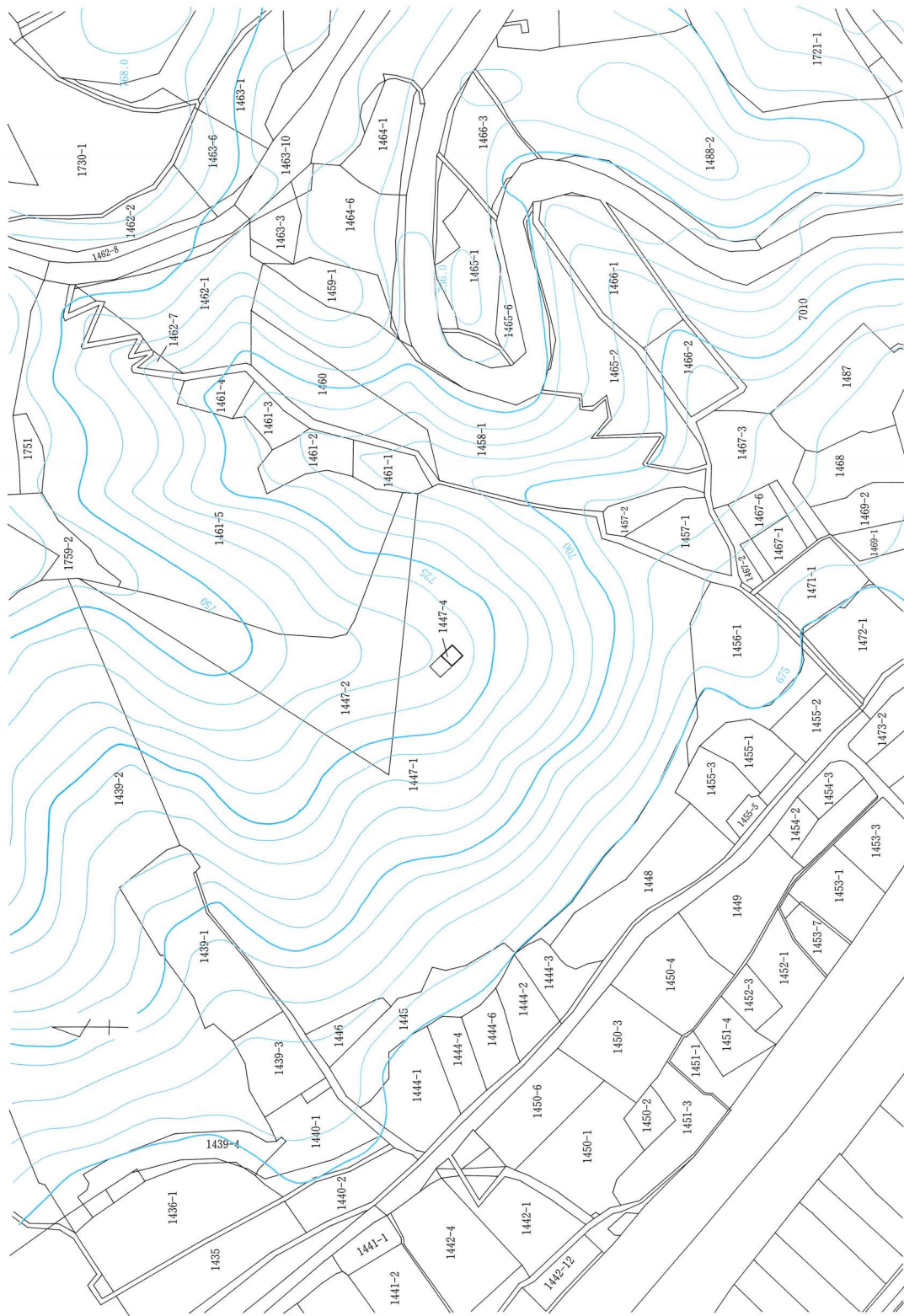
調査風景



試掘トレンチ



望月城跡調査全体図1（1：200）

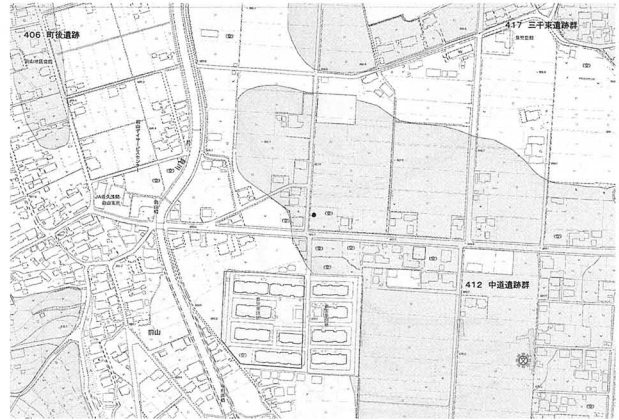


望月城跡調査全体図2 (1 : 2,000)

試掘調査

15 中道遺跡群13

所在地 佐久市前山字中道100-1
開発主体者 株式会社 エヌ・ティ・ティ
・ドコモ 長野支店
開発事業名 無線基地局建設
調査期間 平成22年9月13・14日
調査面積 15㎡（開発面積48.30㎡）
調査担当者 林 幸彦



中道遺跡群13位置図（1：10,000）

調査の結果

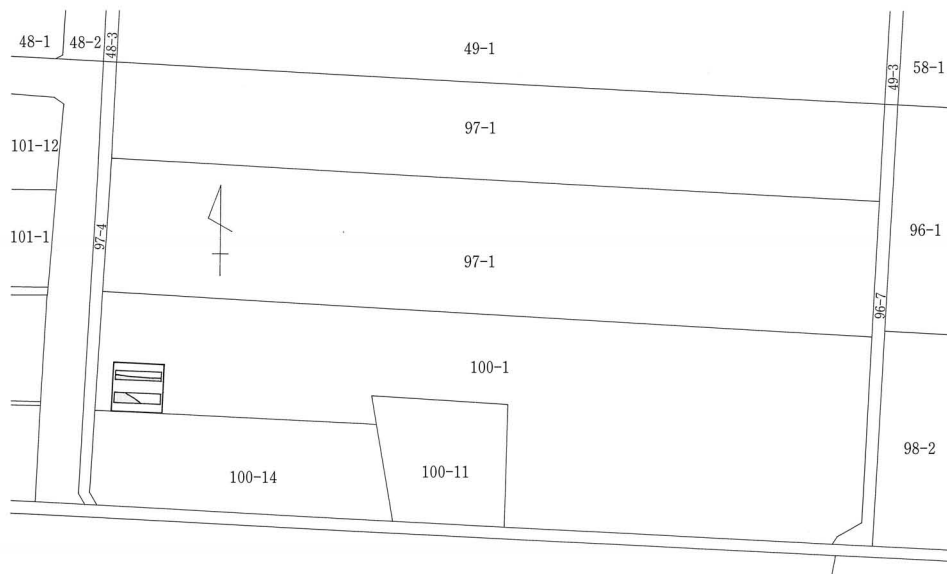
対象地内に2本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下60cmで弥生時代の竪穴住居址等が確認された。保護協議の結果、記録保存のための発掘調査を行うこととなり、平成23年3月から実施した。



調査風景



遺構検出状況



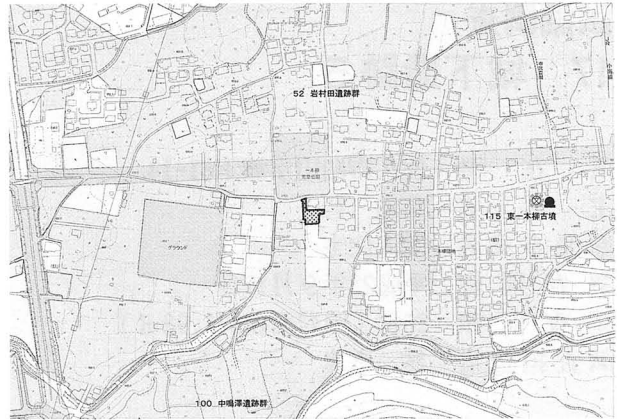
中道遺跡群13調査全体図（1：1,000）

試掘調査

16 岩村田遺跡群127

所在地 佐久市岩村田字一本柳2280-2、
2281の一部

主体者 早川 功
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成22年7月28日
調査面積 25㎡（開発面積522.91㎡）
調査担当者 林 幸彦



岩村田遺跡群127位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地内に3本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下30～40cmで古墳時代後期の竪穴住居址等が確認された。試掘調査後の保護協議の結果、土壌改良で遺構保護層が確保できない部分について記録保存調査を実施した。調査結果は、P71～P81に掲載した。



試掘トレンチ



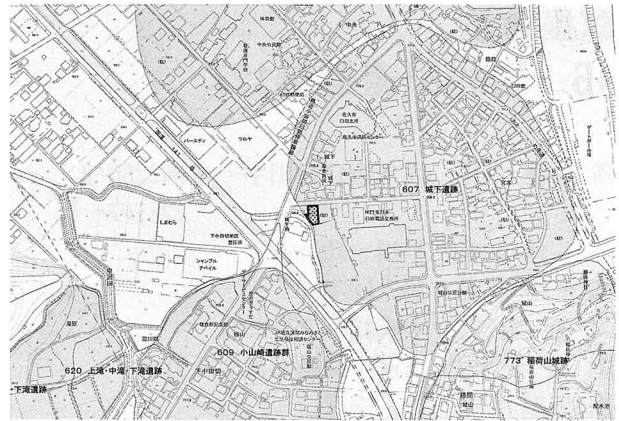
遺構検出状況



岩村田遺跡群127調査全体図（1：1,000）

試掘調査 17 城下遺跡5

所在地 佐久市白田字城下81-14
 主体者 菊池 智一
 開発事業名 個人住宅
 調査期間 平成22年9月17日
 調査面積 26㎡（開発面積371.98㎡）
 調査担当者 林 幸彦



城下遺跡5位置図（1：10,000）

調査の結果

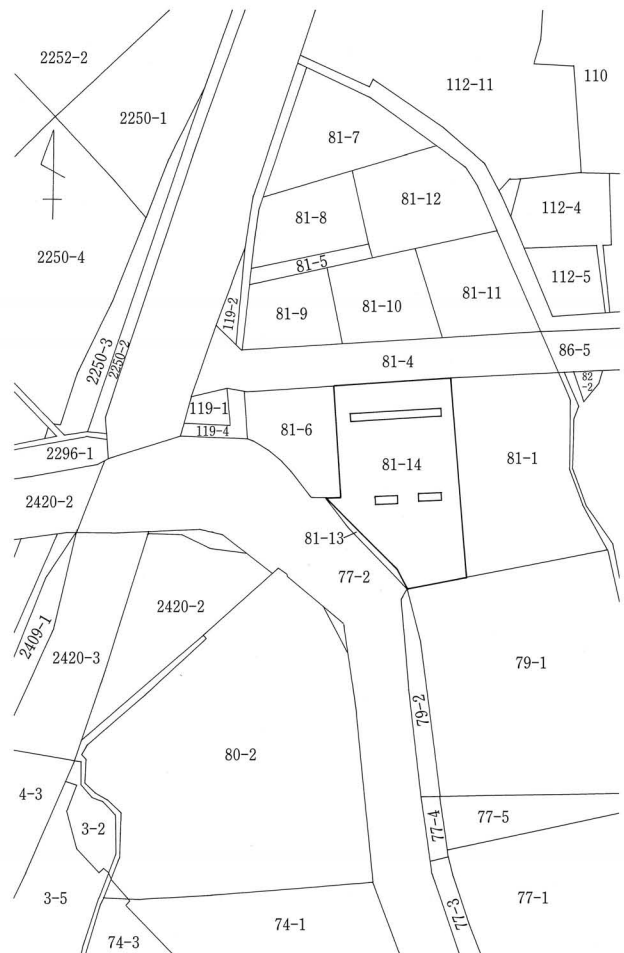
対象地内に3本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下120～140cmの攪乱層および整地層・盛土がみられた。



試掘トレンチ



堆積状況

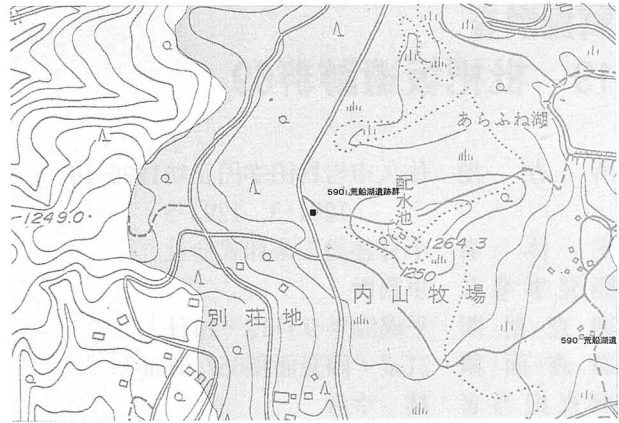


城下遺跡5調査全体図（1：1,000）

試掘調査

18 荒船湖遺跡群 2

所在地 佐久市内山352-1
主体者 佐久市庶務課
開発事業名 防災無線中継所
調査期間 平成22年10月18日
調査面積 6㎡（開発面積29㎡）
調査担当者 林 幸彦



荒船湖遺跡群 2 位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

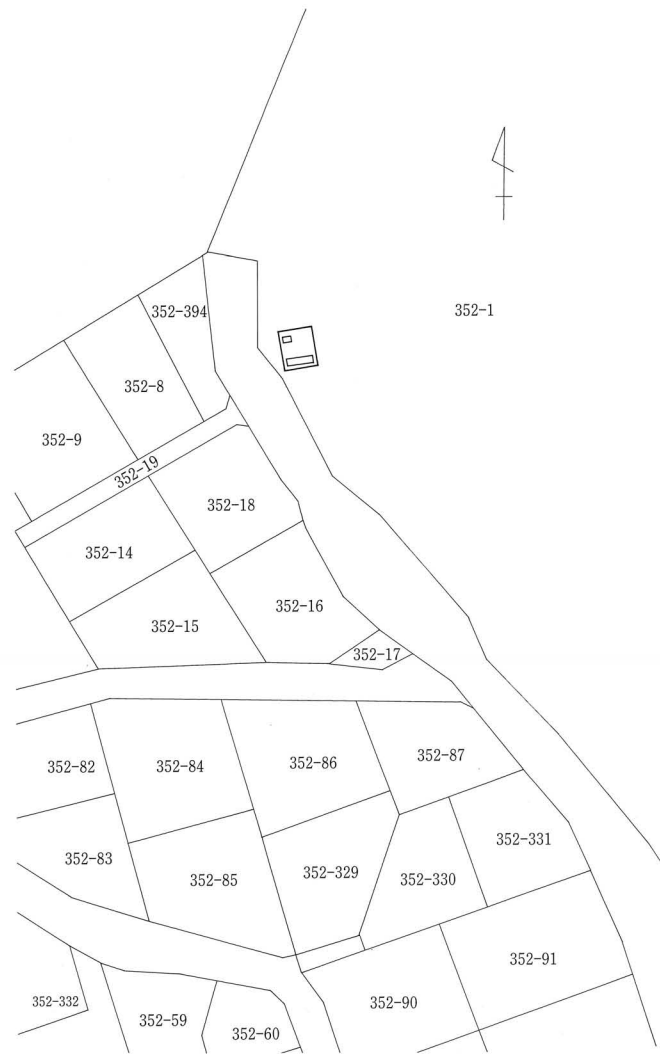
対象地内に1本のトレンチ、1個のグリッドを設定し、遺構の有無を調査した。
遺構・遺物とも検出されなかった。



試掘トレンチ



堆積状況



荒船湖遺跡群 2 調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

19 枇杷坂遺跡群69

所在地 佐久市岩村田字円正坊1296-16、
1291-3、1293-9

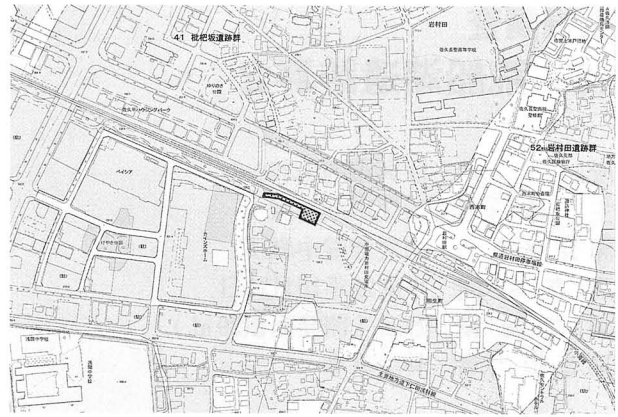
主体者 小林建設工業株式会社

開発事業名 事務所

調査期間 平成22年9月13・14日

調査面積 71㎡（開発面積667.61㎡）

調査担当者 林 幸彦



枇杷坂遺跡群69位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地内に4本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。竪穴住居址1棟等が検出された。

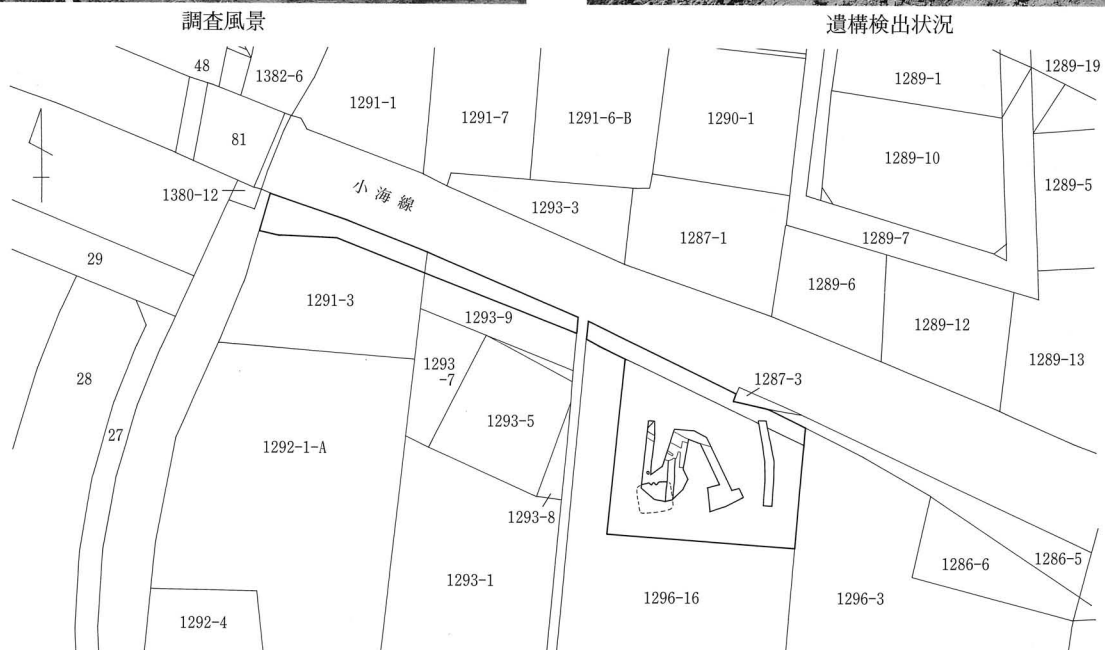
建物部分を記録保存調査した。調査地点北側からJR小海線までは、深く削平されている。南側は、円正坊遺跡Ⅷの調査で多くの竪穴住居址（弥生後期～平安時代）等が検出されている。



調査風景



遺構検出状況

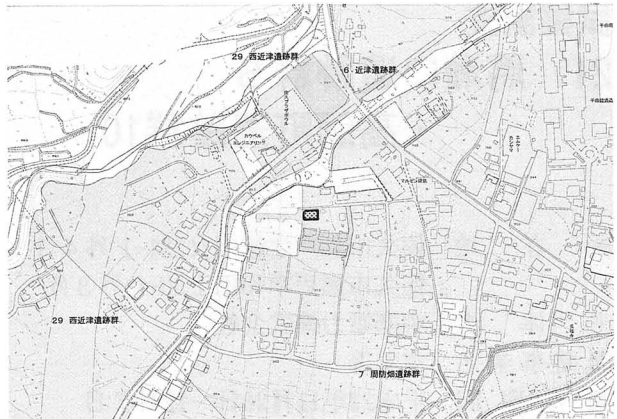


枇杷坂遺跡群69調査全体図（1：1,000）

試掘調査

20 周防畑遺跡群54

所在地 佐久市長土呂字南近津1163-19
主体者 上原 英雄
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成22年10月5日
調査面積 85㎡（開発面積471㎡）
調査担当者 林 幸彦



周防畑遺跡群54位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地内に3本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下40～50cmで奈良時代の竪穴住居址等が確認された。試掘調査後の保護協議で遺構保護層ができない住宅部分85㎡について、記録保存調査を実施することになった。調査結果は、P82～P86に掲載した。



遺構検出状況



遺構検出状況



周防畑遺跡群54調査全体図（1：1,000）

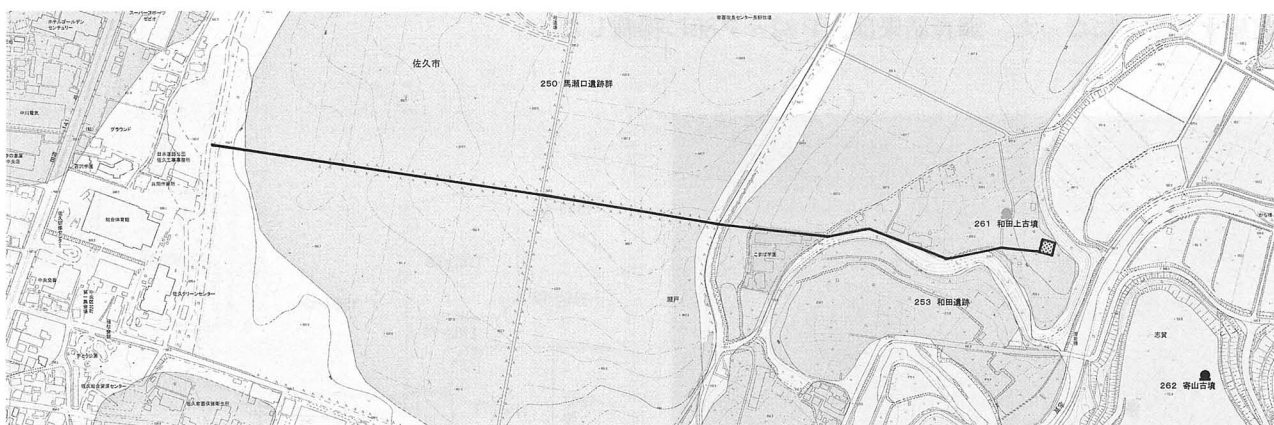
試掘調査

21 馬瀬口遺跡群5 ・高師町遺跡群10

所在地 佐久市瀬戸字蛇場女221-1 外4件
佐久市瀬戸字和田上30-1 外3件
主体者 中部電力株式会社
開発事業名 電気等
調査期間 平成22年11月26日～12月7日
調査面積 640㎡（開発面積727㎡）
126㎡（開発面積681㎡）
調査担当者 林 幸彦



調査風景



馬瀬口遺跡群5・高師町遺跡群10位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地内にトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下20～50cmで竪穴住居址等が確認された。保護協議の結果、発掘調査をして記録保存を行うことになった。

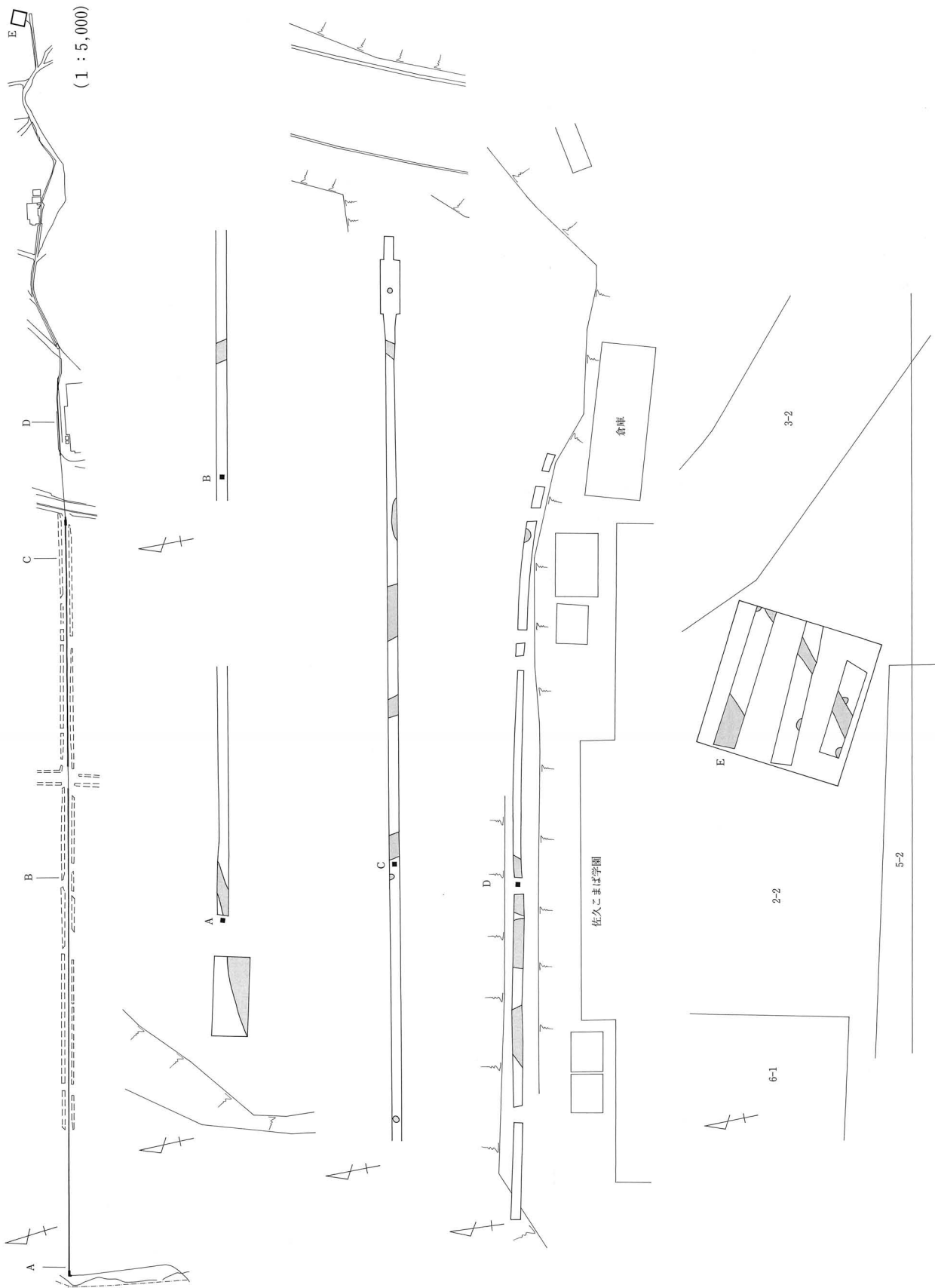
平成23年4月から発掘調査を実施した。



試掘トレンチ



遺構検出状況

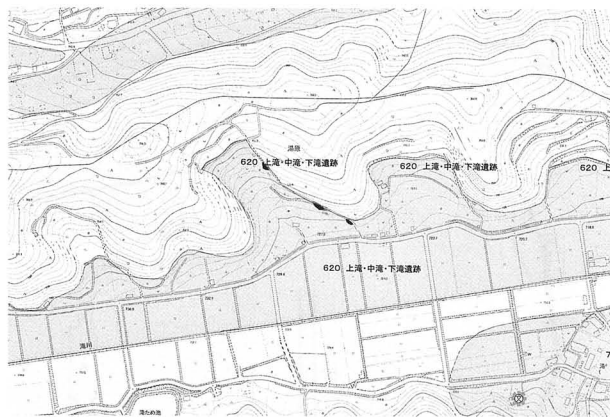


馬瀬口遺跡群5・高師町遺跡群10調査全体図 (1 : 500)

試掘調査

22 上滝遺跡2・中滝遺跡2 ・下滝遺跡3

所在地 佐久市湯原字中滝1141-4 外
主体者 佐久市高速交通課
開発事業名 道路改良
調査期間 平成23年2月4・22日
調査面積 33㎡（開発面積450㎡）
調査担当者 上原 学



上滝遺跡2・中滝遺跡2・下滝遺跡3位置図（1：10,000）

調査の結果

調査対象地に手掘りによる試掘トレンチ18箇所を設定し、遺構の確認を行った。遺構・遺物は発見されなかった。

よって、今回の事業における発掘調査の必要はない。



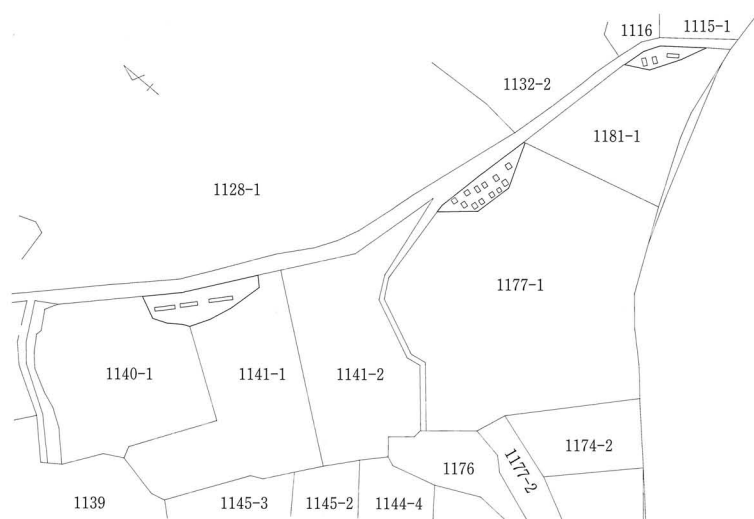
調査風景



調査風景



試掘トレンチ

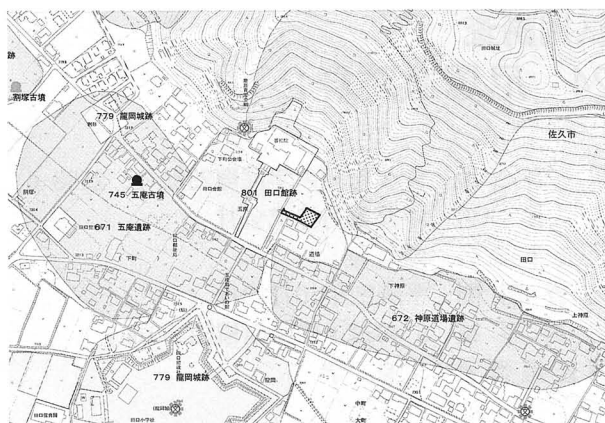


上滝遺跡2・中滝遺跡2・下滝遺跡3調査全体図（1：2,000）

試掘調査

23 田口館跡 2

所在地 佐久市田口字道場2853-3,2854-3
主体者 中條 衛次
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成22年10月29日
調査面積 50㎡（開発面積401㎡）
調査担当者 林 幸彦



田口館跡 2 位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

対象地内に4本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下40~60cmが、いわゆる遺構確認面と思われる。Ⅱ層からは、炭化粒子・炭化物微小片が出土し（Ⅲ層からは少量の炭化粒子）、北宋銭が出土した。



調査風景



堆積状況



田口館跡 2 調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

24 尼塚遺跡群2

所在地 佐久市瀬戸字尼塚2538-1、2538-6
主体者 中部電力株式会社
開発事業名 電気等
調査期間 平成22年10月29日
調査面積 6.40㎡（開発面積52.50㎡）
調査担当者 上原 学



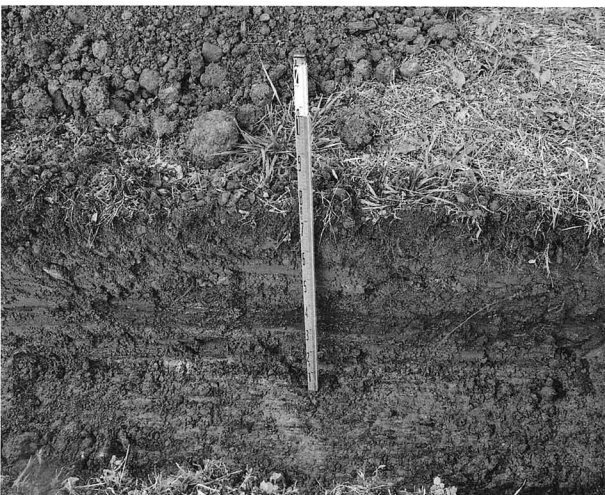
尼塚遺跡群2位置図（1：10,000）

調査の結果

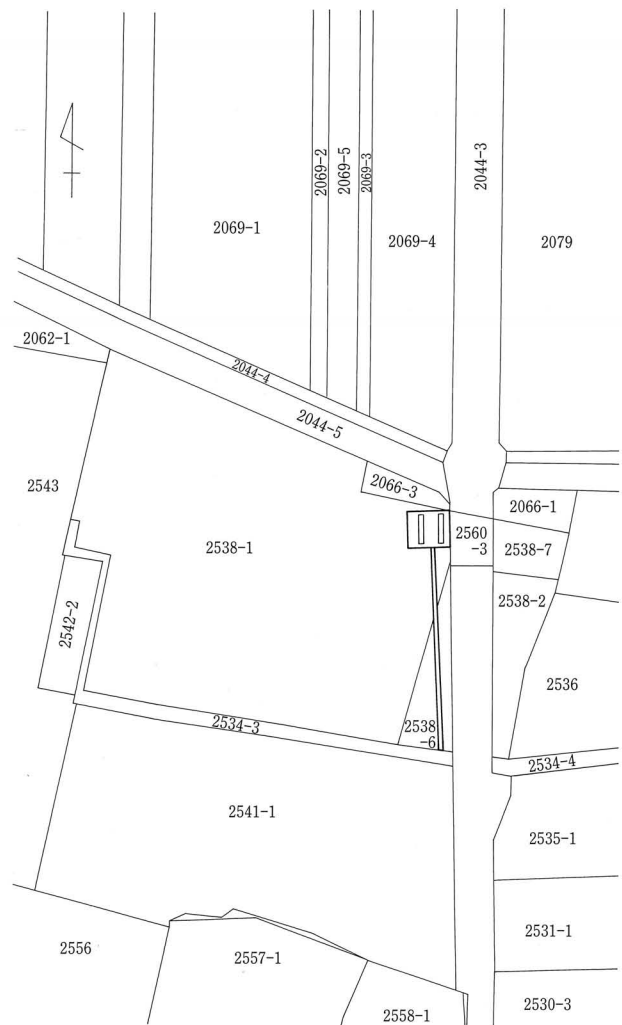
対象地内（DF局設置掘削範囲内）に南北方向の試掘トレンチ2本を設定し、埋蔵文化財確認調査を実施した。その結果、遺構・遺物は認められなかった。



試掘トレンチ



堆積状況



尼塚遺跡群2調査全体図（1：1,000）

試掘調査

25 西赤座遺跡14

所在地 佐久市岩村田字西赤座・
東赤座3638-1 外

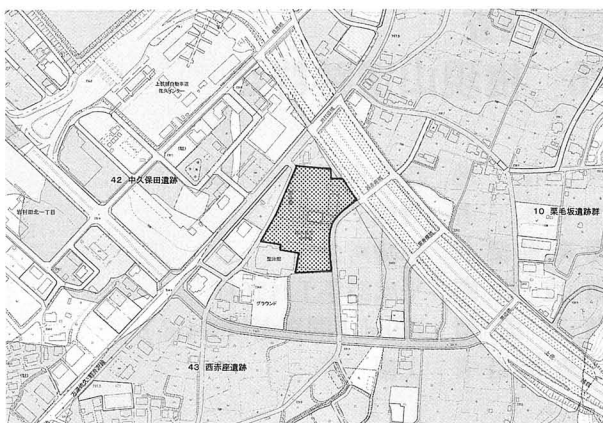
主体者 学校法人 聖啓学園

開発事業名 学校建設

調査期間 平成22年11月12日

調査面積 7㎡（開発面積463.32㎡）

調査担当者 出澤 力



西赤座遺跡14位置図（1：10,000）

調査の結果

調査対象地に2本のトレンチを設定し、試掘調査を実施した。

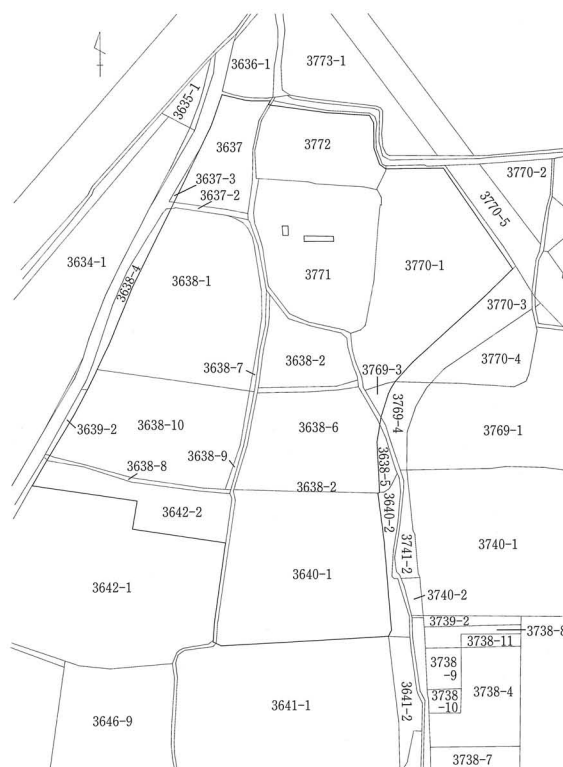
その結果、遺構・遺物ともに発見されなかった。



試掘トレンチ



堆積状況

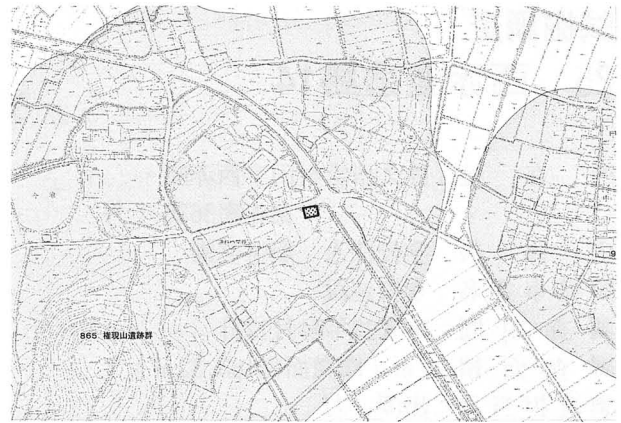


西赤座遺跡14調査全体図（1：2,000）

試掘調査

26 権現山遺跡群 2

所在地 佐久市甲字向原1062-2
主体者 寺岡 史人
開発事業名 診療所建設
調査期間 平成23年1月26日
調査面積 170㎡（開発面積994㎡）
調査担当者 上原 学



権現山遺跡群 2 位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

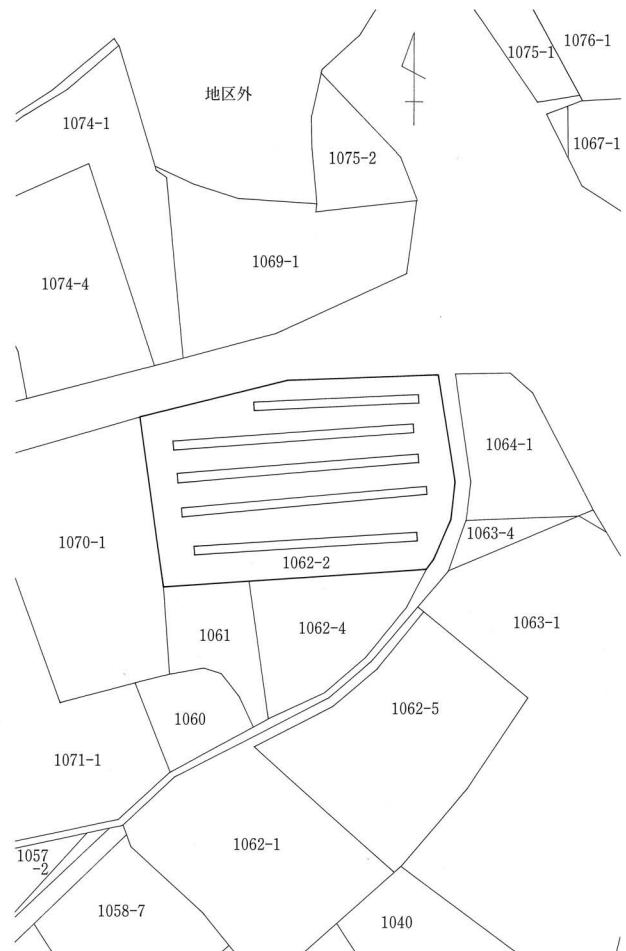
対象地内に東西方向のトレンチ5本を設定し、埋蔵文化財確認調査を実施した。その結果、遺構・遺物は確認されなかった。



試掘トレンチ



堆積状況

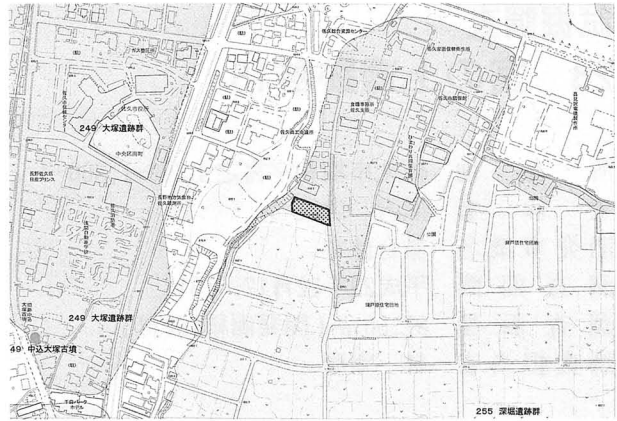


権現山遺跡群調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

27 深堀遺跡群7

所在地 佐久市瀬戸字西原1214-1 外
主体者 有限会社 田園不動産
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成22年11月7日
調査面積 332㎡（開発面積1,406.67㎡）
調査担当者 林 幸彦



深堀遺跡群7位置図（1：10,000）

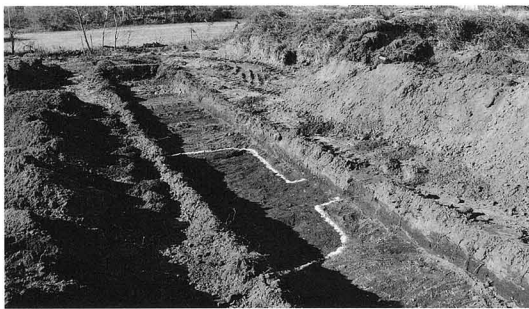
調査の結果

対象地内に5本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下30～50cmで遺構確認面の褐色土に達した。平安時代とみられる竪穴住居址1棟が検出された。

対象地南側が低く約1.5～2m盛土で造成がされるため、遺構は破壊から免れた。



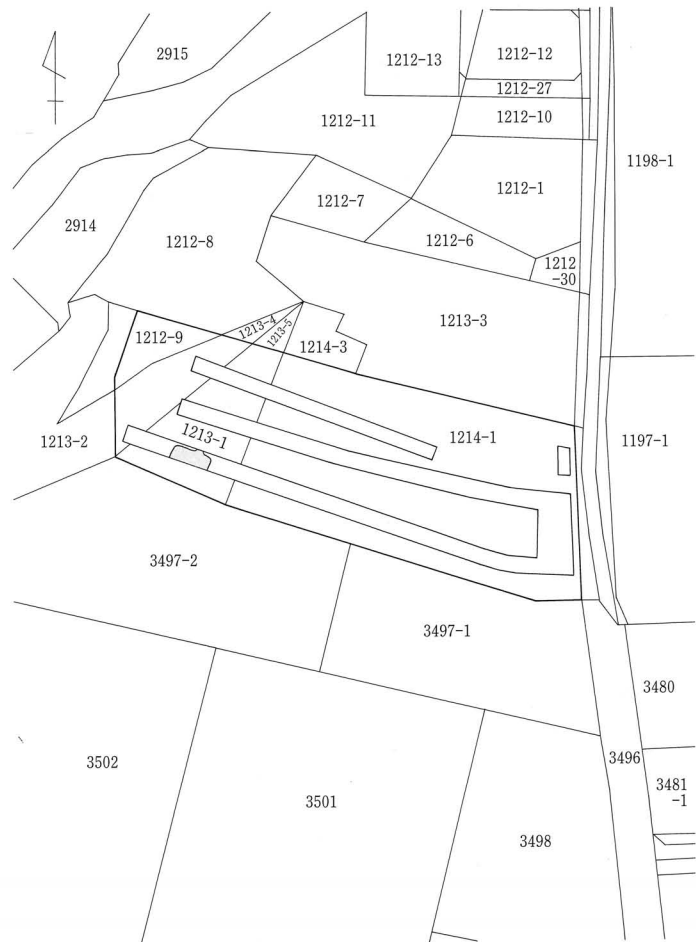
調査風景



遺構検出状況



堆積状況

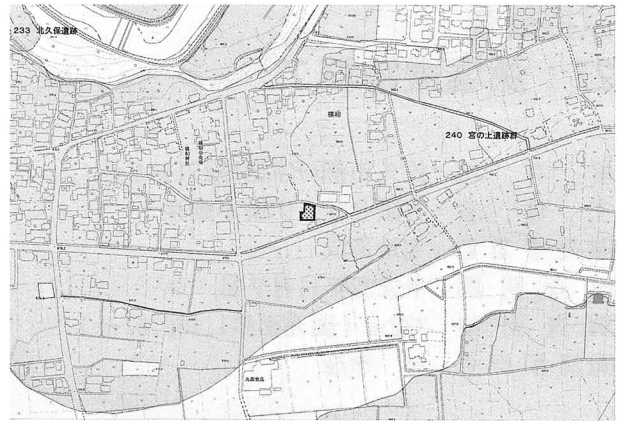


深堀遺跡群7調査全体図（1：1,000）

試掘調査

28 宮の上遺跡群18

所在地 佐久市横和字宮之上300-1,300-3
主体者 黒沢 忠雄
開発事業名 集合住宅
調査期間 平成22年12月17・18日
調査面積 87.50㎡（開発面積452㎡）
調査担当者 林 幸彦



宮の上遺跡群18位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地内に3本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下60～70cmで遺構確認面の褐色土に達した。溝が1本検出された。

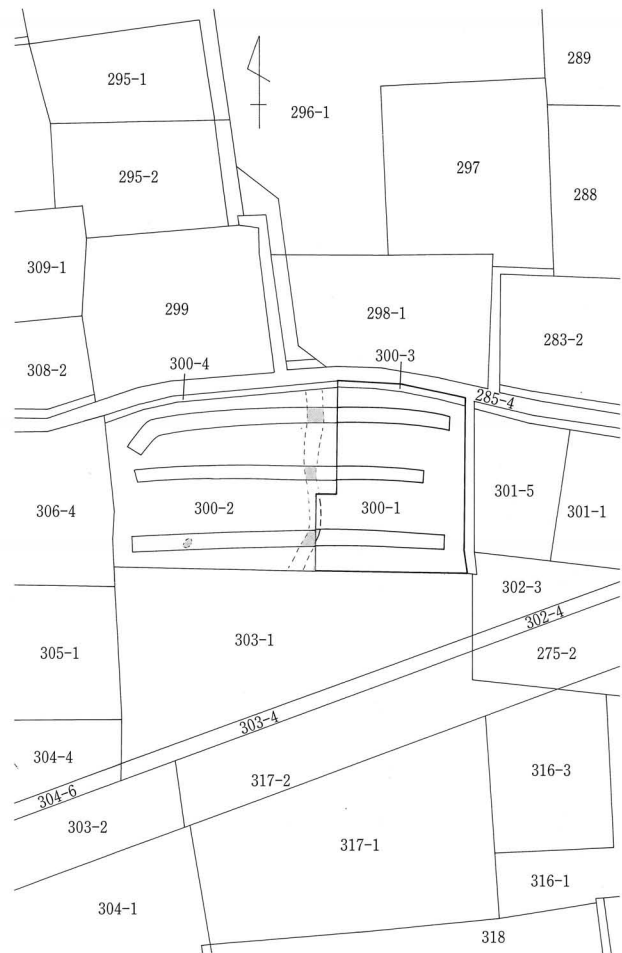
溝の大部分は、建物の基礎分から外れるため、破壊から免れた。



調査風景



試掘トレンチ

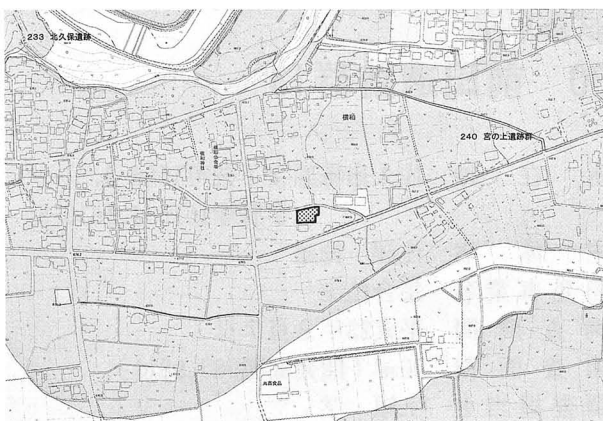


宮の上遺跡群18調査全体図（1：1,000）

試掘調査

29 宮の上遺跡群19

所在地 佐久市横和字宮之上300-2、300-4
主体者 上原 稔
開発事業名 集合住宅
調査期間 平成22年12月17・18日
調査面積 148㎡（開発面積674㎡）
調査担当者 林 幸彦



宮の上遺跡群19位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地内に3本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。表土下60～70cmで遺構確認面の褐色土に達した。

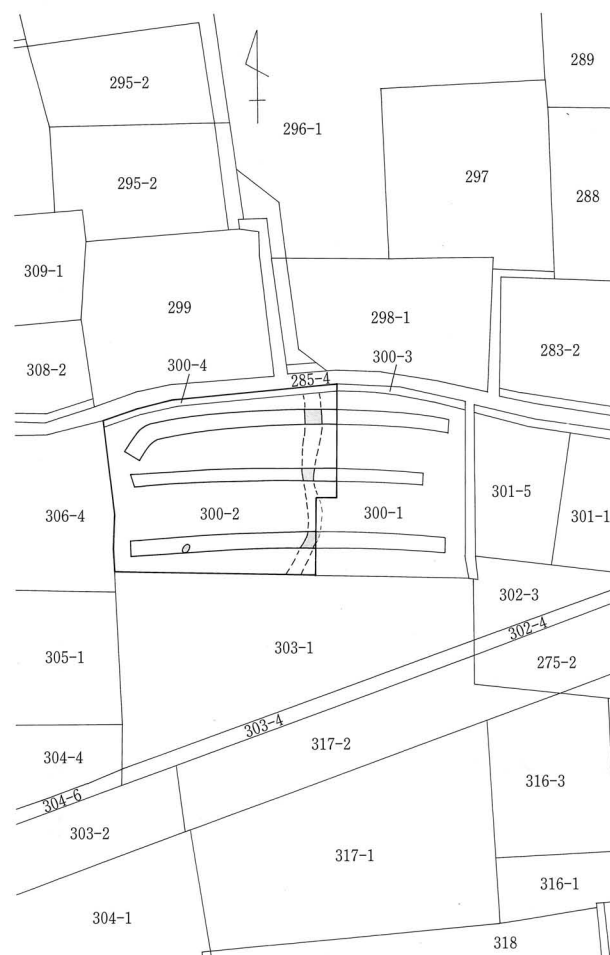
溝1本と土坑1基が確認された。



遺構検出状況



遺構検出状況



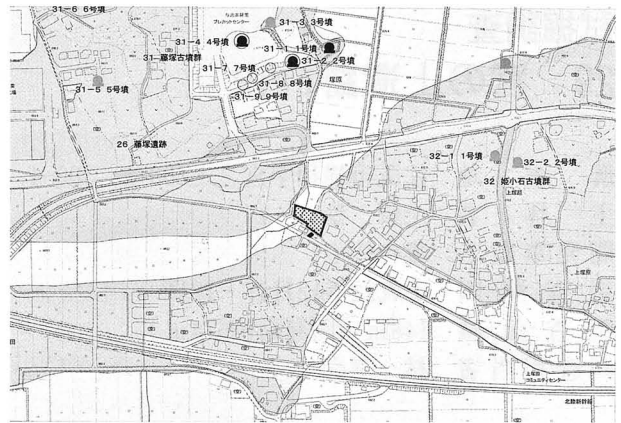
宮の上遺跡群19調査全体図（1：1,000）

試掘調査

30 前田遺跡群13

所在地 佐久市塚原字下荒町1596-3、
字野岸1616-4、1616-5

主体者 佐藤 徳雄
開発事業名 集合住宅
調査期間 平成23年2月7日
調査面積 90㎡（開発面積983.98㎡）
調査担当者 上原 学



前田遺跡群13位置図（1：10,000）

調査の結果

調査対象地は、千曲川右岸の段丘上に位置し、北側の微高地には藤塚古墳群が所在する。

調査は、対象地に東西方向のトレンチ3本、南北方向のトレンチ1本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、遺構・遺物は確認されなかった。

当該地域における本調査の必要はない。



調査風景



堆積状況



前田遺跡群13調査全体図（1：1,000）

試掘調査

31 周防畑遺跡群55

所在地 佐久市長土呂字下北原862-19
主体者 上田 民代
開発事業名 集合住宅
調査期間 平成23年1月7日
調査面積 40㎡（開発面積282.97㎡）
調査担当者 林 幸彦



周防畑遺跡群55位置図（1：10,000）

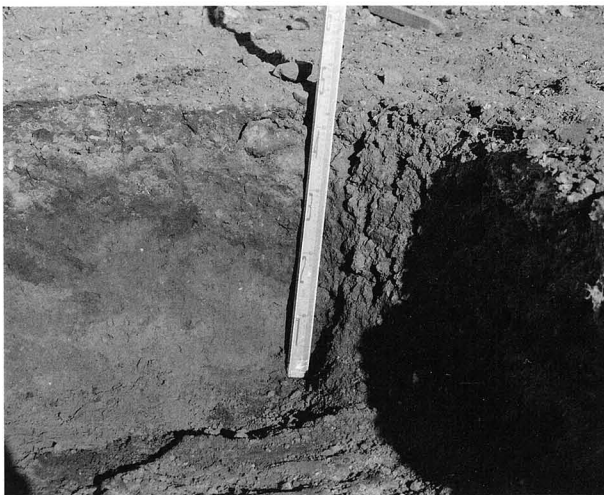
調査の結果

対象地内に3本のトレンチを設定し、遺構の有無を調査した。埋め土（既存の建物を取り壊した後の整地された土。攪乱層）下25～40cmで明褐色土の浅間第一軽石流に達した。

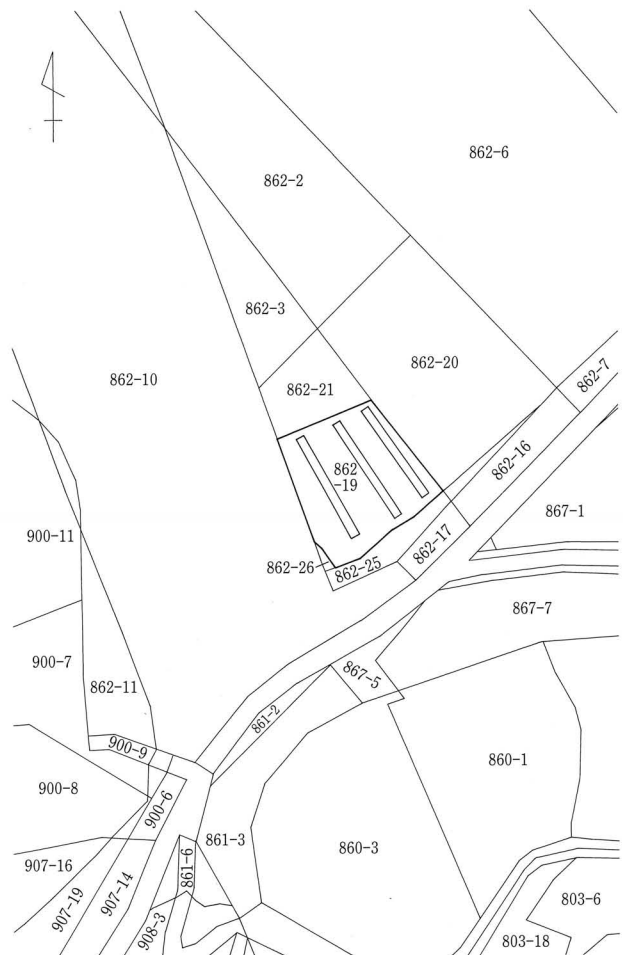
遺構は検出されなかった。



試掘トレンチ



堆積状況



周防畑遺跡群55調査全体図（1：1,000）

試掘調査

32 宮の上遺跡群20

所在地 佐久市横和字宮之上306-3、306-4、
306-6、306-8

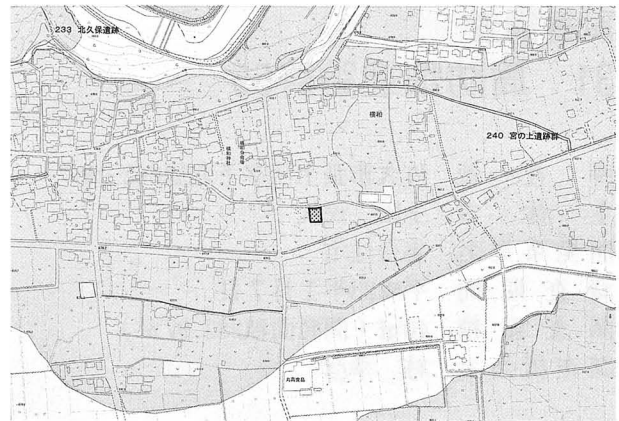
主体者 黒沢 忠雄

開発事業名 集合住宅

調査期間 平成23年1月24日～2月14～16日

調査面積 71㎡（開発面積391.20㎡）

調査担当者 上原 学



宮の上遺跡群20位置図（1：10,000）

調査の結果

調査対象地は湯川左岸の段丘上に位置する。

調査は、対象地に東西方向のトレンチ4本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、住居址5軒、土坑、ピットを発見した。遺構検出は、表土直下60cmに堆積しているローム上面で行った。建物は平安時代の土師器・須恵器が遺構確認面上から出土した。

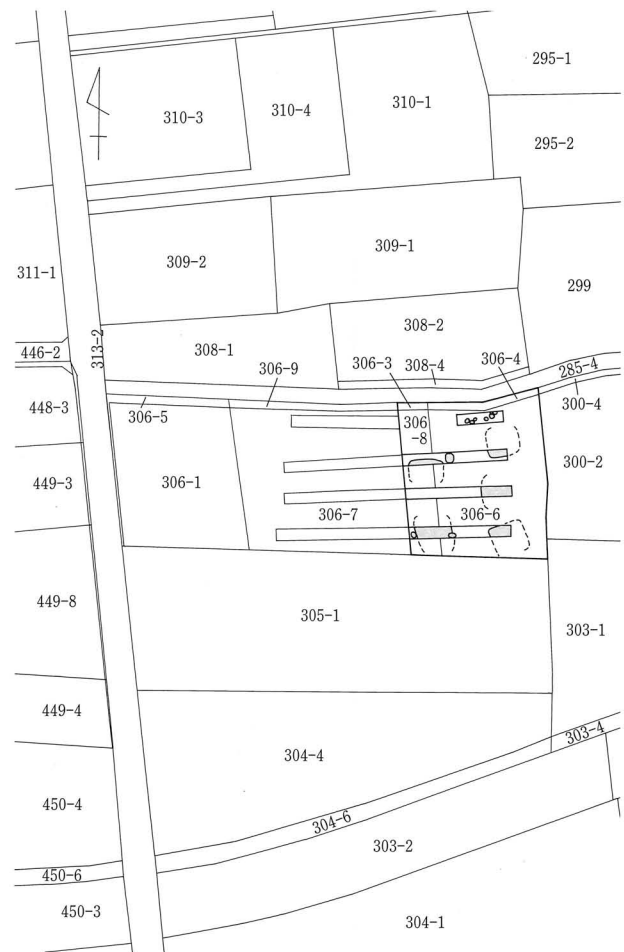
保護協議の結果、遺構が破壊される部分の発掘調査を平成23年3月に実施した。



調査風景



試掘トレンチ

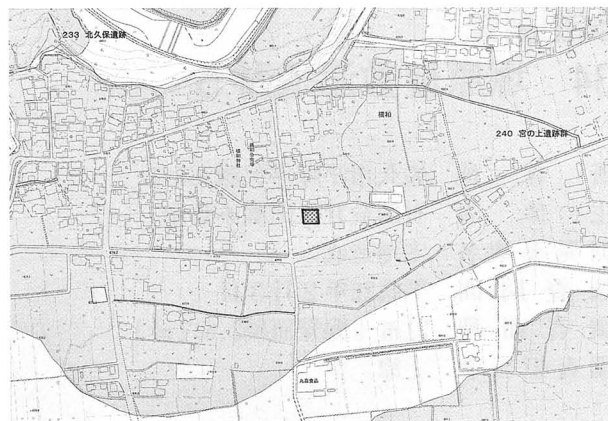


宮の上遺跡群20調査全体図（1：1,000）

試掘調査

33 宮の上遺跡群21

所在地 佐久市横和字宮之上306-7、306-9
主体者 奥村 茂貴
開発事業名 集合住宅
調査期間 平成23年1月24日、2月14～16日
調査面積 92㎡（開発面積442㎡）
調査担当者 上原 学



宮の上遺跡群21位置図（1：10,000）

調査の結果

調査対象地は湯川左岸の段丘上に位置する。

調査は、対象地に東西方向のトレンチを4本設定し、遺構の確認を行った。その結果、住居址6軒、土坑、ピットを発見した。遺構検出は、表土直下60cmに堆積しているローム上面で行った。遺物は平安時代の土師器・須恵器が遺構確認面上から出土した。

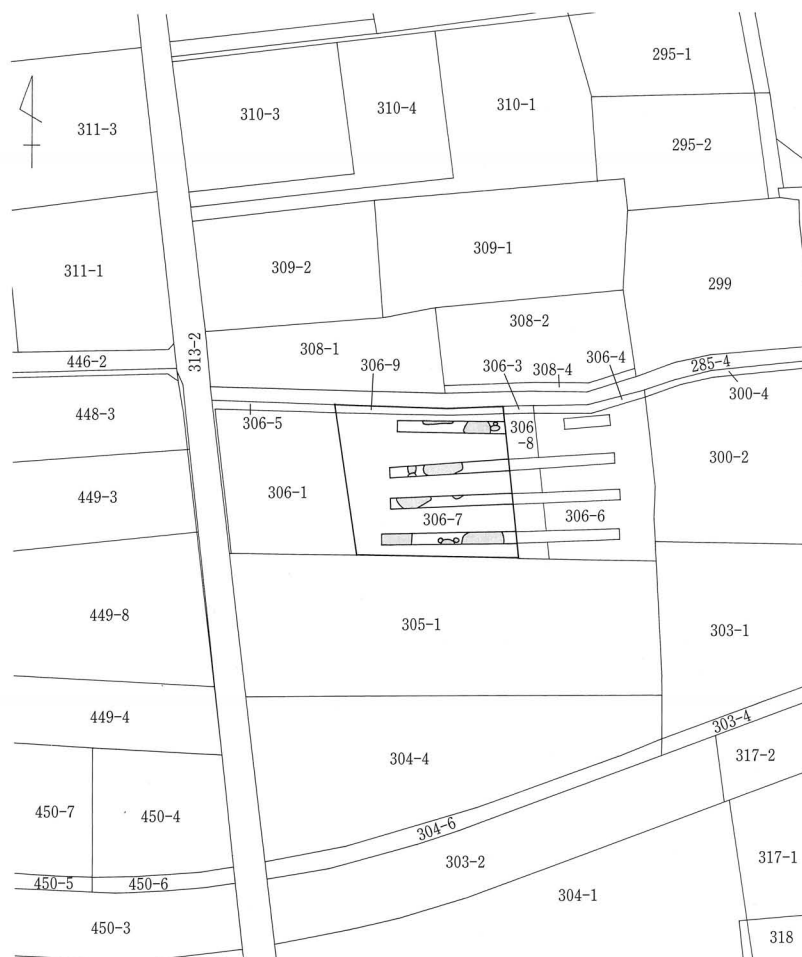
保護協議の結果、遺構が破壊される部分の発掘調査を平成23年3月に実施した。



遺構検出状況



遺構検出状況

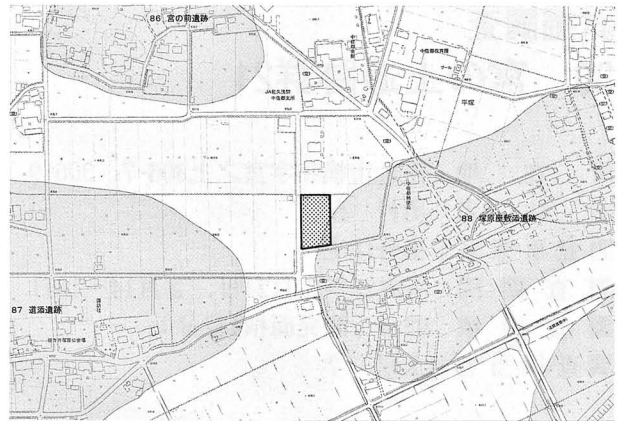


宮の上遺跡群21調査全体図（1：1,000）

試掘調査

34 塚原屋敷添遺跡5

所在地 佐久市平塚字欠塚265-1
主体者 有限会社 田園不動産
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成22年2月3日
調査面積 21㎡（開発面積2,611㎡）
調査担当者 上原 学

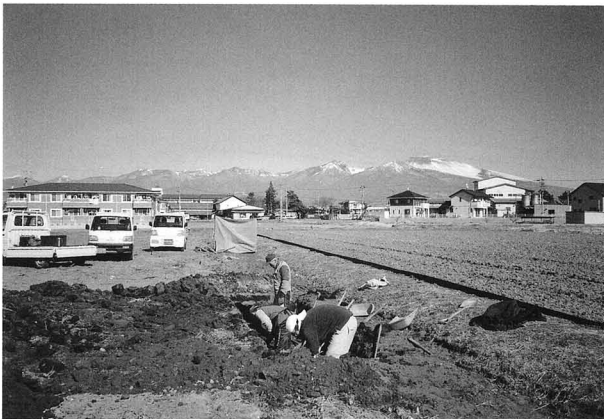


塚原屋敷添遺跡5位置図（1：10,000）

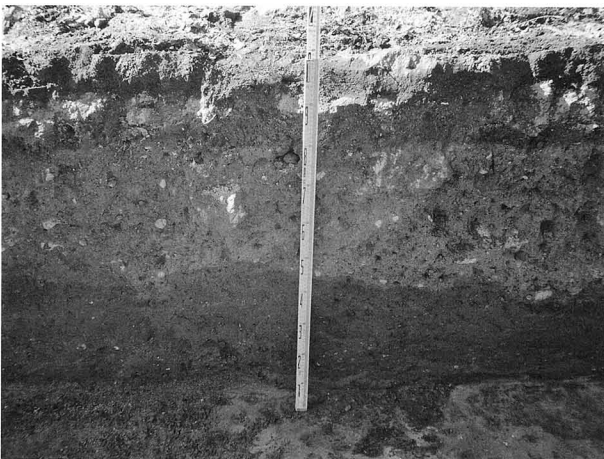
調査の結果

調査対象地周辺は整備された水田地帯だが、以前は東から西方向に緩やかに傾斜する台地であった。

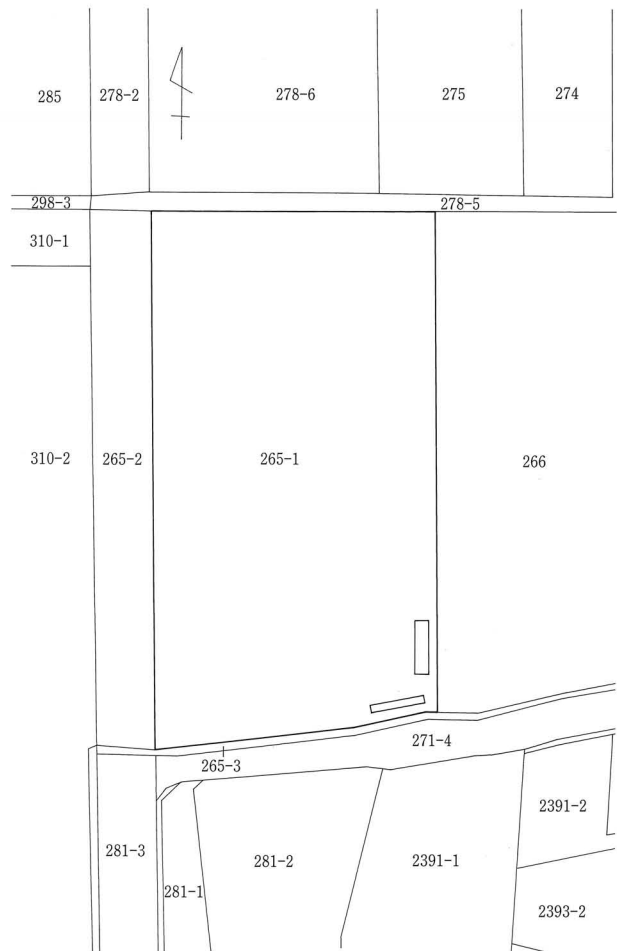
調査は、開発範囲南東の塚原屋敷添遺跡内に含まれている地域に手掘りによる南北方向のトレンチ1本、東西方向のトレンチ1本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、周辺は粘土層及び砂層主体の低地帯であることが確認でき、現地表土下1mに堆積している砂層内に摩耗した土師器が1片認められた。土器は確認状況、土層から流れ込みと考えられ、現状保存とした。遺構は確認されなかった。調査結果から、本調査の必要は認められなかった。



調査風景



堆積状況

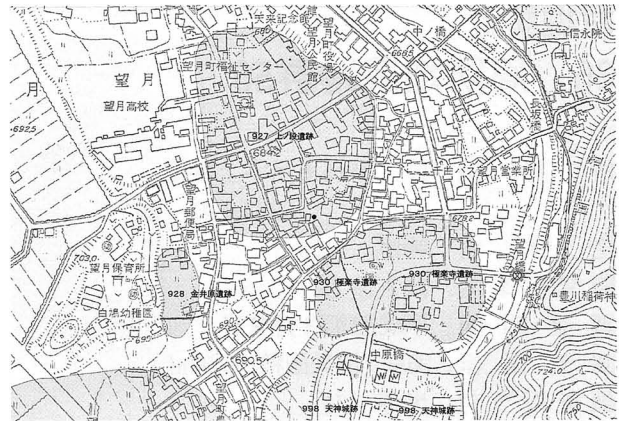


塚原屋敷添遺跡5調査全体図（1：1,000）

試掘調査

35 上ノ段遺跡

所在地 佐久市望月金井原99-1
主体者 株式会社 エヌ・ティ・ティ
・ドコモ 長野支店
開発事業名 移動通信中継施設
調査期間 平成23年3月3日
調査面積 2.50㎡(開発面積318.65㎡の内9.34㎡)
調査担当者 上原 学



上ノ段遺跡位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

調査対象地は鹿曲川左岸段丘上に位置する。

調査は対象地に手掘りによるトレンチ1箇所(約2.5㎡、深さ1m)を設定し、遺構の確認を行った。その結果、遺構・遺物は確認されなかった。

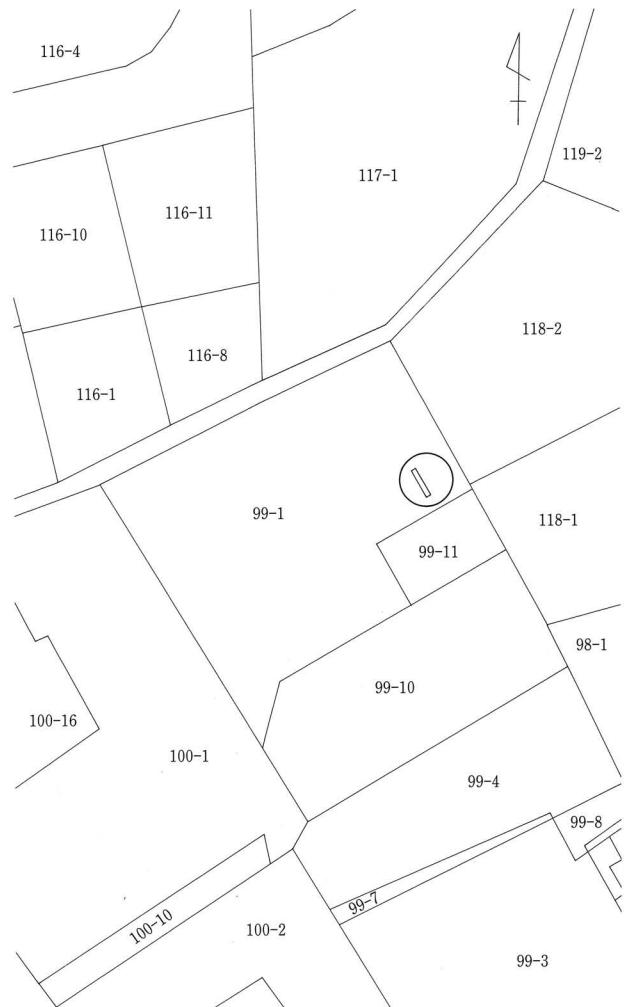
調査結果から、本調査の必要は認められなかった。



調査風景



堆積状況



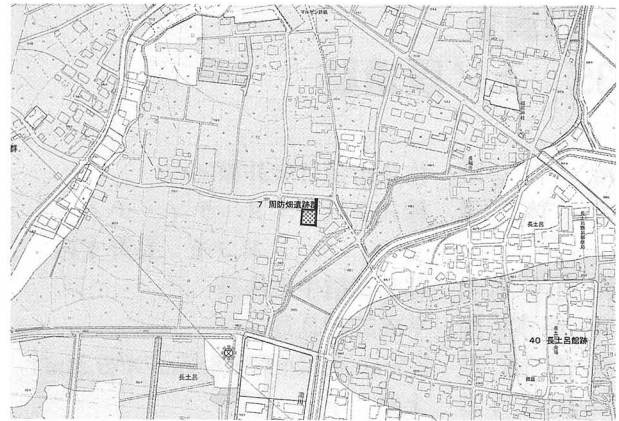
上ノ段遺跡調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

36 周防畑遺跡群56

所在地 佐久市長土呂字上堰端
1223-2の一部

主体者 神津 公洋
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成23年3月8日
調査面積 36㎡(開発面積190.02㎡)
調査担当者 出澤 力



周防畑遺跡群56位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

対象地内に試掘トレンチ3本を設定し、遺構・遺物の確認を行った。表土下30~40cm程度の深さで砂層を確認し、遺構確認面とした。

結果、遺構・遺物ともに発見されなかった。



試掘トレンチ



試掘トレンチ



周防畑遺跡群56調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

37 跡部儘田遺跡群

所在地 佐久市跡部字向畑382-1 外
主体者 田中 文央
開発事業名 集合住宅
調査期間 平成23年3月10日
調査面積 114㎡（開発面積1,257㎡）
調査担当者 出澤 力



跡部儘田遺跡群位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地内に試掘トレンチ4本を設定し、遺構・遺物の確認を行った。表土下30～40cm程度の深さで礫層を確認し、遺構確認面とした。

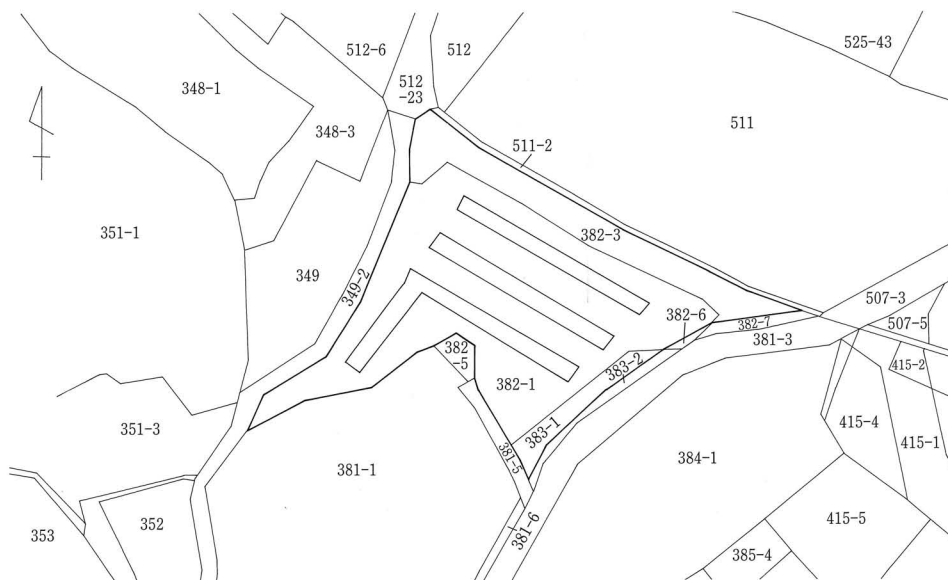
結果、遺構・遺物ともに発見されなかった。



試掘トレンチ



堆積状況

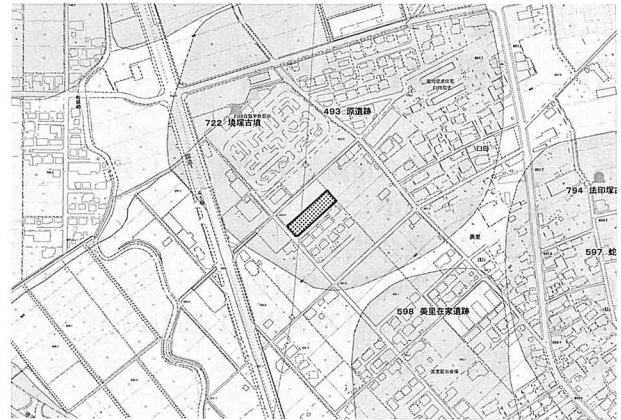


跡部儘田遺跡群調査全体図（1：1,000）

試掘調査

38 原遺跡2

所在地 佐久市臼田字前阿弥
 1359-2、1359-5
 主体者 株式会社 大勝田開発
 開発事業名 宅地造成
 調査期間 平成23年2月24・25日
 調査面積 260㎡（開発面積1,445㎡）
 調査担当者 富沢 一明



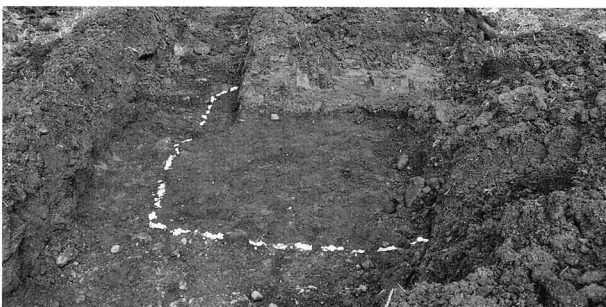
原遺跡2位置図（1：10,000）

調査の結果

対象地内に試掘トレンチ3本を設定し、遺構・遺物の確認を行った。表土下60～80cm程度の深さのシルト層及び礫層を遺構確認面とした。結果、平安時代と考えられる竪穴住居址1軒と炭化物が詰まった土坑1基を検出した。宅面は盛り土で造成された。住宅建築時には、協議が必要である。



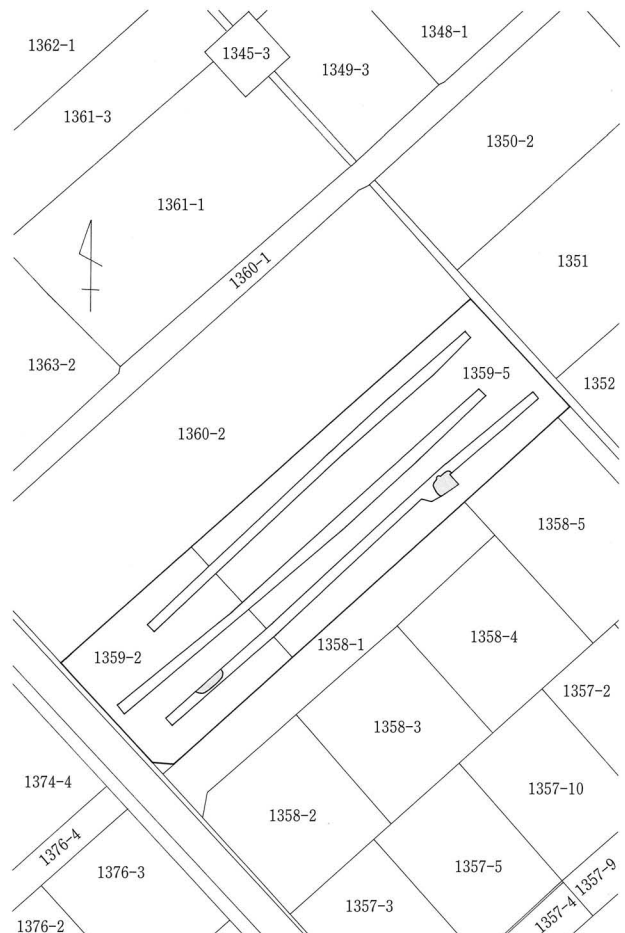
試掘トレンチ



遺構検出状況



遺構検出状況



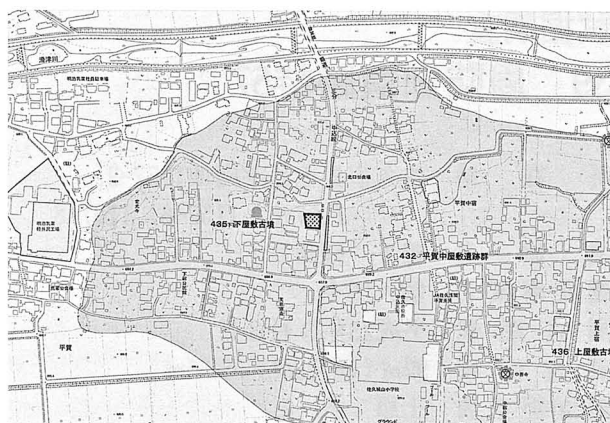
原遺跡2調査全体図（1：1,000）

試掘調査

40 平賀中屋敷遺跡群13

所在地 佐久市平賀字下屋敷
5365-7, 5366-1

主体者 北沢 博之
開発事業名 集合住宅
調査期間 平成23年3月23日
調査面積 76㎡ (開発面積495㎡)
調査担当者 富沢 一明



平賀中屋敷遺跡群13位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

対象地内に試掘トレンチ6本を設定し、遺構・遺物の確認を行った表土下30~40cm程度の深さのシルト層及び礫層を遺構確認面とした。結果、平安時代と考えられる竪穴住居址1軒とピット1基を検出した。遺構は駐車場予定地内で、建物建築位置からは外れる。



調査風景



遺構検出状況



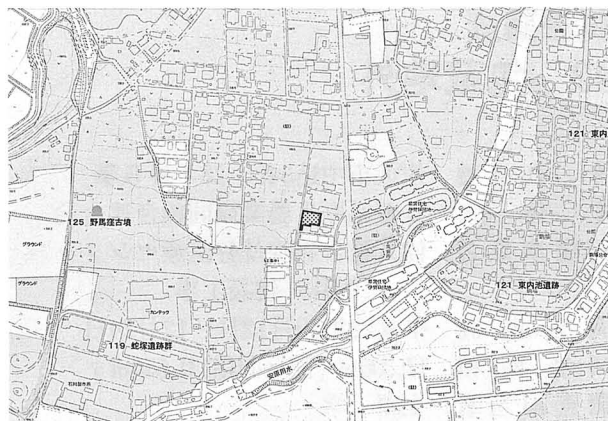
平賀中屋敷遺跡群13調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

41 蛇塚遺跡群24

所在地 佐久市新子田字野馬久保
1936-1, 1934-16

主体者 田村 勇城
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成23年3月31日
調査面積 50㎡（開発面積476.18㎡）
調査担当者 上原 学



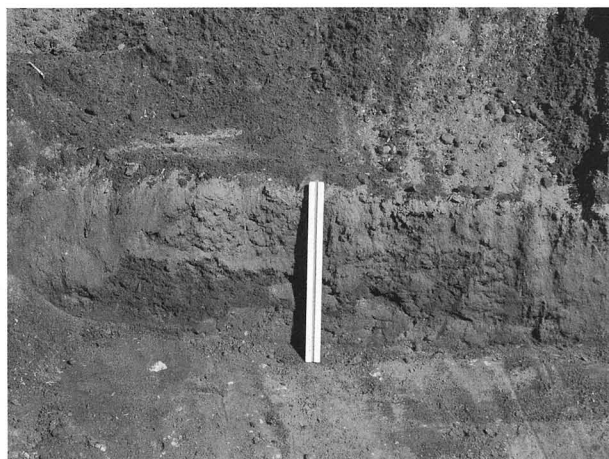
蛇塚遺跡群24位置図（1：10,000）

調査の結果

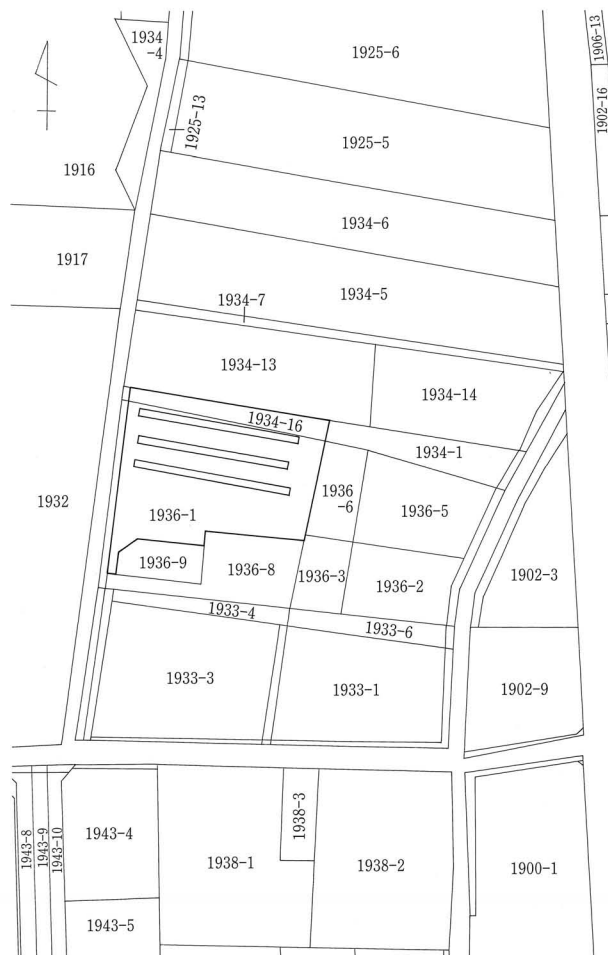
調査対象地は、千曲川の支流である湯川の左岸段丘上の緩やかに南西方向に傾斜する台地上に位置する。調査は対象地に東西方向のトレンチ3本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、遺構・遺物は確認されなかった。
当該地域における本調査の必要はない。



試掘トレンチ



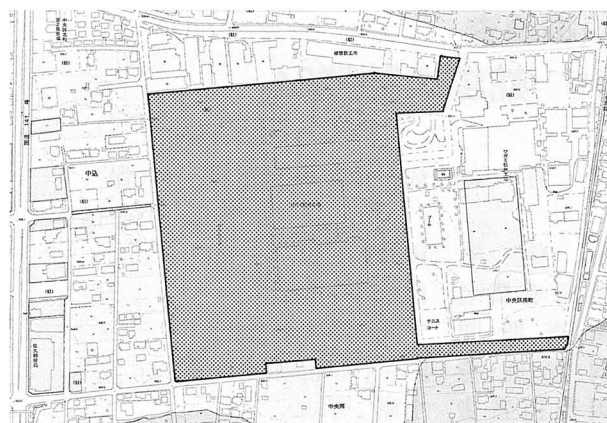
堆積状況



蛇塚遺跡群24調査全体図（1：1,000）

試掘調査 42 包蔵地外

所在地 佐久市中込3400-28 外5筆
主体者 長野県厚生農業協同組合連合会
開発事業名 佐久総合病院基幹医療センター
(仮称) 建設工事
調査期間 平成22年10月12日～12月24日
調査面積 17,306㎡(開発面積131,556㎡)
調査担当者 上原 学



包蔵地外位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

調査対象地は、滑津川右岸に位置し、以前は南方向に向かって緩やかに傾斜する台地であったと考えられるが、現在は、工場建設に伴う造成によって幾つかの平坦面が造られている。

今回、佐久総合病院基幹医療センター(仮称)建設が行われることとなり、試掘調査を実施した。調査は、南北方向のトレンチ89本、東西方向のトレンチ40本を設定し、遺構の確認を行った。遺構の確認は、現在の表土(工場・グラウンド造成等に伴う埋土又は掘削後の整地層)下50～200cmに存在する黄褐色ローム又は砂層上面にて行った。

その結果、工場解体及び表土掘削等による攪乱は多数認められたが遺構・遺物は確認できなかった。



試掘トレンチ



試掘トレンチ



試掘トレンチ



試掘トレンチ



包蔵地外 調査全体図 (1:3,000)

2 立会調査報告

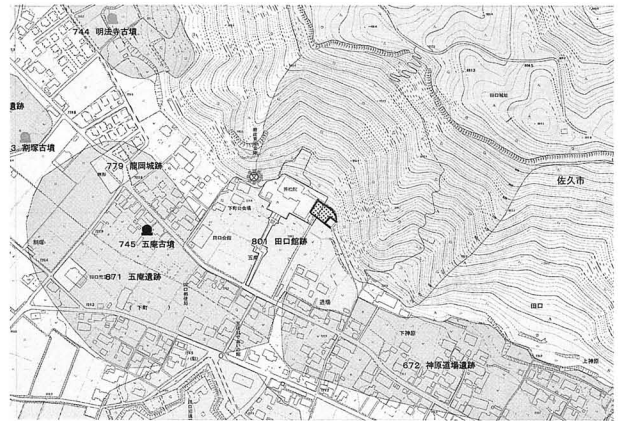
立会調査

43 田口館跡3

所在地 佐久市田口2893
主体者 宗教法人 藩松院
開発事業名 寺院改修
調査期間 平成21年2月20日
～平成23年3月31日
調査面積 9,500㎡
調査担当者 須藤 隆司

調査の結果

宗教法人 藩松院が田口館跡内で行う本堂・庫裡の改修工事に伴い、排水溝設備工事の掘削状況の立会調査を実施した。掘削深度は40cmであったが、すべて盛土層であり遺構・遺物は確認されなかった。



田口館跡3位置図 (1 : 10,000)



掘削状況

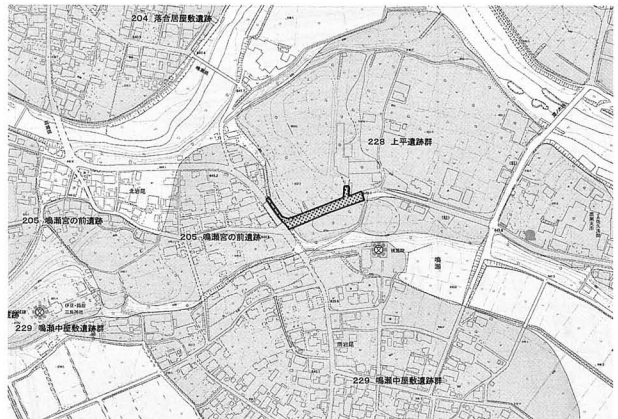
立会調査

44 上平遺跡群4

所在地 佐久市鳴瀬1547-1～1509
主体者 佐久建設事務所
開発事業名 道路改良
調査期間 平成22年4月15日
調査面積 850㎡
調査担当者 富沢 一明

調査の結果

拡幅部分掘削時に立ち会った。遺構・遺物は、検出されなかった。



上平遺跡群4位置図 (1 : 10,000)



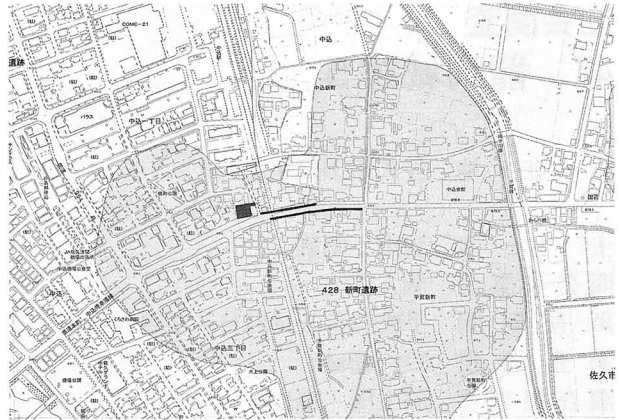
掘削状況

立会調査 45 新町遺跡11

所在地 佐久市中込
主体者 佐久建設事務所
開発事業名 道路改良
調査期間 平成23年3月23日
調査面積 830㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

歩道拡幅部分掘削時に立ち会った。遺構・遺物は、検出されなかった。



新町遺跡11位置図 (1 : 10,000)



掘削状況

立会調査 46 龍岡城跡4

所在地 佐久市田口2968、2968-1
主体者 鷺見 彰
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成22年6月7～18日
調査面積 585.66㎡
調査担当者 羽毛田 卓也

調査の結果

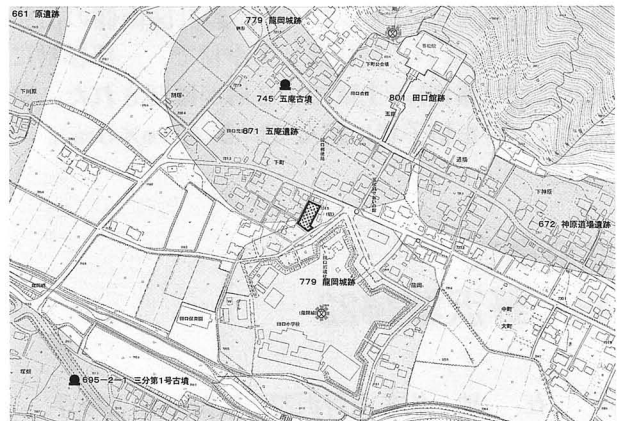
鷺見氏住居建て替えに伴う立会調査を行った。
旧田野口藩の武家屋敷とされている建築物であるため、上部建物より調査を行った。

基礎横木は栗材、中間梁、屋根梁は赤松材、縦柱は檜材。改築・修繕材はすべて杉材。基礎石は、北列が佐久石角材、他はすべて扁平河原石。各部屋に佐久石製の火鉢あり（6月7日～18日）。土壁は2層構造、壁芯は格子状に組んだアシ。土間は、粘質土に若干の粗砂を混入させた版築土。

西から北側にかけて修繕している。

基礎工事：地表より26～52cm、地山に達しない。
粗砂を主体とする暗褐色攪乱土。

進入路含む（10月31日～12月30日）。



龍岡城跡4位置図 (1 : 10,000)



掘削状況

立会調査 47 龍岡城跡5

所在地 佐久市田口字竜岡
2970、2970-1、2972-7
主体者 岩田 昭雄
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成22年5月24日～7月16日
調査面積 391.42㎡
調査担当者 羽毛田 卓也



龍岡城跡5位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

旧田野口藩の武家屋敷（一部改良）の調査を行った。基礎横木は栗材、一階・二階中間部の梁は赤松材。1階から2階への通柱なし。一部角釘使用、多くが丸釘で補修。基礎石は扁平河原石、4本佐久石の角柱状礎石、礎石上に横木（大梁）を渡し、柱を臍組で立てている。礎石からの立柱はなし。

基礎工事：地表より31cm～27cm、地山には達しない。粗砂を主体とする暗褐色攪乱土。砂礫を主体とする暗褐色搬入土。

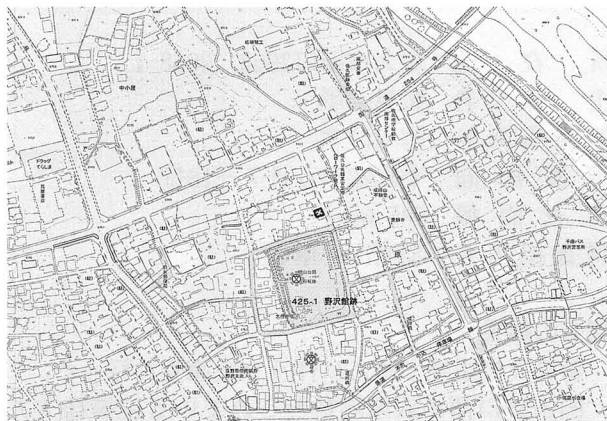
基本的には慶応年間の武家屋敷で、武家屋敷平面図の柱数とも一致している。設計図南側の出張（便所か）はない。縦柱はヒノキ材で、一部杉材による改築（修繕）。土壁で、2層が確認された。壁芯は、アシを格子状に組んでいる（3cm×3cm）。



掘削状況

立会調査 48 野沢城跡22

所在地 佐久市野沢271-1、270-3、270-7
主体者 清水 琢磨
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成22年4月16日
調査面積 199㎡
調査担当者 林 幸彦



野沢城跡22位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

基礎掘削工事に立ち会った。

旧住宅建設時に大部分が破壊されていた。竪穴状の遺構1・ピット10個が確認できた。確認面から約15cm盛土されて工事がなされた。



掘削状況

立会調査

49 岩村田遺跡群128

所在地 佐久市岩村田
2094-2、2094-6、2094-7
主体者 有限会社 エルブルース
開発事業名 店舗建設
調査期間 平成22年5月18日
調査面積 401.53㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

基礎工事掘削時に立ち会った。
深掘りされる基礎部分は、40cm盛土されており
その直下に耕作土が見られた。遺物・遺構は確認
されなかった。



岩村田遺跡群128位置図（1：10,000）



掘削状況

立会調査

50 三分遺跡群2

所在地 佐久市三分字塚畑473-2
主体者 岩岡 修
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成22年5月17日
調査面積 401.72㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

遺構・遺物は確認されなかった。



三分遺跡群2外位置図（1：10,000）



掘削状況

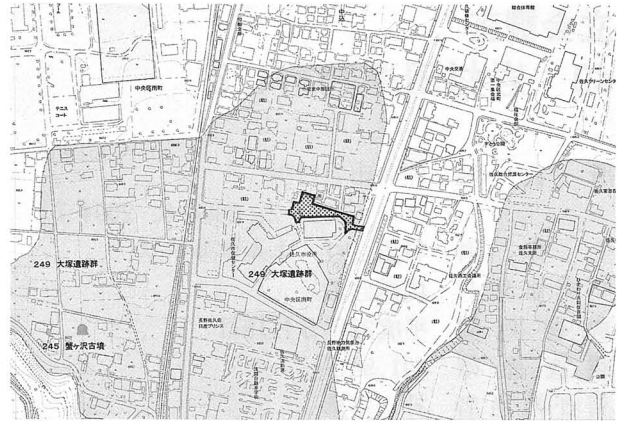
立会調査

51 大塚遺跡群9

所在地 佐久市字大塚3073-1 外
主体者 佐久市
開発事業名 駐車場等整備工事
調査期間 平成22年7月15日
調査面積 1,900㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

既存のアスファルト除去後の掘削時に立ち会った。
40cmの盛土の下に2～10cmの円礫を含むむい黄褐色土が、さらに、10cmのローム層、その下は砂層であった。遺構・遺物は確認されなかった。



大塚遺跡群9位置図 (1:10,000)



掘削状況

立会調査

52 岩村田遺跡群129

所在地 佐久市岩村田字天神堂3162-54
主体者 宮原 みゆき
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成22年6月10日
調査面積 238.68㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

基礎工事掘削時に立ち会った。
以前の建物の取り壊し後なされた整地時の攪乱が、全面に及んでいた。深さは40～50cm、深いところでは80cmある。ほぼ150cmの深さで湧水が見られた。整地土の直下は、明褐色のP₁である。遺構・遺物は、検出されなかった。



岩村田遺跡群129位置図 (1:10,000)



掘削状況

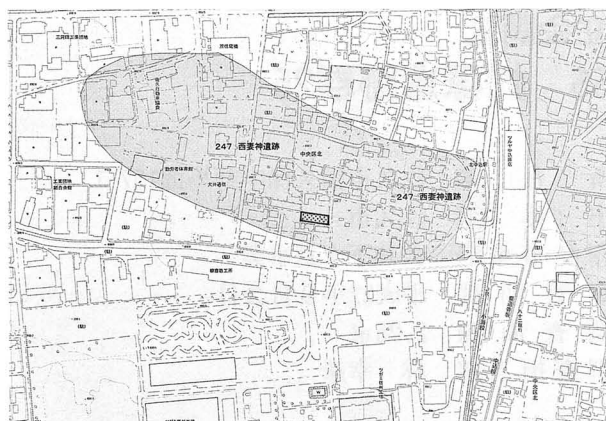
立会調査

53 西妻神遺跡 4

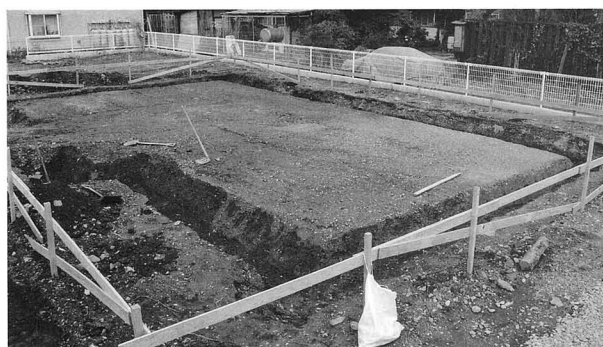
所在地 佐久市中込字西妻神3281-1
主体者 小西 光子
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成22年7月5日
調査面積 614.28㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

基礎工事掘削時に立ち会った。
地表から60cm掘り下げられた。盛土が35cmで、
その下に耕作土が25cmみられ、掘削は遺構確認面
およびP₁まで達していない。
遺構・遺物は、検出されなかった。



西妻神遺跡 4 位置図 (1 : 10,000)



掘削状況

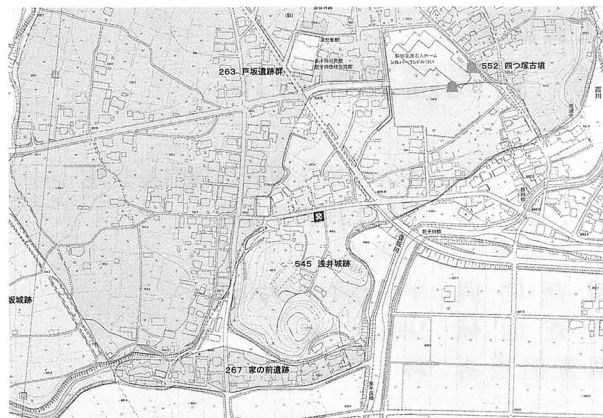
立会調査

54 浅井城跡 4

所在地 佐久市新子田字丑ヶ久保800
主体者 小平 健夫
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成22年7月26日
調査面積 284㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

連絡を受け現場に行ったところ、すでに工事は
進んでいた。
周囲の排土から、遺物は確認されなかった。



浅井城跡 4 位置図 (1 : 10,000)



掘削状況

立会調査

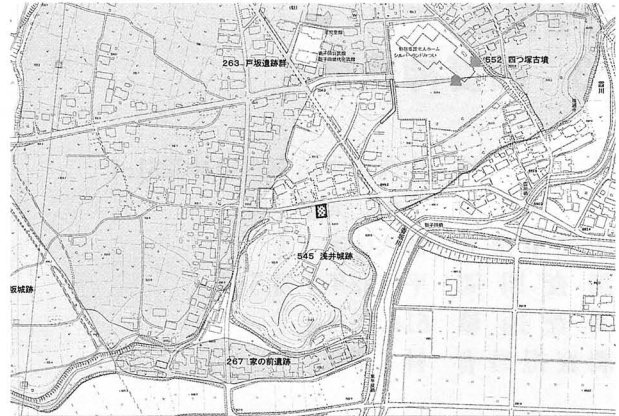
55 蛇塚遺跡群25

所在地 佐久市猿久保字野馬窪157-1
主体者 佐久市
開発事業名 公共下水道事業
調査期間 平成22年9月2日
調査面積 2.25㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

立会地点は、地表から100cm攪乱されていた。掘削底面付近にP₁がみられた。

遺構・遺物は検出されなかった。



蛇塚遺跡群25位置図 (1 : 10,000)



掘削状況

立会調査

56 野馬窪遺跡群10

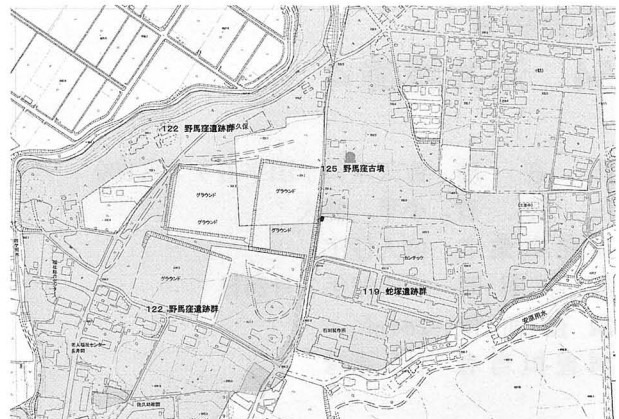
所在地 佐久市猿久保野馬窪210-1 外
主体者 佐久土地開発公社
開発事業名 土測溝
調査期間 平成22年7月20日
調査面積 100㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

南側の土側溝は、100cm攪乱されていた。中央の地点では、グラウンド造成時の盛土が100cm以上確認された。旧耕作土は、現れない。

東土側溝も1m掘削された。南端は、盛土が80cm旧耕作土20cmがみられた。

掘削は、遺構確認面まで達しない。遺構・遺物の出土はなかった。



野馬窪遺跡群10位置図 (1 : 10,000)



掘削状況

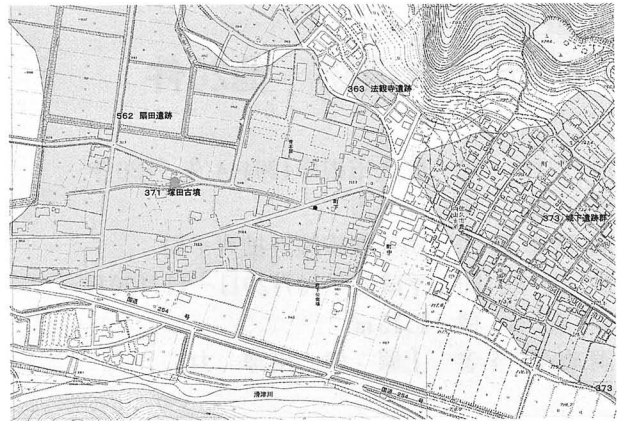
立会調査

57 扇田遺跡2

所在地 佐久市内山字下木戸7009-3
主体者 ソフトバンクモバイル株式会社
開発事業名 無線基地局建設
調査期間 平成22年11月30日
調査面積 1.44㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

コンクリート柱穴掘削時に立ち会った。
耕作土30cm以下は、大小の円礫・砂を含む粘質強度な褐色土である。遺構・遺物は確認されなかった。



扇田遺跡2位置図 (1 : 10,000)



掘削状況

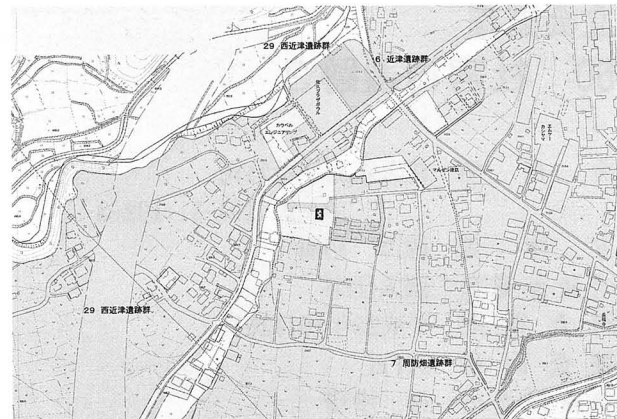
立会調査

58 周防畑遺跡群58

所在地 佐久市長土呂字南近津
1163-80、1186-6
主体者 佐藤 剛
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成22年9月22日
調査面積 240.32㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

基礎工事掘削時に立ち会った。
掘削部分は、宅地造成時の盛土範囲で止まっていた。遺構・遺物は確認されなかった。



周防畑遺跡群58位置図 (1 : 10,000)



掘削状況

立会調査

59 五本木遺跡 他20件

所在地 佐久市根岸4294-4 先 外20件
主体者 佐久市
開発事業名 防災無線屋外拡声子局
調査期間 平成22年10月20日～11月20日
調査面積 1.13㎡
調査担当者 上原 学、出澤 力

五本木遺跡 他20件
別添図

調査の結果

佐久市（庶務課）が行う平成22年度防災告知放送施設整備事業に伴い、立会調査を行った。調査は、電柱設置時に行われるドリル（一部バックホー）による掘削作業（直径約50cm、深さ2.8m）に合わせて行った。遺構・遺物は確認されなかった。



掘削状況

立会調査

60 社宮司遺跡 3

所在地 佐久市原字社宮司
194-2、194-3、192-3
主体者 柳澤 裕樹
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成22年10月26日
調査面積 347㎡
調査担当者 林 幸彦



社宮司遺跡3位置図（1：10,000）

調査の結果

基礎工事掘削時に立ち会った。

掘削部分は、盛土下旧耕作土内で止まっていた。
遺構・遺物は確認されなかった。



掘削状況

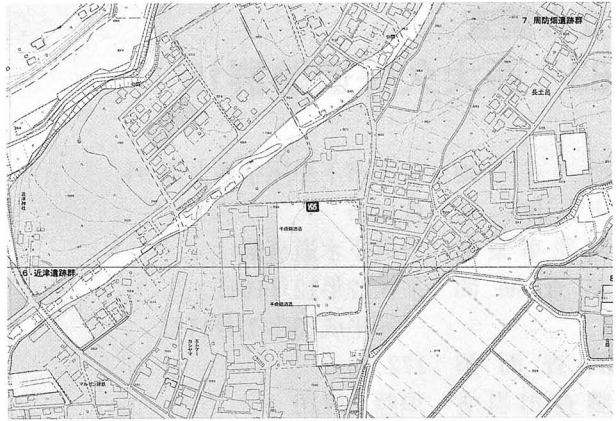
立会調査

61 周防畑遺跡群59

所在地 佐久市長土呂字一本松1018
主体者 片井 宏治
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成22年10月13日
調査面積 241.63㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

基礎工事土壌改良攪拌作業時に立ち会った。
千曲錦ランド造成時及び宅地造成時の削平・整地・盛土が80～100cm確認され、その直下がP₁であった。耕作土・遺物包含層等は、存在しなかった。遺構・遺物は確認されなかった。



周防畑遺跡群59位置図（1：10,000）



掘削状況

立会調査

62 日向屋敷遺跡

所在地 佐久市根々井字上屋敷540-3、540-2
主体者 佐久市
開発事業名 公共下水道事業
調査期間 平成22年11月15・16日
調査面積 ①7.7㎡②5.5㎡
調査担当者 須藤 隆司

調査の結果

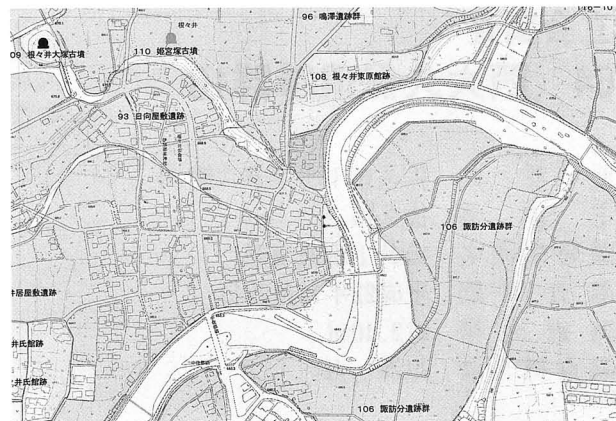
下水建設課が行う2カ所の下水道管敷設工事の掘削に伴う立会調査を実施した。なお、調査地点は平成19年度試掘調査根々井居屋敷遺跡2で竪穴住居址等が確認され、盛土保存された隣接地である。

11月15日 調査地点 上屋敷540-2

幅1m×長さ3.5m×深さ1.5mの掘削状況の立会。
現道部分では長さ1m・幅1m・深さ1.5mまで水道・ガス・下水道工事で攪乱されていた。残存部の堆積は、表土40cm、黒褐色土20cm、砂層60cm、砂礫層30cmの堆積で、遺構・遺物は確認されなかった。

11月16日 調査地点 上屋敷540-3

現道部分では長さ1m・幅1m・深さ1.5mまで水道・ガス・下水道工事で攪乱されていたが、攪乱脇に砂層を切り込む深さ60cmほどの黒褐色土の堆積が確認され、道路西側の未調査区に竪穴住居址等の残存が推定できた。



日向屋敷遺跡位置図（1：10,000）

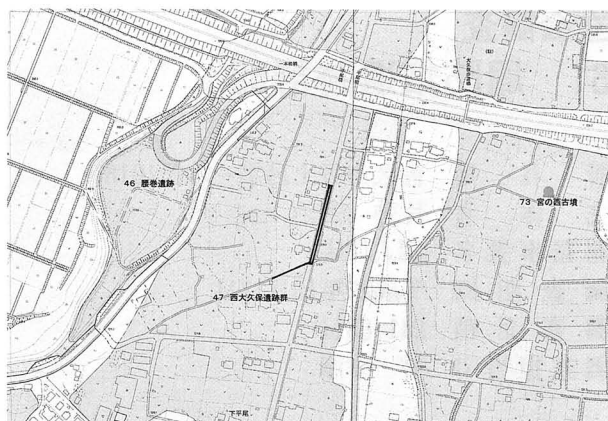


掘削状況

立会調査

63 西大久保遺跡群15

所在地 佐久市下平尾字西久保 外
主体者 佐久市
開発事業名 公共下水道事業
調査期間 平成22年12月10日
～平成23年1月11日
調査面積 172.90㎡
調査担当者 須藤 隆司

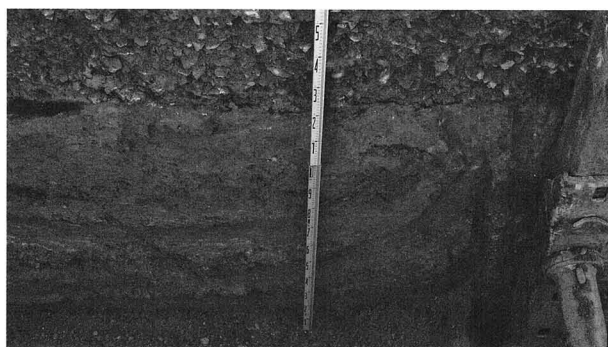


西大久保遺跡群15位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

公共下水道事業に伴い、遺構・遺物の確認を目的とする立会調査を実施した。

現道建設時に浅間第1軽石流上部まで掘削されており、無遺物・無遺構層の浅間第1軽石流の掘削状況の確認であった。遺構・遺物は確認されなかった。

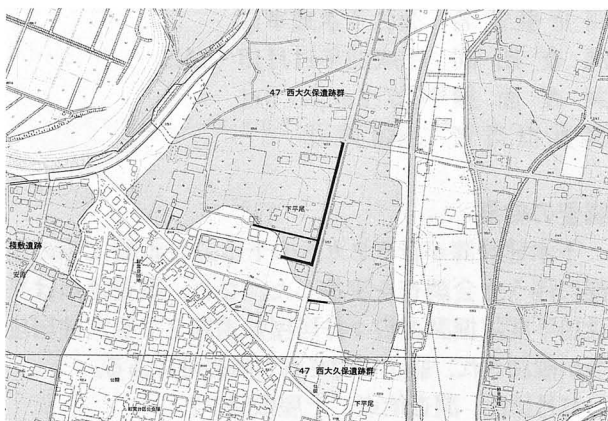


掘削状況

立会調査

64 西大久保遺跡群16

所在地 佐久市下平尾字六間 外
主体者 佐久市
開発事業名 公共下水道事業
調査期間 平成22年10月29日
調査面積 212.40㎡
調査担当者 出澤 力



西大久保遺跡群16位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

遺構・遺物は確認されなかった。



掘削状況

立会調査

65 龍岡城跡6

所在地 佐久市田口3257-5
主体者 佐久市教育委員会
開発事業名 看板設置
調査期間 平成23年2月1日
調査面積 30㎡
調査担当者 上原 学

調査の結果

川村五臓記念館案内看板設置に伴う立会調査を実施した。

アスファルト直下20cmに、コンクリ敷きが認められた。コンクリを剥ぐと現在のU字溝の南側40cmに沿って、上下二段、4列の石組みが掘削範囲から認められた。上段の石組みをはずした結果、2段目の裏ごめ部分までコンクリで固めてあり、ふちの丸い川原石が使用されていた。この結果から、比較的新しい時期に積まれた旧水路のものと考えられたため、6個の石を取り外し、工事を継続した。

掘削深度は90cmで、北側のU字溝の工事を行った後に戻した埋土の範囲内に収まっていた。底の一部には、砂利が認められた。

立会調査

66 樋口遺跡

所在地 佐久市上小田切字樋田 外
主体者 佐久市
開発事業名 公共下水道事業
調査期間 平成23年1月19日
調査面積 199.5㎡
調査担当者 上原 学

調査の結果

平成23年1月19日・1月24日・1月28日・2月2日に公共下水道事業に伴う立会調査を実施した。

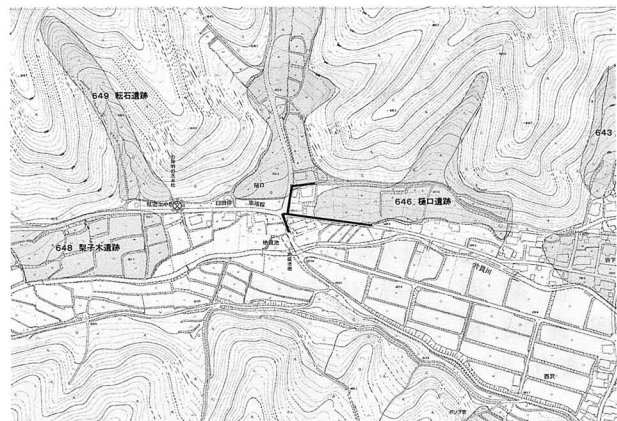
道路基盤の碎石直下に約50cm厚の強粘性黒色土が堆積しており、その下は片貝川の氾濫源である砂礫層が厚く堆積し、湧水が認められる。道路基盤層直下に粘性の黒色土、粘性の灰褐色土、砂礫層となる。遺構・遺物は確認されなかった。



龍岡城跡6位置図 (1:10,000)



掘削状況



樋口遺跡位置図 (1:10,000)



掘削状況

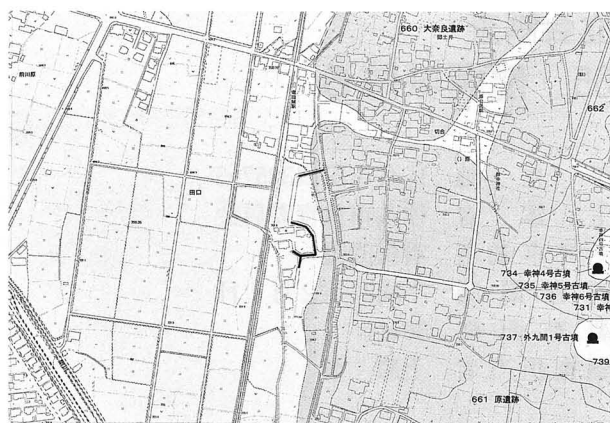
立会調査

67 原遺跡3

所在地 佐久市田口字切合
主体者 佐久市
開発事業名 公共下水道事業
調査期間 平成23年1月20日
調査面積 172.90㎡
調査担当者 出澤 力

調査の結果

遺構・遺物は確認されなかった。



原遺跡3位置図 (1:10,000)



掘削状況

立会調査

68 東大久保遺跡群12

所在地 佐久市下平尾字宮の西387-4,387-1
主体者 水澤 仁太郎
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成23年2月3日
調査面積 367㎡
調査担当者 富沢 一明

調査の結果

個人住宅建設に伴い立会調査を実施した。

調査地点は台地の縁で西側に大きく傾斜した地形である。現地はすでに宅地造成が行われ、西側は1m程の盛土が行われていた。

建物基礎の掘削時に立会調査を行った。その結果、掘削は50cmで全体が盛土の中であったが、東端で一部分に自然堆積の砂層が確認できた。掘削範囲では遺構・遺物ともに確認されなかった。



東大久保遺跡群12位置図 (1:10,000)



掘削状況

立会調査

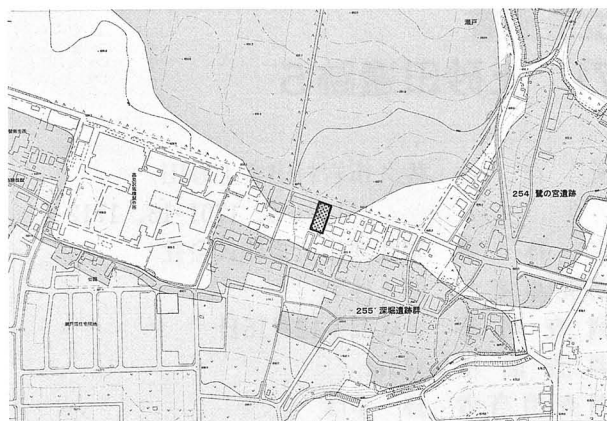
69 馬瀬口遺跡群6

所在地 佐久市瀬戸字桜山377-61、377-65
主体者 坂井 豊治・一民
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成22年12月10・11日
調査面積 448.84㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

基礎部分掘削時に立ち会った。

耕作土40cmほどで、下に黒色土がみえた。その10cm下には黒褐色土、さらに、10cm下には明褐色のP₁がある。P₁と黒褐色土境から湧水がみられた。遺構・遺物は確認されなかった。



馬瀬口遺跡群6位置図（1：10,000）



掘削状況

立会調査

70 平賀中屋敷遺跡群14

所在地 佐久市平賀字門前
主体者 佐久市
開発事業名 公共下水道事業
調査期間 平成23年1月12～14・17・24日・
2月2日
調査面積 149㎡
調査担当者 上原 学

調査の結果

平成23年1月12日・1月13日・1月14日・1月17日・1月24日・2月2日に下水道工事掘削に伴う立会調査を実施した。

シルト層から黒っぽい砂礫層となる。遺構・遺物は確認されなかった。



平賀中屋敷遺跡群14位置図（1：10,000）



掘削状況

立会調査

71 上砂田遺跡5

所在地 佐久市岩村田字上砂田
1701-5、1701-13、1712-5

主体者 須江建設工業株式会社

開発事業名 個人住宅

調査期間 平成22年12月15日

調査面積 475㎡

調査担当者 林 幸彦

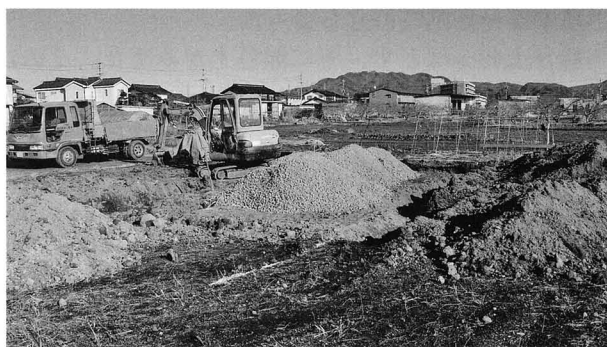


上砂田遺跡5位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

基礎部分掘削時に立ち会った。

宅地完成時の盛土・攪乱土50cm下に、にぶい黄
橙色の粘質土とにぶい黄褐色土（塚原泥流）がみ
えた。遺構・遺物は確認されなかった。



掘削状況

立会調査

72 大沢屋敷遺跡

所在地 佐久市大沢字屋敷999-1

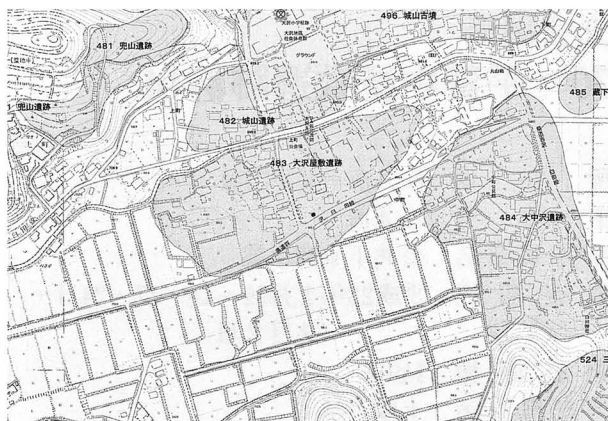
主体者 ソフトバンクモバイル株式会社

開発事業名 無線基地局建設

調査期間 平成22年12月27日

調査面積 4㎡

調査担当者 林 幸彦



大沢屋敷遺跡位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

コンクリート柱の穴掘削時に立ち会った。

耕作土25cm下は、大小（5～30cm）の円礫を多
量に含む粘質強度な褐色の水性ロームである。遺
構・遺物は確認されなかった。



掘削状況

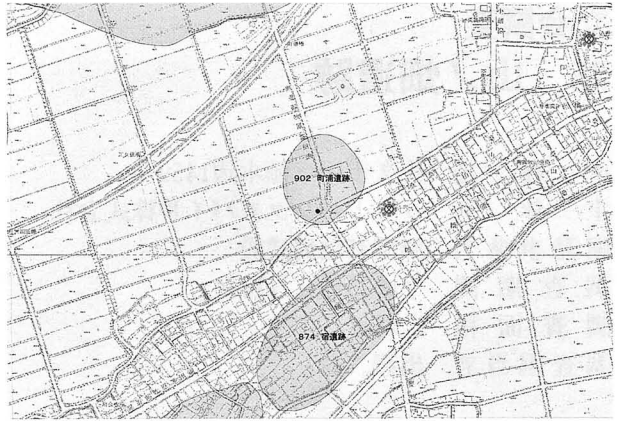
立会調査

73 町浦遺跡

所在地 佐久市蓬田字町浦214-1
主体者 ソフトバンクモバイル株式会社
開発事業名 無線基地局建設
調査期間 平成23年1月24日
調査面積 1.44㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

コンクリート柱の穴掘削時に立ち会った。埋め土100cm下は、大小（5～30cm）の円礫を多量に含む粘質強度な暗褐色土、さらに、30cm下には、強粘質の暗灰黄色土が見られた。遺構・遺物は確認されなかった。



町浦遺跡位置図（1：10,000）



掘削状況

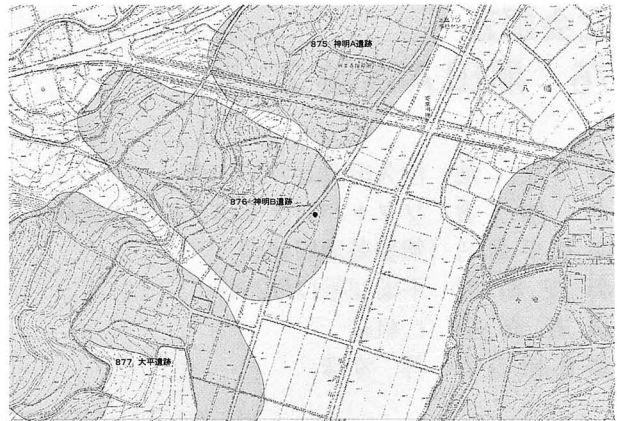
立会調査

74 神明B遺跡

所在地 佐久市八幡字島田629
主体者 ソフトバンクモバイル株式会社
開発事業名 無線基地局建設
調査期間 平成22年12月25日
調査面積 1.44㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

コンクリート柱の穴掘削時に立ち会った。埋め土160cm下は、層厚30cmのにぶい黄橙色の粘質土その下部には層厚70cmの黒褐色の砂層が見られた。さらに30cm下には、強粘質の暗灰黄色土が見られた。遺物は確認されなかった。



神明B遺跡位置図（1：10,000）



掘削状況

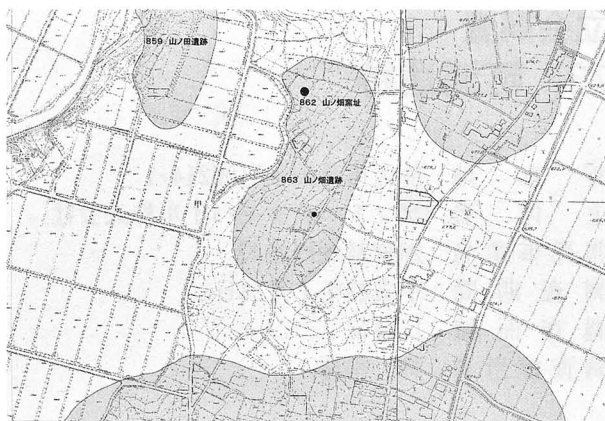
立会調査

75 山ノ畑遺跡

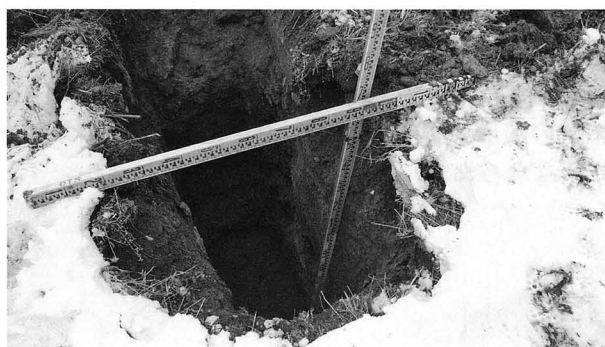
所在地 佐久市甲字植木辺1459-5
主体者 ソフトバンクモバイル株式会社
開発事業名 無線基地局建設
調査期間 平成23年2月14日
調査面積 1.44㎡
調査担当者 出澤 力

調査の結果

遺構・遺物は確認されなかった。



山ノ畑遺跡位置図 (1 : 10,000)



掘削状況

立会調査

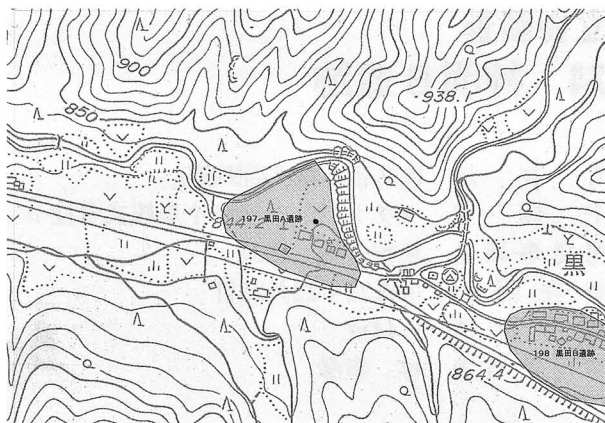
76 黒田A遺跡2

所在地 佐久市内山字黒田165
主体者 ソフトバンクモバイル株式会社
開発事業名 無線基地局建設
調査期間 平成22年12月25日
調査面積 1.44㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

コンクリート柱の穴掘削時に立ち会った。

表土下20cmには、層厚40cmの黒色土、その下部には褐色の水性ロームが見られた。遺構・遺物は確認されなかった。



黒田A遺跡2位置図 (1 : 10,000)

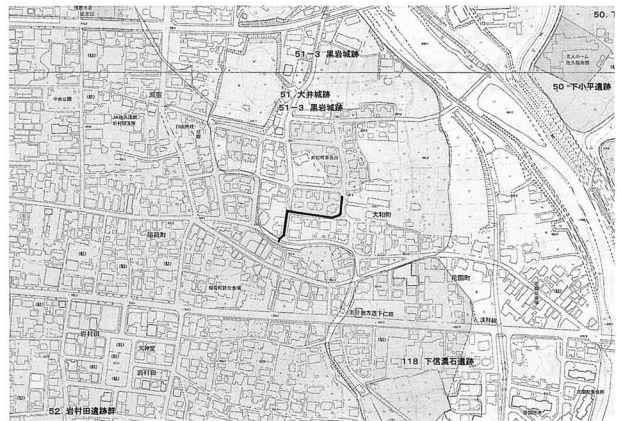


掘削状況

立会調査

77 大井城跡3

所在地 佐久市岩村田
3404先から 3292-1先
主体者 佐久市
開発事業名 公共下水道事業
調査期間 平成23年1月14・17・19・25日
調査面積 280㎡
調査担当者 上原 学



大井城跡3位置図 (1:10,000)

調査の結果

平成23年1月14日・1月17日・1月19日・1月25日に公共下水道事業（雨水排水事業湯川右岸第2排水区511号線外）に伴う立会調査を実施した。

掘削深度は、以前行われた工事深度と同じか、深度内であった。遺構・遺物は確認されなかった。

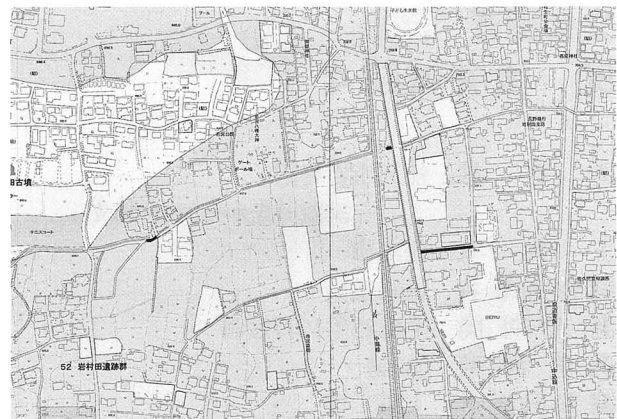


掘削状況

立会調査

78 岩村田遺跡群130

所在地 佐久市岩村田2095-3から2080-8先、
1902-2,1968-5
主体者 佐久市
開発事業名 公共下水道事業
調査期間 平成23年1月21・24・28・31日・
2月9日
調査面積 170㎡
調査担当者 上原 学

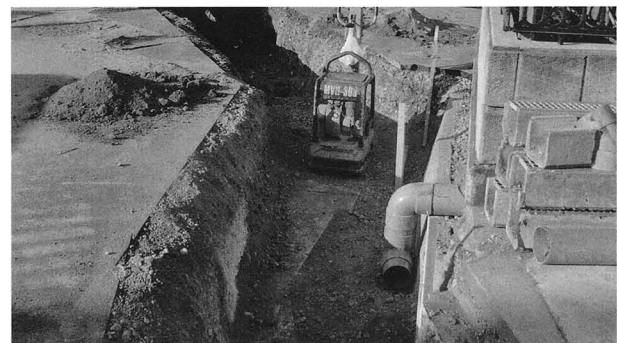


岩村田遺跡群130位置図 (1:10,000)

調査の結果

平成23年1月21日・1月24日・1月28日・1月31日・2月9日に公共下水道事業（雨水排水事業湯川右岸第4排水区223号線外）に伴う立会調査を実施した。

掘削深度は、以前行われた道路工事の基盤層（碎石）内に収まっていた。遺構・遺物は確認されなかった。



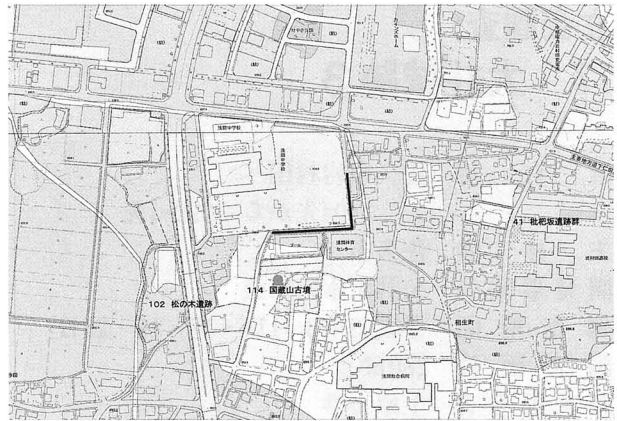
掘削状況

立会調査

79 松の木遺跡11

所在地 佐久市岩村田1340-3から先
1343-3から先

主体者 佐久市
開発事業名 公共下水道事業
調査期間 平成23年2月4日
調査面積 205㎡
調査担当者 富沢 一明



松の木遺跡11位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

公共下水道事業に伴い、立会調査を実施した。
(雨水排水事業湯川右岸第4排水区370号線外)

その結果、幅2m・深さ1mの掘削規模で、すでに既存水路が敷設してあったため、ほとんどが削平を受けていた。一部、地山が確認される部分においても、遺構・遺物は確認されなかった。



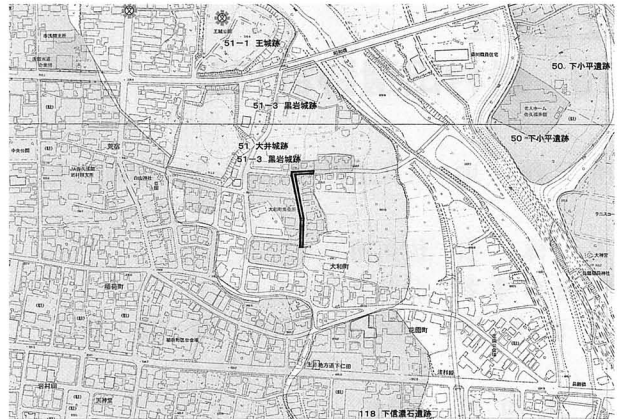
掘削状況

立会調査

80 大井城跡4

所在地 佐久市岩村田
3422-1先から3404-15先

主体者 佐久市
開発事業名 道路舗装
調査期間 平成22年12月22日
調査面積 540㎡
調査担当者 上原 学



大井城跡4位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

遺構・遺物は確認されなかった。



掘削状況

立会調査

81 筒畑遺跡群 4

所在地 佐久市原字地端723-1
主体者 ソフトバンクモバイル株式会社
開発事業名 無線基地局建設
調査期間 平成23年1月14日
調査面積 1.44㎡
調査担当者 上原 学

調査の結果

電柱設置に伴うドリルによる掘削の立会調査を実施した。掘削範囲は直径50cmの円形、深さは約2mを測る。土層は、50cm厚の表土直下はロームとなる。遺構・遺物は確認されなかった。



筒畑遺跡群 4 位置図 (1 : 10,000)



掘削状況

立会調査

82 曾根城遺跡 2

・芝宮遺跡群26

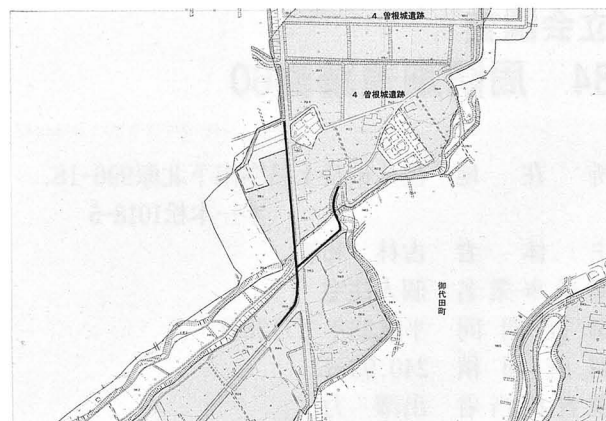
所在地 佐久市小田井字曾根城
主体者 佐久市
開発事業名 公共下水道事業
調査期間 平成23年3月1日
調査面積 299㎡
調査担当者 上原 学

調査の結果

ガス・下水道工事に伴う立会調査を実施した。

道路基盤の碎石直下にローム土が厚く堆積していた。工事区間は台地の縁に位置し、以前道路を通すために、すでに掘削された部分で、周囲の状況から1m以上削られていると考えられる。調査結果から、今回の工事に関して、立会調査の必要がないことが認められたことから、立会調査を終了した。

なお、南北道路の歩道部分において工事が行われた地域は、平成15・16年に曾根城遺跡Ⅳとしてすでに発掘調査が終了している地域である。



曾根城遺跡 2・芝宮遺跡群26位置図 (1 : 10,000)



掘削状況

立会調査

83 大井城跡5

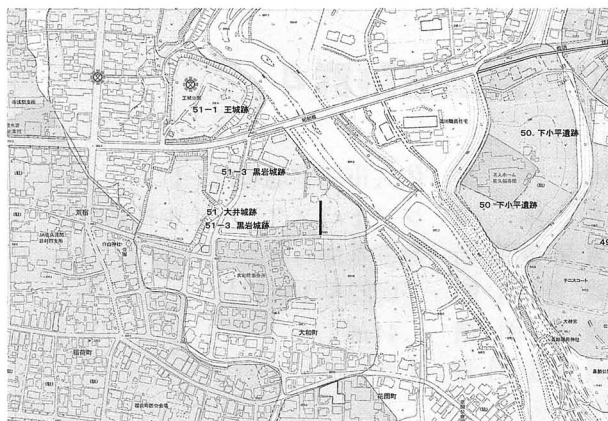
所在地 佐久市岩村田字荒谷
主体者 佐久市
開発事業名 公共下水道事業
調査期間 平成23年1月25・28日
調査面積 240.93㎡
調査担当者 上原 学

調査の結果

公共下水道事業に伴う立会調査を実施した。

平成23年1月25日 対象地北側部分は上層から道路の基盤層、黒色土、砂礫層となる。現地表約1 mから湧水が認められる。遺構・遺物は確認されなかった。

平成23年1月28日 対象地南側部分は表土直下にきめ細かいシルト、砂礫層となる。遺構・遺物は確認されなかった。



大井城跡5位置図（1：10,000）



掘削状況

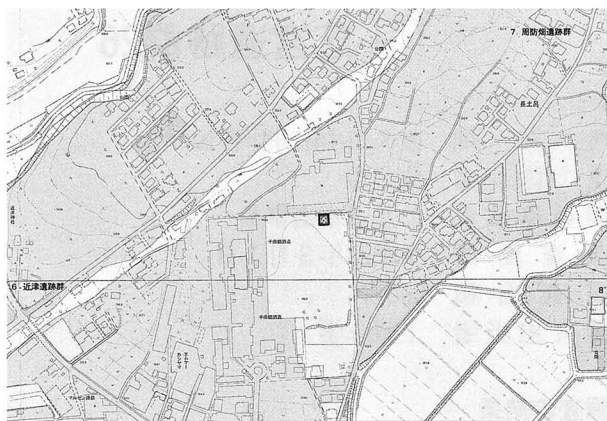
立会調査

84 周防畑遺跡群60

所在地 佐久市長土呂字南下北原996-18、
字一本松1018-5
主体者 古林 和敏
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成23年1月28日
調査面積 240.93㎡
調査担当者 出澤 力

調査の結果

遺構・遺物は確認されなかった。



周防畑遺跡群60位置図（1：10,000）



掘削状況

立会調査

85 西大久保遺跡群17

所在地 佐久市上平尾字西久保705
主体者 里見 英司
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成23年3月1日
調査面積 499.98㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

耕作土下20cmで層厚10cmのP₁漸移層がみられた。
P₁は、全体に黄褐色でにぶい赤褐色・にぶい橙色
が部分的に見られた。

遺構・遺物は、検出されなかった。



西大久保遺跡群17位置図 (1 : 10,000)



掘削状況

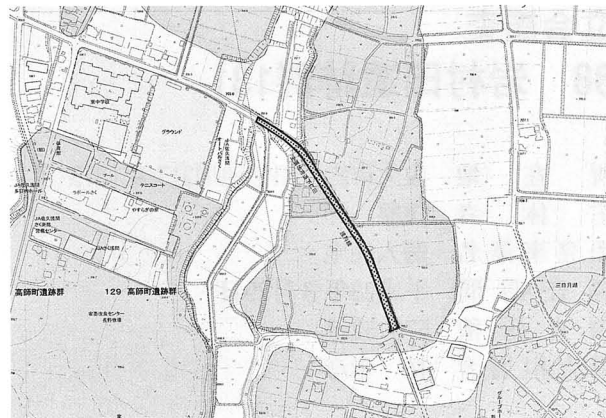
立会調査

86 筒畑遺跡群5

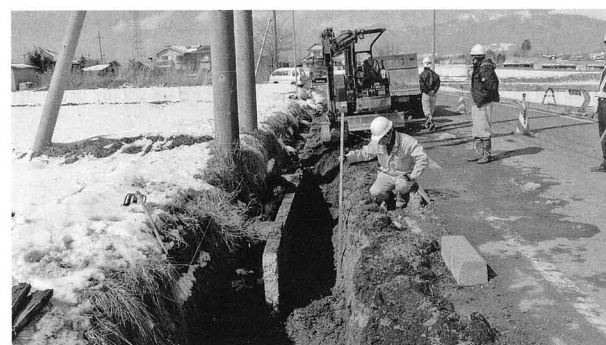
所在地 佐久市新子田948-5～、1352
主体者 佐久建設事務所
開発事業名 道路・用水路
調査期間 平成23年3月8・9日
調査面積 3,879㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

遺構・遺物は確認されなかった。



筒畑遺跡群5位置図 (1 : 10,000)



掘削状況

立会調査

87 栗毛坂遺跡群50

所在地 佐久市岩村田字東芝間3873-20
主体者 JA佐久浅間 株式会社アメック
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成23年3月9日
調査面積 263.83㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

平成7年の宅地造成時の盛土30cm、その下20cmの黒褐色土、さらに10cmのP₁漸移層がみられた。P₁は全体に黄褐色である。

遺構・遺物は検出されなかった。



栗毛坂遺跡群50位置図 (1 : 10,000)



掘削状況

立会調査

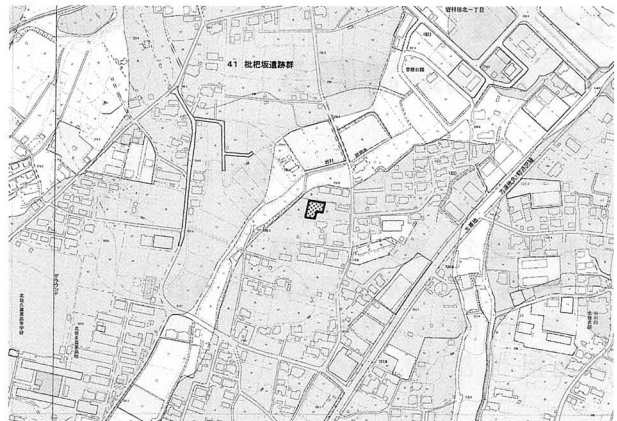
88 岩村田遺跡群131

所在地 佐久市岩村田字池畑315-9、315-10
主体者 篠原 洋
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成23年3月29日
調査面積 573.52㎡
調査担当者 林 幸彦

調査の結果

平成21年のミヤモリ不動産宅地造成時の盛土60cm、その下20cmの黒褐色土がみられた。基礎工事の掘削は、宅面上場から60cmで遺構確認面まで20~40cmある。

遺構・遺物は検出されなかった。



岩村田遺跡群131位置図 (1 : 10,000)



掘削状況

3 本発掘調査報告書

岩村田遺跡群西一本柳遺跡XIX

所在地 佐久市岩村田字一本柳2280-2、
2281の一部

開発主体者 早川 功

開発事業名 個人住宅

調査期間 平成22年7月28日～平成22年8月6日

調査面積 101㎡（開発面積522.91㎡）

調査担当者 林 幸彦、佐々木宗昭



第1図 岩村田遺跡群西一本柳遺跡XIX位置図
(1:10,000)

例言・凡例

1. 本報告書は、早川 功が行う個人住宅建設に伴う岩村田遺跡群西一本柳遺跡XIX (INP XIX) の本発掘調査報告である。(試掘調査報告は、本書19Pに掲載)
2. 本報告書の作成は、写真図版を佐々木が他を林が行った。
3. 本書及び当遺跡出土遺物等のすべての資料は、佐久市教育委員会の責任下に保管されている。
4. 遺構の略記号は住居址－H、掘立柱建物址－F、土坑－D、溝址－M、ピット－Pである。
5. 挿図の縮尺は遺構－1/80、遺物－1/4である。例外は挿図中に縮尺を記した。
6. 遺構の海拔標高は各遺構毎に統一し、水系標高をスケール上に「標高」として記した。
7. 土層の色調は1988年版「新版 標準土色帖」に基づいた。
8. 遺物挿図番号と遺物写真番号及び遺物観察表番号は一致する。
9. 調査区は公共座標の区割りにしたが、間隔は4m×4mに設定した。
10. 挿図中のスクリーントーンは、以下のことを示す。



地山



掘方埋土



粘土
磨面(石器)



焼土

経過と立地

西一本柳遺跡は湯川右岸台地上岩村田遺跡群の南西端に位置し、数々の公共事業や民間開発が続き本調査は19回目を数える。弥生～中世の遺構・遺物が数多く検出されている。今回、個人住宅建設にあたり試掘調査結果をふまえ、住宅建物箇所について本発掘調査を行なった。

調査の概要

遺構 竪穴住居址－2(古墳時代) 掘立柱建物址－1

土坑－1 溝址－1 ピット－3

遺物 弥生土器 土師器 鉄器 石器

基本層序

I層 耕作土。IIa層 黄褐色土(10YR5/6)P₁。

IIb層 にぶい褐色土(7.5YR5/4)P₁。IIc層 褐色土(7.5YR4/4)P₁。

II d層 にぶい褐色土(7.5YR5/4)P₁。上面より湧水。

調査日誌

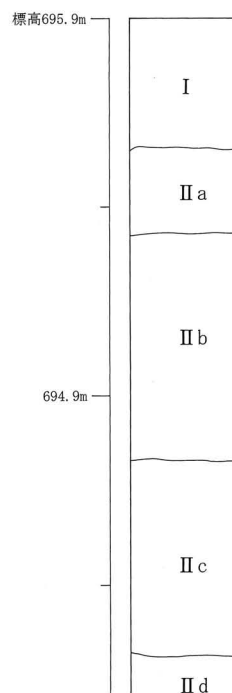
7月28日 重機でトレンチ掘り、建物範囲拡張し遺構のプラン精査。

7月29日～8月6日 テント・器材搬入、遺構掘り下げ、実測、写真撮影。

8月4日 測量杭打設。

8月6日 器材撤収。

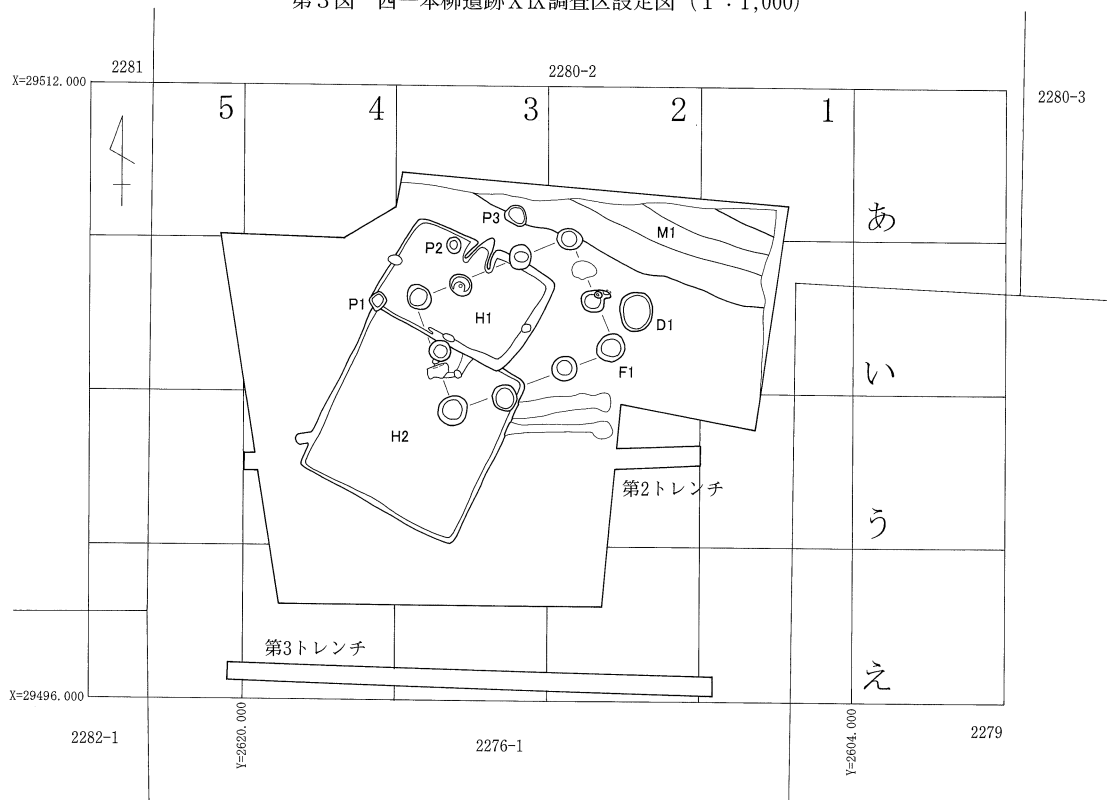
平成23年4月15日～平成24年3月 整理作業、版下・原稿作成、刊行。



第2図 基本層序模式図



第3図 西一本柳遺跡X区調査区設定図 (1 : 1,000)



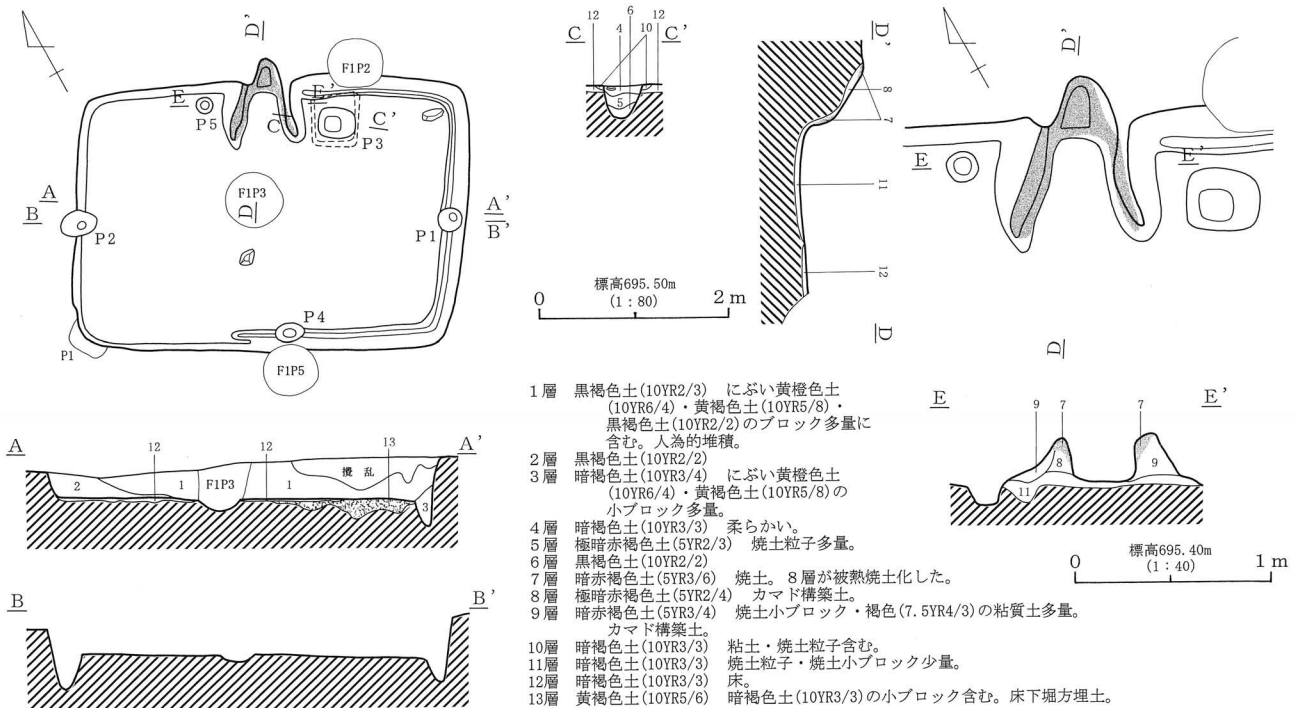
第4図 西一本柳遺跡X区調査全体図 (1 : 200)

遺構と遺物

1 H1号住居址

本址はあ-3、い-3・4GrにありF1・P1・P2に切られ、H2を切っている。北壁3.9m・東壁2.64m・南壁3.76m・西壁2.46m、壁高44cm、東西に長辺がある長方形。主軸方位はN-29°-Eを示す。カマドは北壁の中央に粘質土により構築された袖部が残る。火床・袖下部は、床面を掘りこまない。支柱穴のP1~P2は、東西壁の中央にある。P1は径24cm・深さ20cm、P2は長径40cm・短径28cm・深さ38cmを測る。カマド東脇には長辺38cm・短辺32cm・深さ36cmのP3がある。貯蔵穴であろうか。穴の周囲には、深さ8cm前後の平坦な長方形の掘り込みがある。蓋などがあつたのだろうか。南壁中央下にある長径30cm短径20cm深さ26cmのP4は、入り口施設であろう。カマド西脇のP5は径16cm深さ10cmを測る。床面は堅く締まる。壁溝がカマド東から南壁中央まで巡る。1層は人為的な堆積であった。

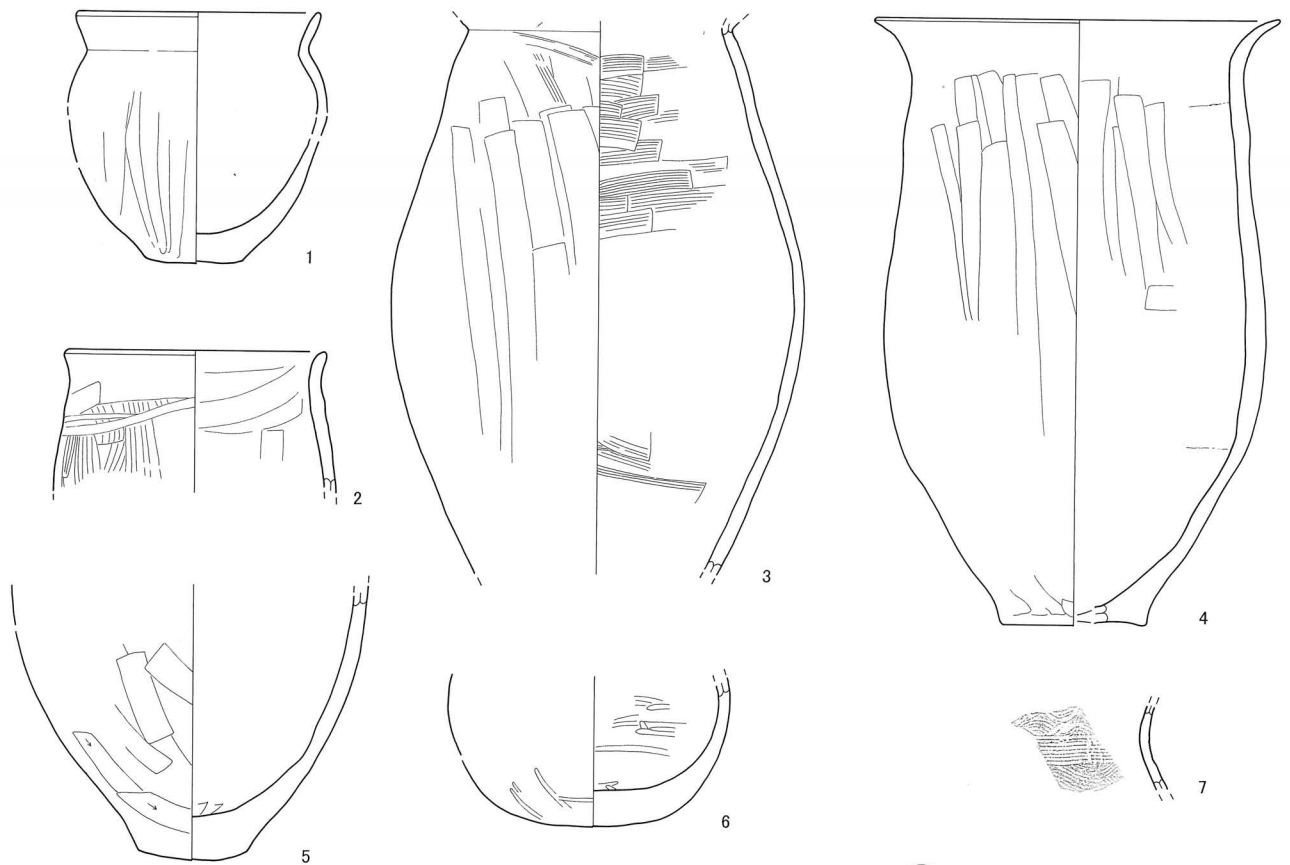
遺物は、土師器甕(1~5)・鉢(6)、磨石(8~10)が出土した。7の弥生土器は混入である。2~5は外面ヘラケズリされる。2・4は体部に最大径があり4の内面はハケメ調整される。5は内面ヘラナデ調整され口縁部に最大径がある。これら遺物より本址は6世紀後半に位置づけられる。



第5図 H1号住居址実測図

第1表 H1号住居址出土遺物観察表

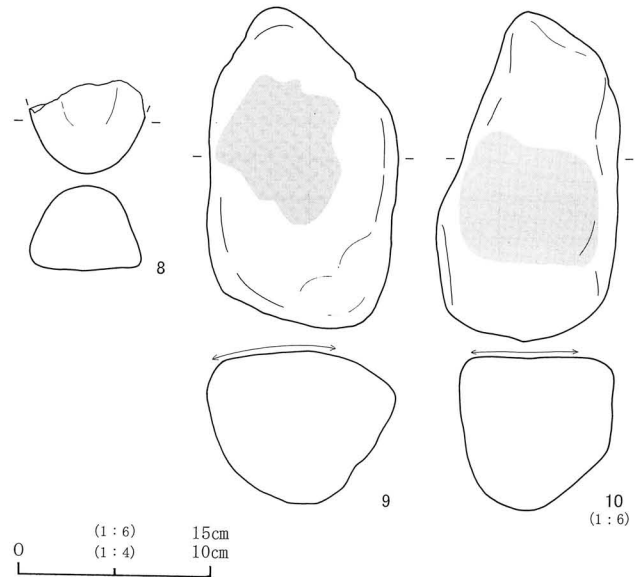
No	種別	器種	法量			成形・調整・文様				備考	出土位置
			口径(長)	底径(幅)	器高(厚)	内面		外面			
1	土師器	甕	(12.8)	5.1	13.3	口縁ヨコナデ	ヘラナデ→ヘラミガキ	口縁ヨコナデ	胴部・底部ヘラケズリ	完全実測	Ⅱ区・Ⅲ区
2	土師器	甕	-	5.8	<14.5>	ナデ		ヘラケズリ		完全実測	No2 カマド P3 I・Ⅱ区
3	土師器	甕	-	-	<29.2>	ナデ		ヘラケズリ		回転実測	No1 No6 No7 カマド I区
4	土師器	甕	(21.6)	(7.6)	32.0	ナデ		口縁ヨコナデ	ヘラケズリ	回転実測	No3 No4 カマド I区床 Ⅱ区
5	土師器	甕	(12.8)	-	<7.5>	ヘラナデ→ナデ		櫛歯状ケズリ→ヘラナデ	口縁ヨコナデ	回転実測	No5
6	土師器	鉢	-	-	<8.0>	ヘラナデ→ヘラミガキ		ヘラケズリ→ヘラミガキ		完全実測	Ⅱ区・Ⅲ区
7	弥生	甕	-	-	-	ヘラミガキ		櫛描波状文	櫛描簾状文	拓影	Ⅳ区
No	器種	素材	残存率	最大長	最大幅	最大厚	重量	所見		出土位置	
8	磨石			<5.0>	<6.1>	<4.5>	166.97	正面にすり面		Ⅳ区	
9	磨石			16.0	9.9	8.1	1535.75	正面にすり面		No9	
10	台石			26.4	14.5	12.3	6390.0	正面に平坦で滑らかな面、使用痕。		No8	



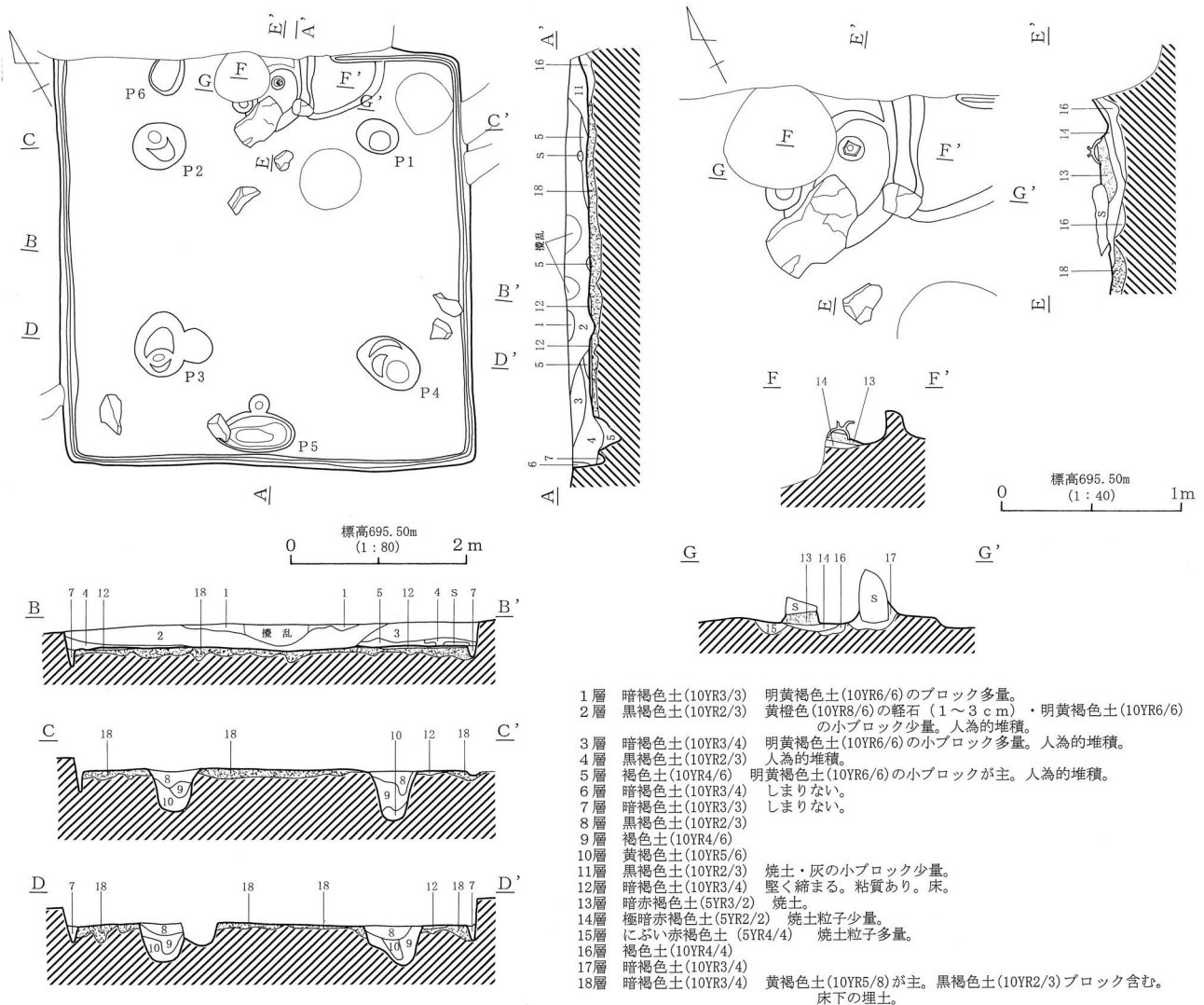
2 H2号住居址

本址はい・う-3・4GrにありH1・F1・P1に切られる。規模は、北壁推定4.5m（残存長1.8m）・東壁4.54m・南壁4.5m・西壁4.54m、壁高34cmを測り、主軸方位はN-28°-Eを示す。カマドは北壁の中央に粘土と石により構築されている。多くをH1・F1に破壊されていた。ピットは6基検出され、P1~P4は主柱穴で、方形に配され、深さはP1とP2が56cm、P3が57cm、P4が50cmを測る。桁行き・梁行き2.5m。深さ34cmで浅い小ピットを持つ南壁下中央のP5は、入り口施設とみられる。壁下には壁溝が巡る。床は平坦で堅い。覆土2層~5層は、人為的な堆積であった。

遺物は、土師器坏（1）・鉢（2・3）・高坏（4）・甕（5~9）、鎌（13）、鉾滓（14）、砥石（12）、磨石・敲石（10・11・15）、台石（16）が出土した。1の半球状坏は内面黒色処理される。4の高坏坏部内外面・脚部外面がヘラミガキされ、内面黒色処理される。8・9の甕は胴部に最大径がある。これら遺物より本址は6世紀前半に位置づけられる。



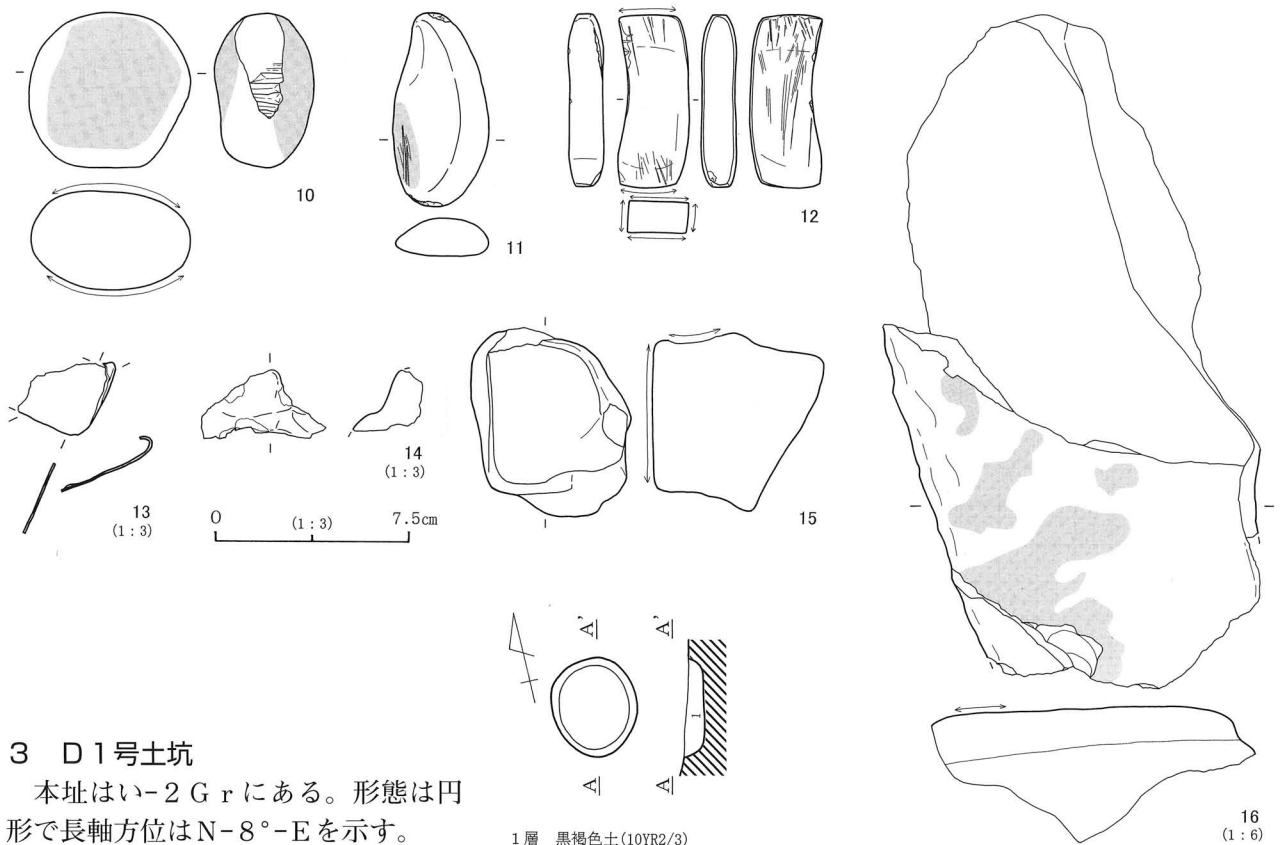
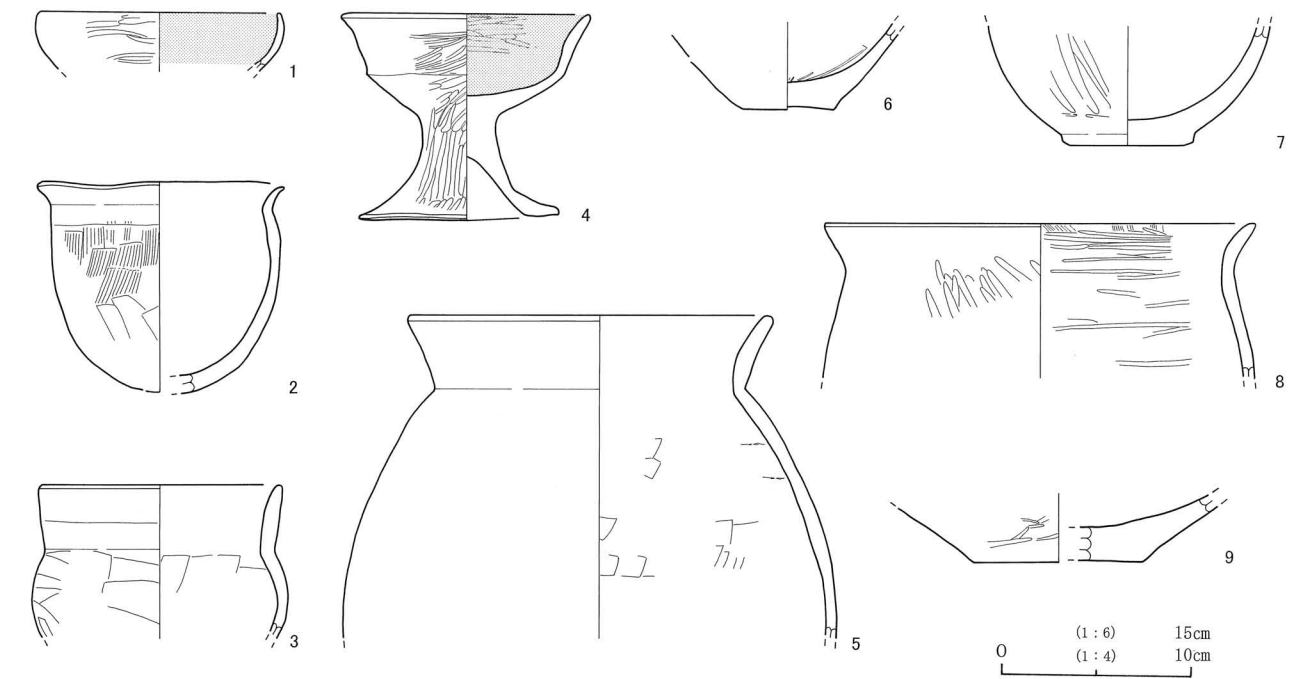
第6図 H1号住居址出土遺物実測図



第7図 H2号住居址実測図

第2表 H2号住居址出土遺物観察表

No	種別	器種	法量			成形・調整・文様				備考	出土位置
			口径(長)	底径(幅)	器高(厚)	内面		外面			
1	土師器	坏	(12.6)	—	<3.1>	ヘラミガキ、黒色処理		ナデ ヘラミガキ		回転実測	H1フク土 H2フク土
2	土師器	鉢	12.9	—	11.1	口縁ヨコナデ ナデ		口縁ヨコナデ 胴部ハケ目→ナデ		完全実測	No.3
3	土師器	鉢	(12.4)	—	<8.1>	口縁ヨコナデ 胴部ヘラナデ→ナデ		口縁ヨコナデ 胴部ヘラケズリ→ナデ		回転実測	I区 床
4	土師器	高坏	12.5	10.4	11.0	坏部ヘラミガキ→黒色処理 脚部ヘラケズリ→ナデ		坏部・脚部ヘラミガキ		完全実測	No.1 カマド
5	土師器	甕	(17.8)	—	<17.0>	口縁ヨコナデ ヘラナデ		口縁ヨコナデ ヘラケズリ		回転実測	カマド I・II区 H1カマド III区
6	土師器	甕	—	4.7	<4.5>	ヘラナデ		ヘラケズリ→ナデ		完全実測	フク土
7	土師器	壺	—	(7.0)	<6.3>	ヘラナデ→ナデ		ヘラケズリ→ヘラミガキ 底部ヘラケズリ		回転実測	カマド I区床 III区
8	土師器	壺	(22.6)	—	<8.2>	口縁ヨコナデ→ヘラミガキ ヘラナデ→ヘラミガキ		ヘラケズリ→ヘラミガキ		回転実測	No.2 III区 IV区床
9	土師器	壺	—	(8.8)	<3.5>	櫛齒状工具ナデ→ナデ		ナデ→ヘラミガキ		回転実測	フク土
No	器種	素材	残存率	最大長	最大幅	最大厚	重量	所見			出土位置
10	磨・敲石			8.2	8.4	5.2	537.98				No.5
11	磨・敲石			10.2	5.0	2.0	125.84				III区
12	砥石			9.1	3.7	1.9	104.15	6面使用			I区床
13	鎌	鉄		<3.0>	<2.9>	<0.8>	4.01				フク土
14	鍬	鉄		<2.7>	<4.9>	—	12.44				フク土
15	台石			<10.9>	8.4	5.2	1009.64				P2
16	台石			<53.7>	<29.8>	<12.3>	16990.0	No.6とNo.7の割口は古い			No.6 No.7 No.8

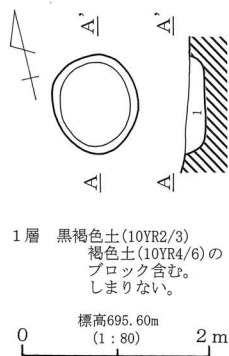


3 D1号土坑

本址はい-2Grにある。形態は円形で長軸方位はN-8°-Eを示す。

規模は長軸1.04m・短軸0.9m・深さ21cmを測る。

出土遺物は土器器片3点があるが、帰属時期は不明である。



1層 黒褐色土(10YR2/3)
褐色土(10YR4/6)の
ブロック含む。
しまりない。

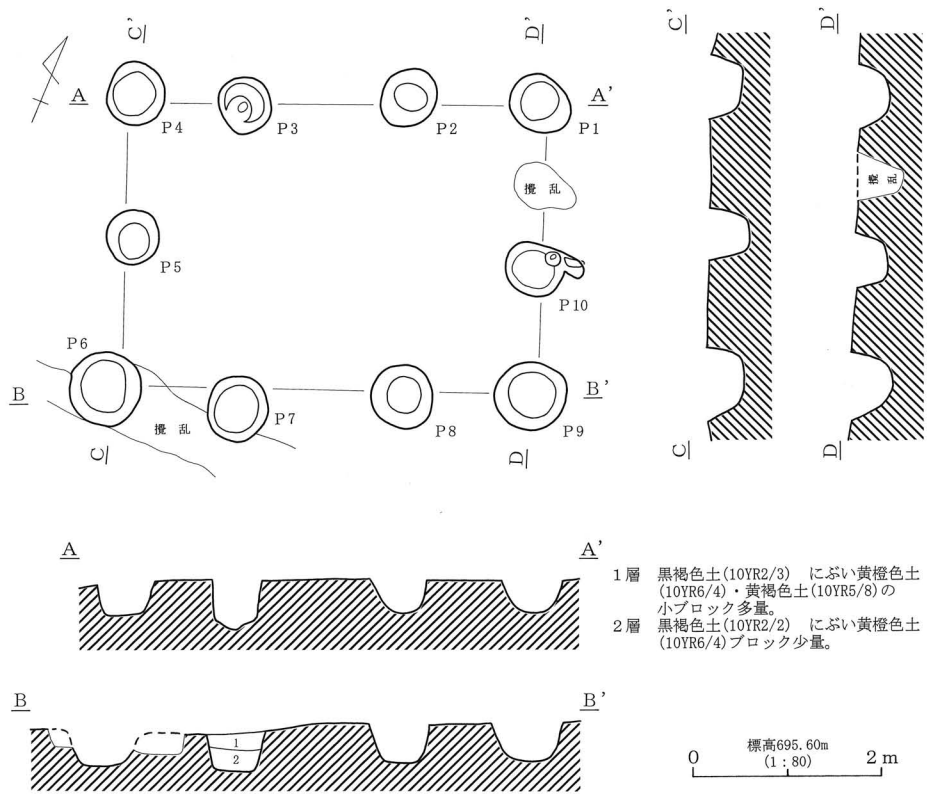
標高695.60m
(1:80) 2m

第9図 D1号土坑実測図

第8図 H2号住居址出土遺物実測図

4 F1号掘立柱建物址

本址はあ～う-2・3 Grにある。H1・H2号住居址とM1号溝址を切る。東西長4.5m南北長3.0mで東西方向に長く、長軸方位はN-70°-Eを示す。桁行3間、梁間2間の側柱式建物址である。桁行柱間は、北列・南列とも等しく西から1.2m、1.8m、1.4mであり、梁間柱間も東列・西列とも等しく北から1.5m、1.5mである。柱穴の形態はいずれも円形である。ピットの規模は、P1径70cm深さ36cm、P2径64cm深さ36cm、P3径60cm深さ53cm、P4径68cm深さ37cm、P5径60cm深さ43cm、P6径80cm

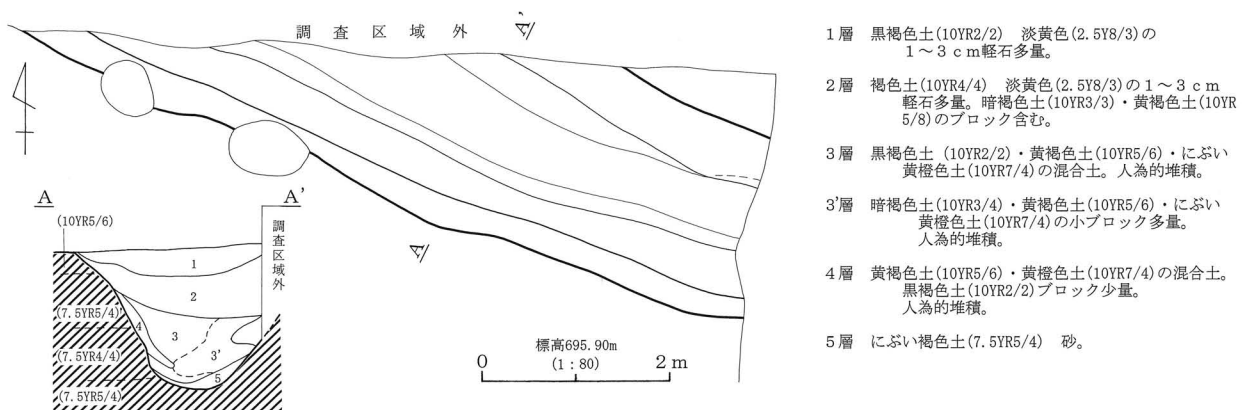


第10図 F1号掘立柱建物址実測図

深さ42cm、P7径70cm深さ44cm、P8径68cm深さ44cm、P9径68cm深さ44cm、P10径60cm深さ50cmを測る。ピット内で柱痕を確認できたものはなかった。遺物は、P4・P5・P7から弥生時代後期甕・壺片や古墳時代後期土師器甕・坏片が出土したが、本址の帰属時期は不確定である。H1・H2号住居址を切ることから古墳時代以降とは考えられる。

5 M1号溝址

本址はあ・い-1～3 Grにある。F1・P3に切られる。南東から北西方向に伸び、溝底面は逆梯形を呈する。規模は検出長8.2m・幅2～2.14m・深さ1.3～1.54mを測る。底から湧水がある。出土土器はすべて弥生時代後期箱清水期であった。凹石、敲石、磨石もある。帰属時期は弥生時代後期。



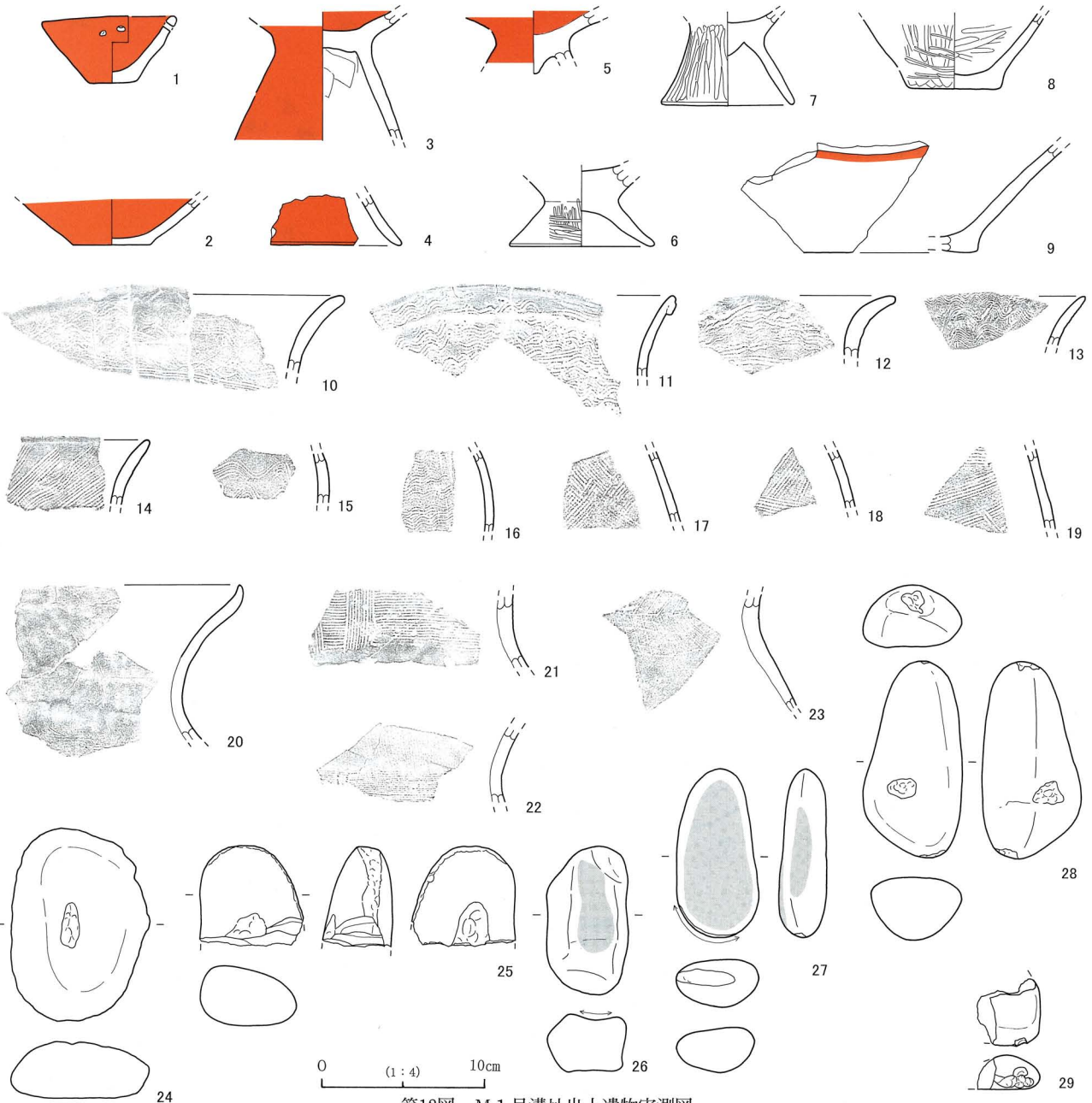
第11図 M1号溝址実測図

6 ピット

単独のピットが、H1・F1の周辺から3個検出された。いずれからも出土遺物はない。柱痕は確認できなかった。P1は方形で44cm×38cm×18cm、P2は円形で42cm×38cm×22cm、P3は円形で60cm×50cm×19cmを測る。

第3表 M1号溝址出土遺物観察表

No.	種別	器種	法 量			成 形 ・ 調 整 ・ 文 様		備 考	出土位置
			口径(長)	底径(幅)	器高(厚)	内 面	外 面		
1	弥生	鉢	8.4	2.9	4.1	赤彩	赤彩(底部除く)	完全実測	3層
2	弥生	鉢	-	(4.8)	<2.9>	赤彩	赤彩	回転実測	4層
3	弥生	高坏	-	-	<7.9>	赤彩、脚部ナデ	赤彩	完全実測	2層
4	弥生	高坏	-	-	<3.8>	ナデ	赤彩	破片実測	フク土
5	弥生	高坏	-	-	<5.7>	赤彩、脚部ナデ	赤彩	完全実測	1層
6	弥生	台付甕	-	(9.0)	<5.0>	ナデ	ヘラミガキ	回転実測	フク土
7	弥生	台付甕	-	5.8	<4.7>	ヘラミガキ 台部ナデ	ヘラミガキ	完全実測	2層
8	弥生	甕	-	9.6	<1.9>	ナデ ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	4層
9	弥生	壺	-	-	<6.9>	ナデ ヘラミガキ	ヘラミガキ 赤彩	破片実測	フク土
No.	器種	素 材	最大長	最大幅	最大厚	重 量	所 見	出土位置	
24	凹石		11.9	8.5	3.6	388.60		フク土	
25	凹石(敲石)		<6.2>	<6.4>	<4.2>	203.05		4層	
26	磨石		9.1	5.1	3.2	273.41		フク土	
27	磨・敲石		10.4	5.1	3.0	210.73		フク土	
28	敲石		12.2	6.1	3.9	402.83		フク土	
29	敲石		<4.1>	<3.9>	<2.1>	44.46		2層	



第12図 M1号溝址出土遺物実測図



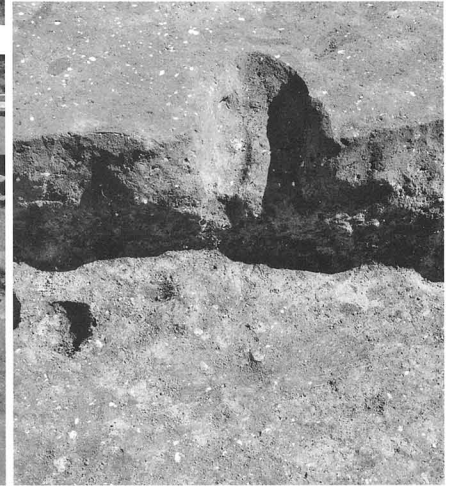
H 1号住居址 南方より



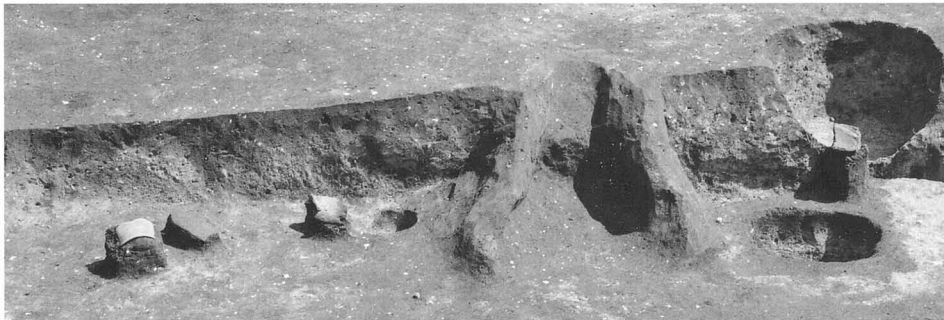
H 1号住居址カマド 南方より



H 1号住居址掘り方 西方より



H 1号住居址カマド掘り方 南方より



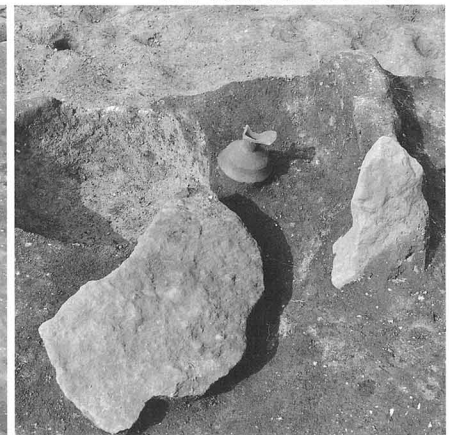
H 1号住居址 遺物出土状況 南方より



H 1号住居址遺物出土状況



H 2号住居址 南方より



H 2号住居址 南方より



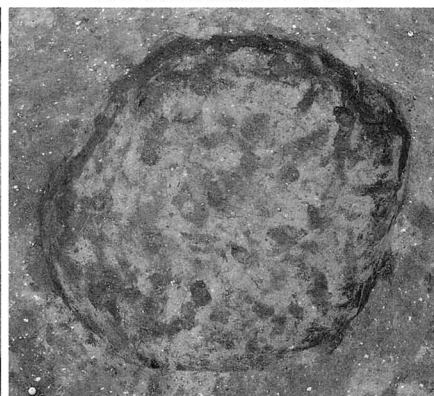
H 2号住居址掘り方 南方より



H 2号住居址遺物出土状況



F 1号掘立柱建物址 南西より



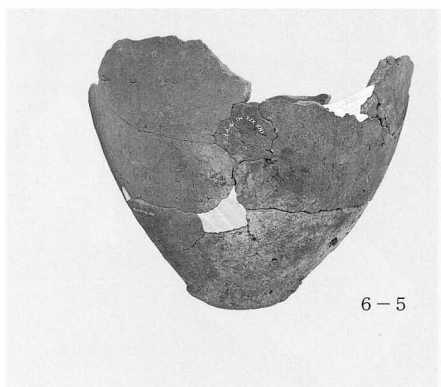
D 1号土坑



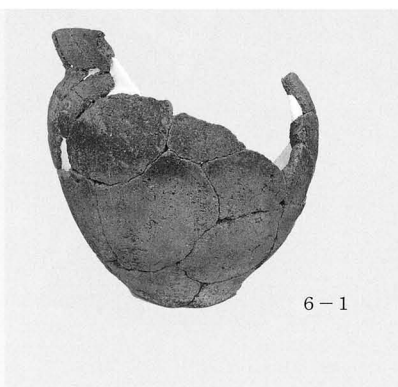
M 1号溝址 東方より



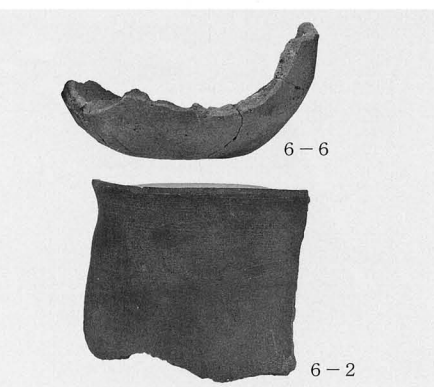
M 1号溝址 層序状況



6-5



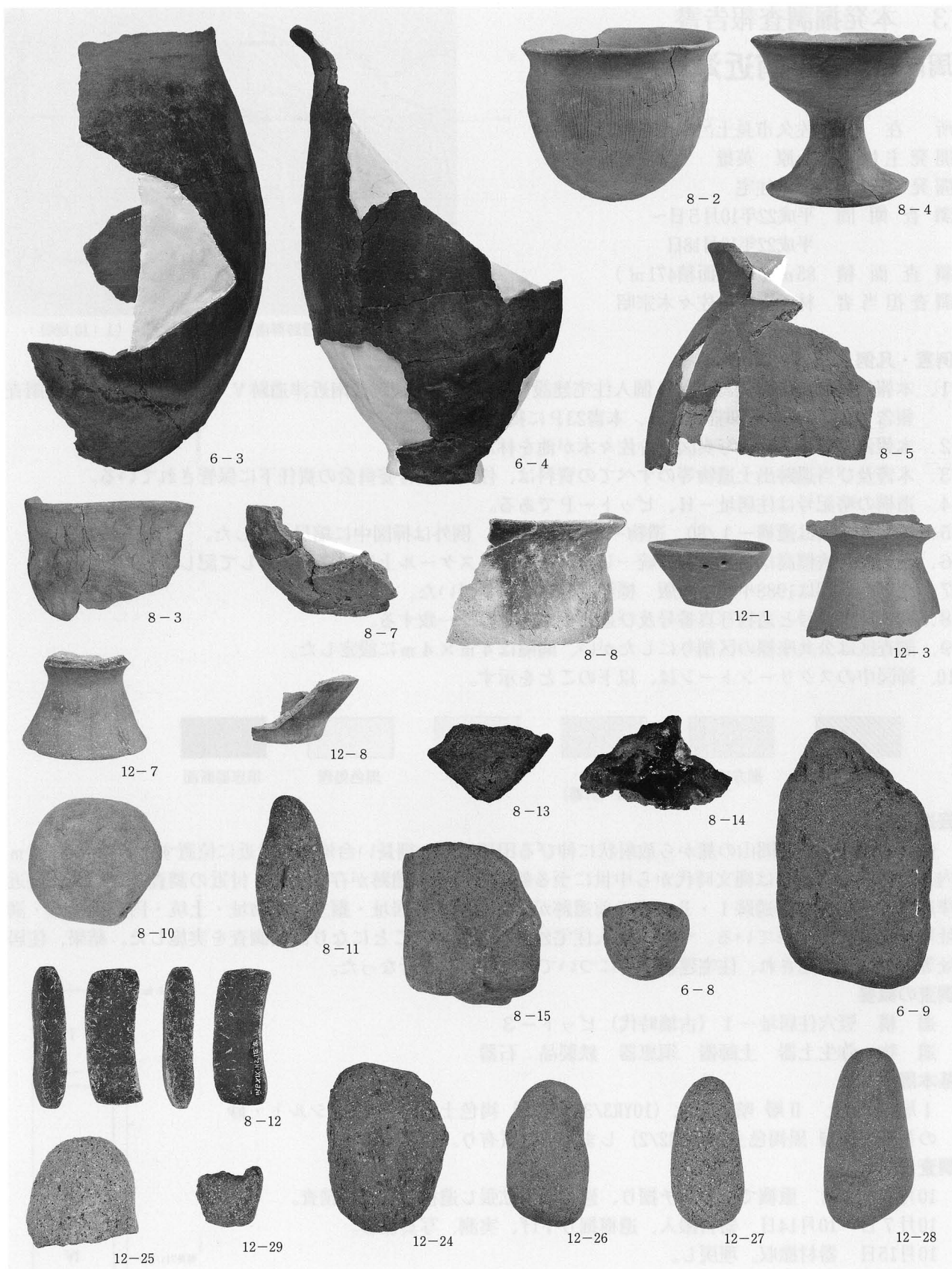
6-1



6-6

6-2

出土遺物

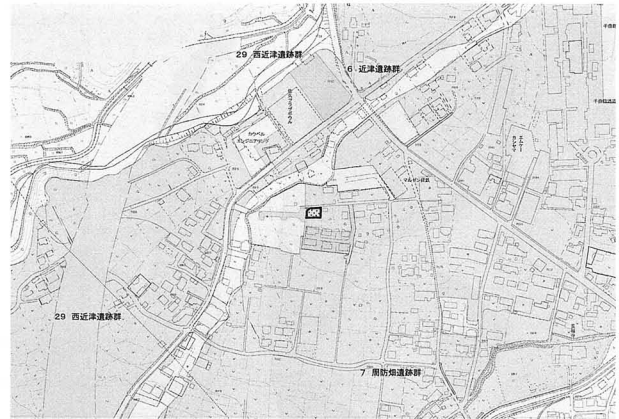


出土遺物

3 本発掘調査報告書

周防畑遺跡群南近津遺跡V

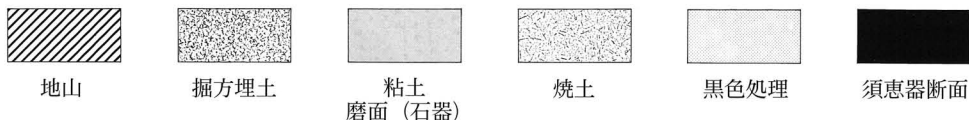
所在地 佐久市長土呂字南近津1163-19
開発主体者 上原 英雄
開発事業名 個人住宅
調査期間 平成22年10月5日～
平成22年10月18日
調査面積 85㎡（開発面積471㎡）
調査担当者 林 幸彦、佐々木宗昭



第1図 周防畑遺跡群南近津遺跡V位置図（1：10,000）

例言・凡例

1. 本報告書は、上原英雄が行う個人住宅建設に伴う周防畑遺跡群南近津遺跡V（NSC V）の本発掘調査報告である。（試掘調査報告は、本書23Pに掲載）
2. 本報告書の作成は、写真図版を佐々木が他を林が行った。
3. 本書及び当遺跡出土遺物等のすべての資料は、佐久市教育委員会の責任下に保管されている。
4. 遺構の略記号は住居址-H、ピット-Pである。
5. 挿図の縮尺は遺構-1/80、遺物-1/4である。例外は挿図中に縮尺を記した。
6. 遺構の海拔標高は各遺構毎に統一し、水系標高をスケール上に「標高」として記した。
7. 土層の色調は1988年版「新版 標準土色帖」に基づいた。
8. 遺物挿図番号と遺物写真番号及び遺物観察表番号は一致する。
9. 調査区は公共座標の区割りにしたが、間隔は4m×4mに設定した。
10. 挿図中のスクリーントーンは、以下のことを示す。



経過と立地

南近津遺跡は、浅間山の麓から放射状に伸びる田切地形の細長い台地南端付近に位置する。標高は711m内外を測る。周辺には縄文時代から中世に至る幅広い時期の遺跡が存在する。付近の調査例として、南近津遺跡I～IV、若宮遺跡I・II、宮の前遺跡があり、竪穴住居址・掘立柱建物址・土坑・円形周溝墓・溝址等が多数検出されている。今回、個人住宅建設が行われることになり試掘調査を実施した。結果、住居址等の遺構が確認され、住宅建物箇所について本発掘調査を行なった。

調査の概要

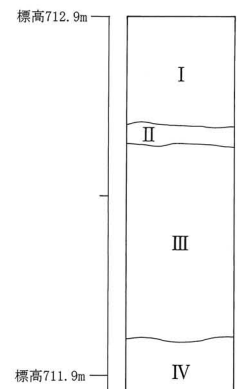
遺構 竪穴住居址-1（古墳時代）ピット-3
遺物 弥生土器 土師器 須恵器 鉄製品 石器

基本層序

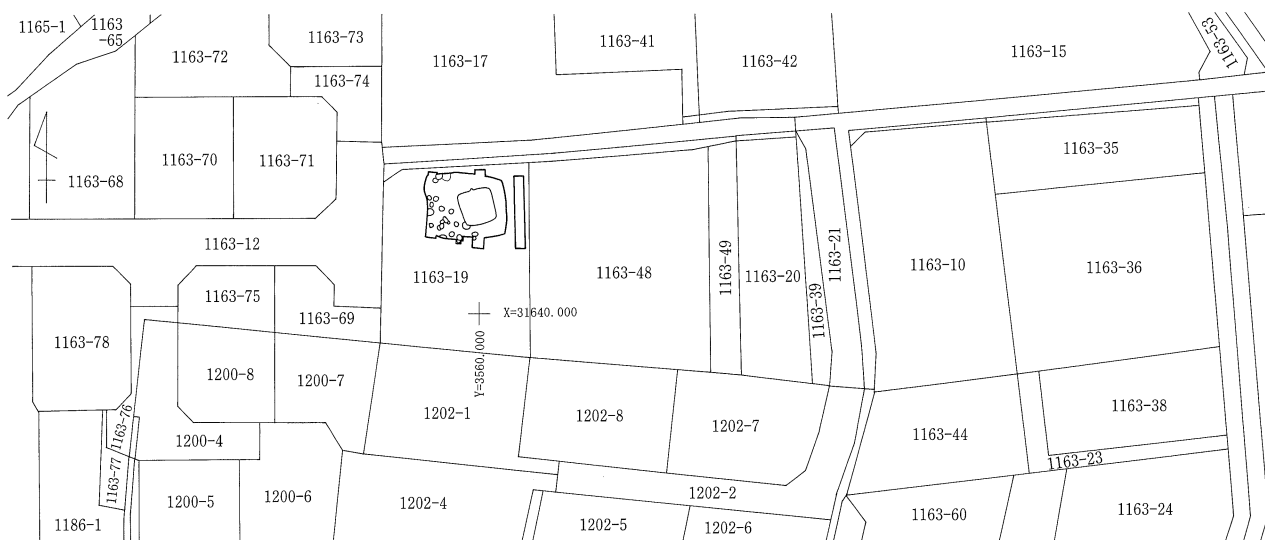
I層 耕作土 II層 暗褐色土（10YR3/3） III層 褐色土（10YR4/4）シルト・砂の互層。IV層 黒褐色土（10YR2/2）しまり・粘質有り。

調査日誌

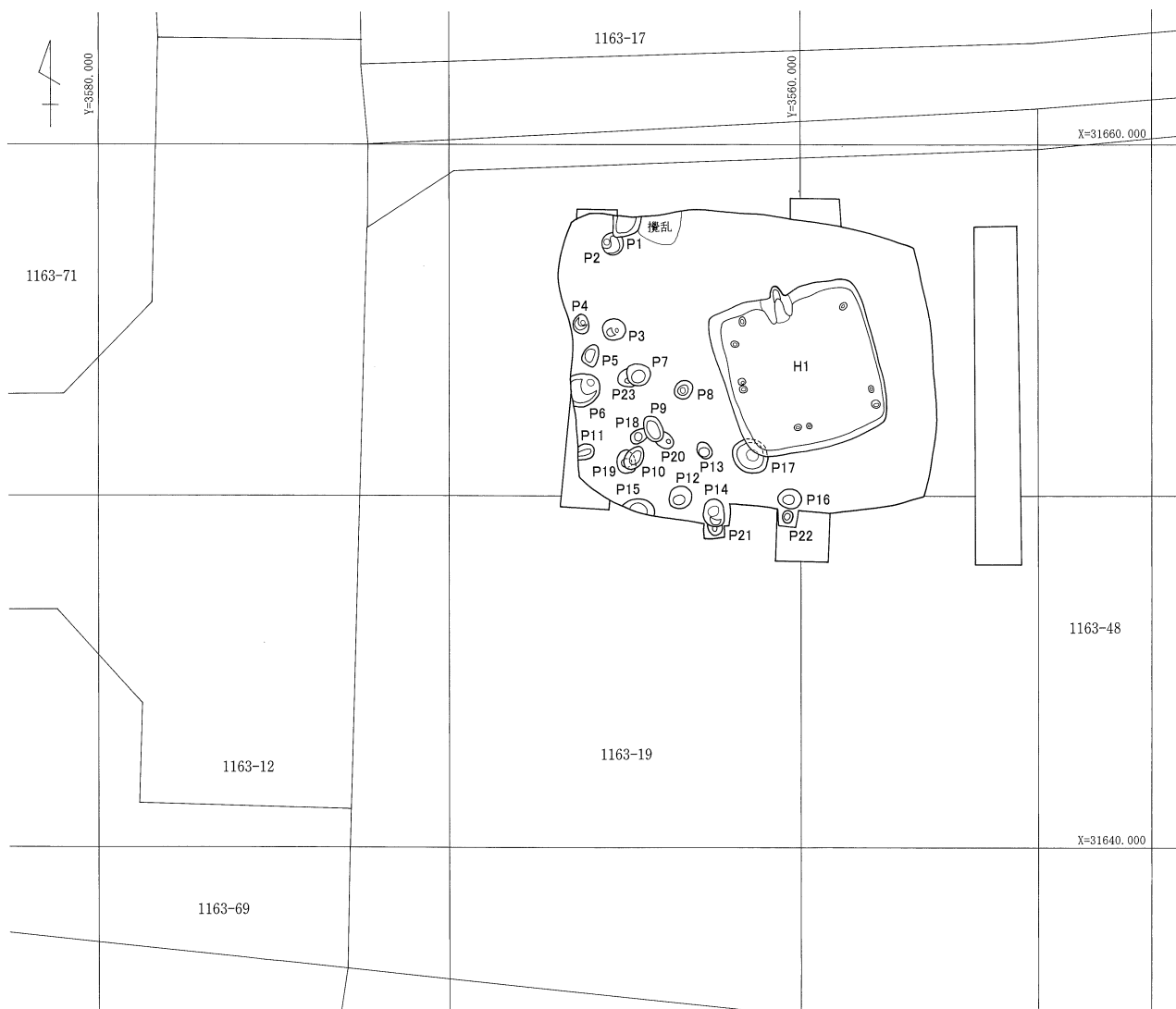
10月5・6日 重機でトレンチ掘り、建物範囲拡張し遺構のプラン精査。
10月7日～10月14日 器材搬入、遺構掘り下げ、実測、写真撮影。
10月15日 器材撤収。埋戻し。
平成23年4月15日～平成24年3月 整理作業、版下・原稿作成、刊行。



第2図 基本層序模式図



第3图 南近津遺跡V調査区設定図 (1 : 1,000)



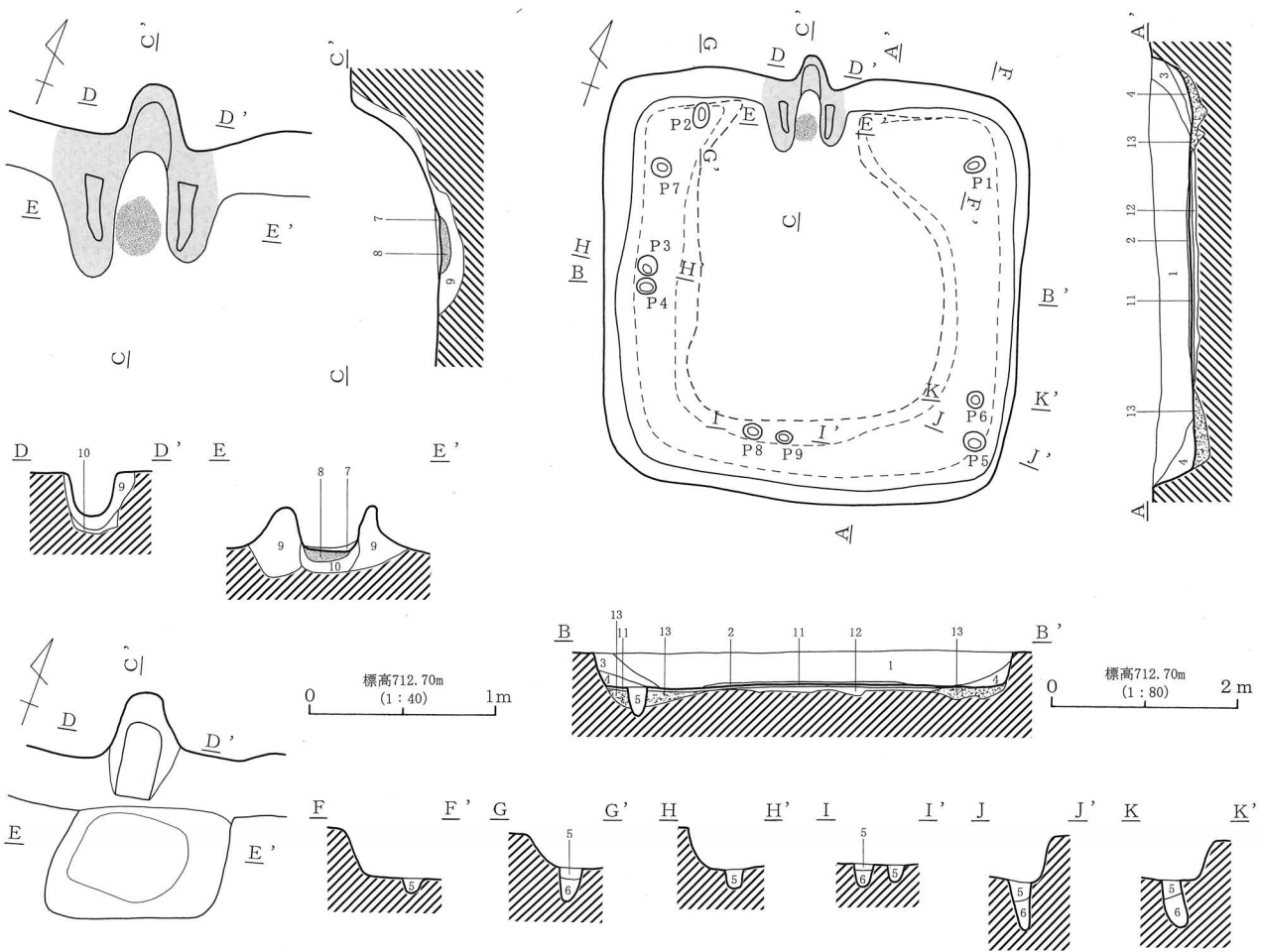
第4图 南近津遺跡V調査全体図 (1 : 200)

1 H1号住居址

P17を切っている。北壁4.2m・東壁4.0m・南壁3.9m・西壁3.96m、壁高48cmを測る。主軸方位は、N-15°-Wを示す。カマドは北壁の中央に砂を含む粘質土により構築されている。ピットは9個検出された。西壁中央下にP3とP4、南壁中央寄りにP8とP9、南東隅にP5とP6が対で配置されている。長径16~24cm・短径16~22cm、深さ12~59cmを測る。床面の堅く締まる範囲は、床下掘方の浅い部分とその上層の粘質ある2層の堆積範囲とも一致する。

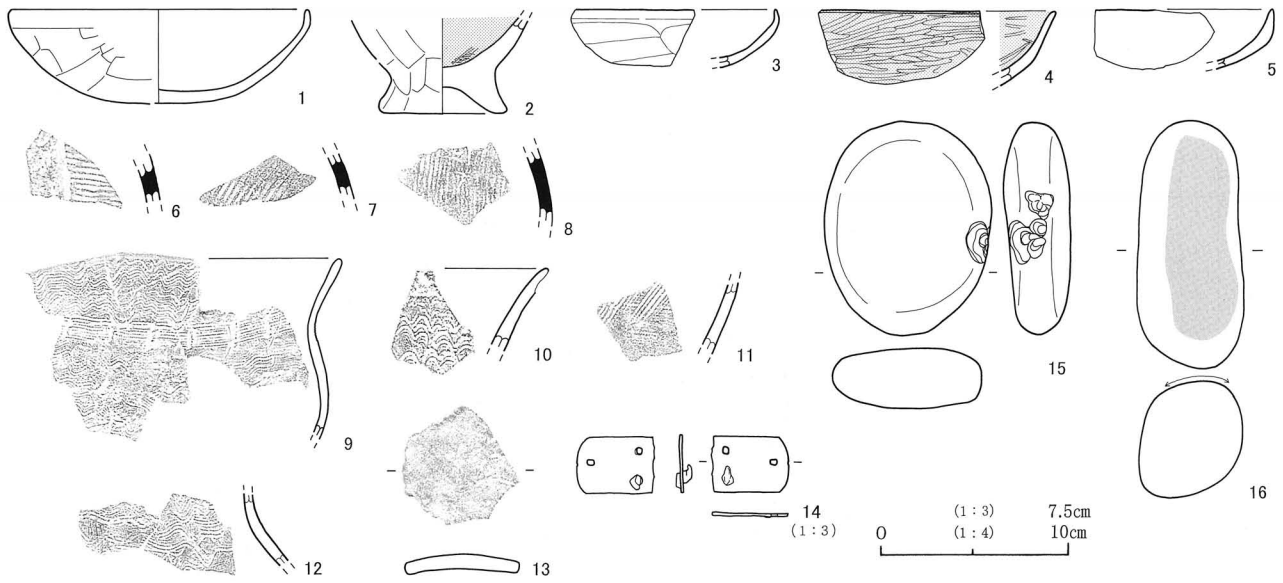
遺物は、土師器坏（1）・台坏甕（2）、須恵器甕（6）、鉄製品（14）、石錘（15）・磨石（16）が出土した。弥生土器は混入である。1は半球状の坏で口縁部短く内弯する。外面ヘラケズリされる。2は分厚く短い台部に内面黒色処理される体部が乗る台付の鉢となるうか。14は鉄製帯金具蛇尾の裏止金具、最大長3.0cm・最大幅2.2cm・厚さ0.1cmを測る。鉾足を折り曲げた鉾が1個残っている。

これら遺物より本址は7世紀後半に位置づけられる。



- 1層 暗褐色土(10YR3/4) にぶい黄褐色土(10YR5/4)のブロック・砂を含む。
- 2層 黒色土(10YR2/1) 粘質有り。
- 3層 黒褐色土(10YR3/1) 砂を含む。
- 4層 にぶい黄褐色土(10YR5/4) にぶい黄褐色(10YR5/4)の砂を多量、白色の砂ブロックを含む。
- 5層 にぶい黄褐色土(10YR5/3) 砂を含む。
- 6層 黒褐色土(10YR3/1) 砂を含む。柔らかくしりまない。
- 7層 灰褐色土(5YR5/2) 灰が主で焼土粒子微量含む。
- 8層 灰褐色土(5YR4/2) 焼土多量、砂少量含む。
- 9層 褐灰色土(5YR6/1) 粘土が主で砂を含む。
- 10層 暗赤褐色土(5YR3/2) 粘土・砂ブロック含む。
- 11層 にぶい黄褐色土(10YR6/4) 黒褐色土(10YR3/2)の小ブロックを含む。
- 12層 にぶい黄褐色土(10YR5/4) シルトが主。
- 13層 灰黄褐色土(10YR6/2) シルトブロック・砂・黒褐色土(10YR3/2)ブロック含む。

第5図 H1号住居址実測図



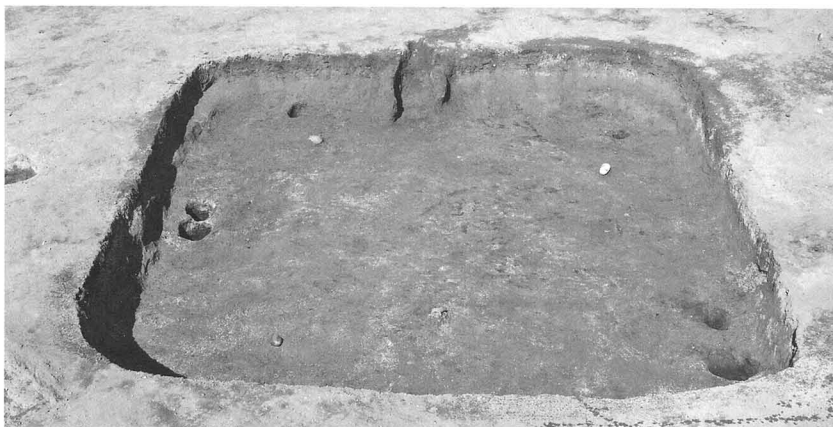
第6図 南近津遺跡V出土遺物実測図

第1表 南近津遺跡V出土遺物観察表

No.	種別	器種	法量			成形・調整・文様				備考	出土位置
			口径(長)	底径(幅)	器高(厚)	内面		外面			
1	土師器	環	(15.6)	·	5.0	口縁~体部下半ヨコナデ 底部ヘラミガキ		口縁ヨコナデ ヘラケズリ		回転実測	H1-No.3
2	土師器	台環鉢	-	5.6	<5.0>	ミガキ→黒色処理 台部ナデ		ヘラケズリ 台部ナデ		完全実測	H1-No.2
3	土師器	環	-	-	<3.2>	ヨコナデ→ヘラミガキ		ヘラケズリ→ナデ		破片実測	Aトレンチ
4	土師器	環	-	-	<3.9>	ミガキ→黒色処理		ミガキ→黒色処理		破片実測	検出面
5	土師器	環	-	-	<3.0>	ヨコナデ→ヘラミガキ		ヘラケズリ→ナデ		破片実測	検出面
No.	器種	素材	残存率	最大長	最大幅	最大厚	重量	所見		出土位置	
14	蛇尾	鉄		3.0	2.2	0.1	3.53	銚が1個残存		H1-No.1	
15	石錘			11.3	8.8	3.6	445.14	右側面に抉り		H1-カマド左袖	
16	磨石			13.0	5.7	6.2	722.54	正面に平坦で滑らかな面、使用痕。		H1-No.4	

第2表 南近津遺跡Vピット計測表

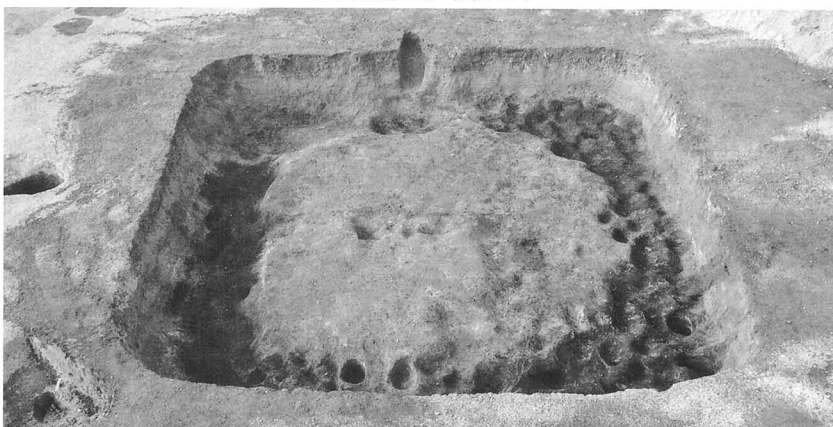
番号	形態	長径×短径×深さ (cm)	覆土	備考
1	方形	80×<56>×55	褐色土(10YR4/4) 砂。小礫を含む	P2を切る 土師器環(内黒)
2	方形	62×54×39(テラス25)	1層褐色土(10YR4/4) 2層にぶい黄褐色土(10YR4/3) 砂。小礫を含む	P2に切られる
3	円形	70×60×67(テラス56)	1層にぶい黄褐色土(10YR4/3) 2層暗褐色土(10YR3/3) 柱痕φ20cm砂・小礫を含む	
4	楕円形	56×44×27(テラス12)	1層褐色土(10YR4/4) 2層黒色土(10YR3/2) 砂。小礫を含む	
5	方形	60×40×22	褐色土(10YR4/4) 砂。小礫を含む	
6	楕円形	<32>×96×56(テラス12)	黒色土(10YR3/2) 砂。小礫を含む	
7	円形	70×60×75	1層褐色土(10YR4/4) 2層黒色土(10YR3/2) 砂。小礫を含む	P23を切る 弥生甕・壺、土師器甕・環
8	円形	54×52×44	黒色土(10YR3/2) 砂。小礫を含む	
9	楕円形	80×52×49	1層黒褐色土(10YR3/2) 2層にぶい黄褐色土(10YR5/4) 砂。小礫を含む	P18・P20を切る 土師器武蔵甕・甕・環片 須恵器壺片
10	楕円形	74×50×51	1層褐色土(10YR4/4) 2層黒色土(10YR3/2) 砂。小礫を含む	P19を切る
11	楕円形	<48>×40×18	暗褐色土(10YR3/3) 砂。小礫を含む	
12	円形	66×60×58	1層褐色土(10YR4/4) 2層黒色土(10YR3/2) 砂。小礫を含む	
13	円形	46×44×20	黒色土(10YR3/2) 砂。小礫を含む	土師器武蔵甕・甕・環・環(内黒)
14	楕円形	80×60×64	1層褐色土(10YR4/4) 2層黒色土(10YR3/2) 砂。小礫を含む	P21を切る
15	-	<94>×<40>×59	1層褐色土(10YR4/4) 砂。小礫を含む 2層明黄褐色土(10YR6/6) 砂主体	土師器環
16	楕円形	70×54×34	1層褐色土(10YR4/4) 砂。小礫を含む	土師器甕
17	円形	104×96×34(テラス22)	黒色土(10YR3/2) 褐色土が斑状に混じる	H1に切られる
18	楕円形	(46)×36×56	1層褐色土(10YR4/4) 砂。小礫を含む	P9に切られる
19	円形	64×(54)×62	黒色土(10YR3/2) 褐色土が斑状に混じる	P10に切られる
20	楕円形	(36)×40×34	黒色土(10YR3/2) 褐色土が斑状に混じる	P9に切られる
21	楕円形?	(24)×44×45	黒色土(10YR3/2) 褐色土が斑状に混じる	P14に切られる 土師器甕・鉢
22	楕円形	36×28×18	暗褐色土(10YR3/3) 砂。小礫を含む	
23	楕円形	(30)×54×65	暗褐色土(10YR3/3) 砂。小礫を含む	P7に切られる



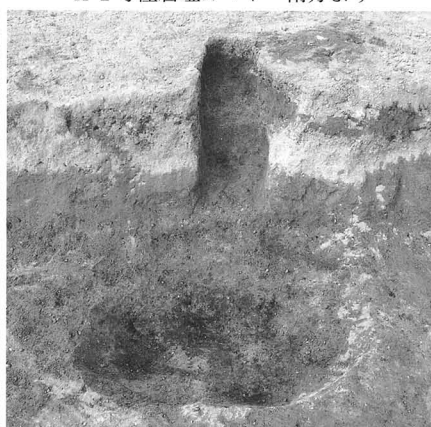
H 1号住居址 南方より



H 1号住居址カマド 南方より



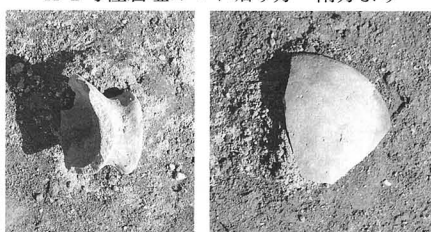
H 1号住居址 南方より



H 1号住居址カマド掘り方 南方より



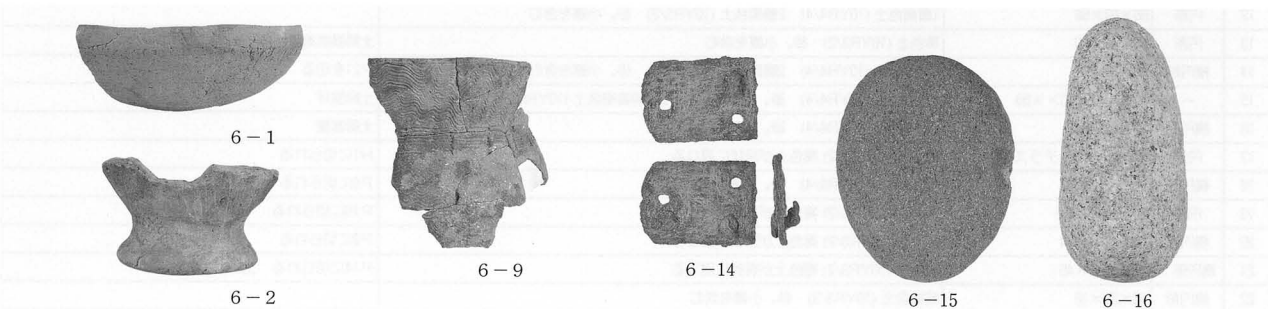
ピット群検出状況 北方より



H 1号住居址遺物出土状況



H 1号住居址鉄製品出土状況



出土遺物

3 本発掘調査報告書

周防畑遺跡群南近津遺跡Ⅳ

所在地 佐久市長土呂字南近津1163-78
1186-7

開発主体者 田中 豊

開発事業名 個人住宅

調査期間 平成22年4月16日～
平成22年4月30日

調査面積 80㎡（開発面積254.76㎡）

調査担当者 上原 学

例言・凡例

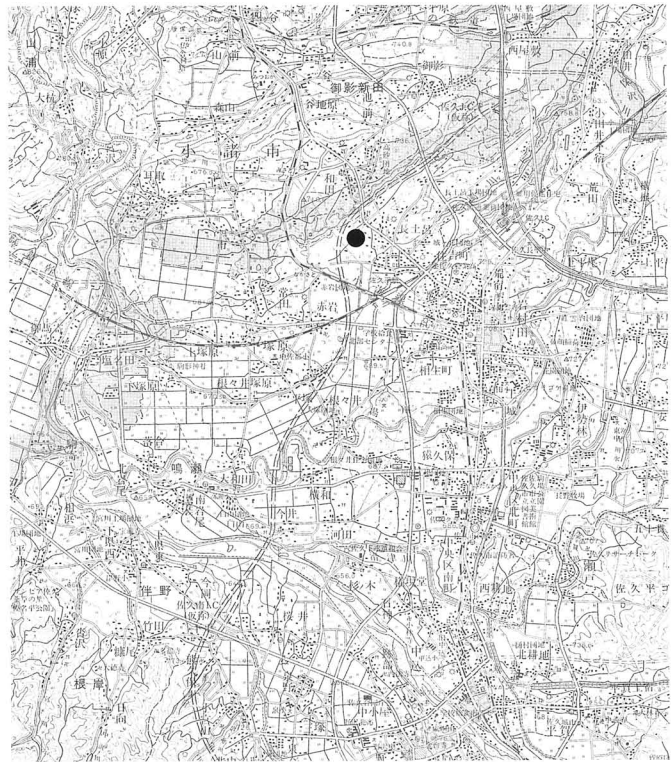
1. 本報告書は、上原英雄が行う個人住宅建設に伴う周防畑遺跡群南近津遺跡Ⅳ（NSCⅣ）の本発掘調査報告である。
2. 本報告書の作成は、上原が行った。
3. 本書及び当遺跡出土遺物等のすべての資料は、佐久市教育委員会の責任下に保管されている。
4. 遺構の略記号は、掘立柱建物址-F、土坑-D、ピット-Pである。
5. 挿図の縮尺は遺構-1/80、遺物-1/4である。
6. 遺構の海拔標高は各遺構毎に統一し、水系標高をスケール上に「標高」として記した。
7. 土層の色調は1988年版「新版 標準土色帖」に基づいた。
8. 調査区は公共座標の区割りにしたが、間隔は4m×4mに設定した。
9. 挿図中のスクリーントーンは、以下のことを示す。



地山



須恵器断面



第1図 周防畑遺跡群南近津遺跡Ⅳ位置図（1：100,000）



第2図 周防畑遺跡群南近津遺跡Ⅳ位置図（1：5,000）

経過と立地

南近津遺跡Ⅳは、佐久市北部の長土呂地積に展開する縄文時代から中世にいたる幅広い時期の複合遺跡で、北に聳える浅間山の麓から放射状に延びる田きり地形の細長い台地南端付近に位置している。この田切り地形は浅間山の噴火によって厚く堆積した火砕流及び降下火山灰によって形成された台地が雨水に浸食され、垂直に切り立った断崖を持つ幾筋もの谷によって台地が分断されたものである。遺跡の存在する地域は南に向かって緩やかに傾斜し、調査地域の標高は711m内外を測る。遺跡周辺には多くの遺跡が所在し、発掘調査も数多く実施されている。近年の調査では、浸食谷を挟んだ西側の台地上で高速道路建設に伴う調査が県埋蔵文化財センターによって行われ、縄文時代から中世の遺構・遺物が多数発見されている。特筆すべき例としては南北18m、東西9.5mを測る巨大な弥生時代の竪穴住居跡、平安時代の銅印、「美濃国」と刻印された奈良時代の須恵器破片をあげることができる。また、調査区と同一台地上の近隣地域においても佐久市教育委員会が主体となって宅地造成・区画及び道路整備に伴う調査が行われ、弥生時代から中世の遺構・遺物が発見され、周辺地域の微高地上は遺跡の密集地帯であることが確認されている。今回、田中豊による個人住宅建築が行われることとなったが、事業用地内は、21年に行われた試掘調査によって遺跡の存在がすでに確認されている地域であることから、工事によって遺構の破壊が予測される80㎡について、遺跡の記録保存を目的とした本発掘調査を実施した。

調査の概要

遺構

掘立柱建物址－1
(弥生～平安時代)

土坑－2

ピット－4

遺物

弥生土器

土師器

須恵器

鉄器

基本層序

I層 盛土 (厚さ30cm)

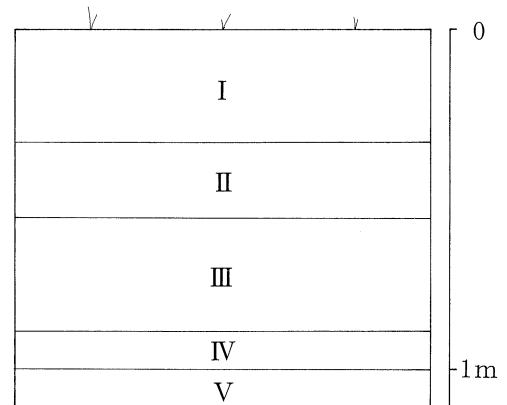
II層 整地層 (厚さ20cm)

III層 旧表土 (厚さ30cm)

IV層 漸移層 (厚さ10cm)

V層 浅間の噴出物である
黄褐色のローム。

遺構の確認は本層上
面である。



第3図 基本層序模式図

調査日誌

平成22年度

4月16日～ 発掘調査機材の搬入・調査準備・現地打ち合わせ。

4月20日 重機による表土除去・ダンプによる廃土運搬。

4月21日 調査員による発掘調査開始。

遺構検出及び掘り下げ作業。

測量基準杭の設定。

4月23日 遺構の掘り下げ作業終了。

4月28日 遺構の図面作成終了。

4月30日 機材撤収・トイレ撤去。現場作業はすべて終了。

発掘調査終了報告書・遺物発見届けの提出。

平成23年度

4月25日～ 報告書作成に伴う整理作業

遺物洗浄、注記、実測、トレース、遺構・遺物図版作成、遺物写真撮影、原稿作成。

遺構と遺物

1 F1号掘立柱建物址

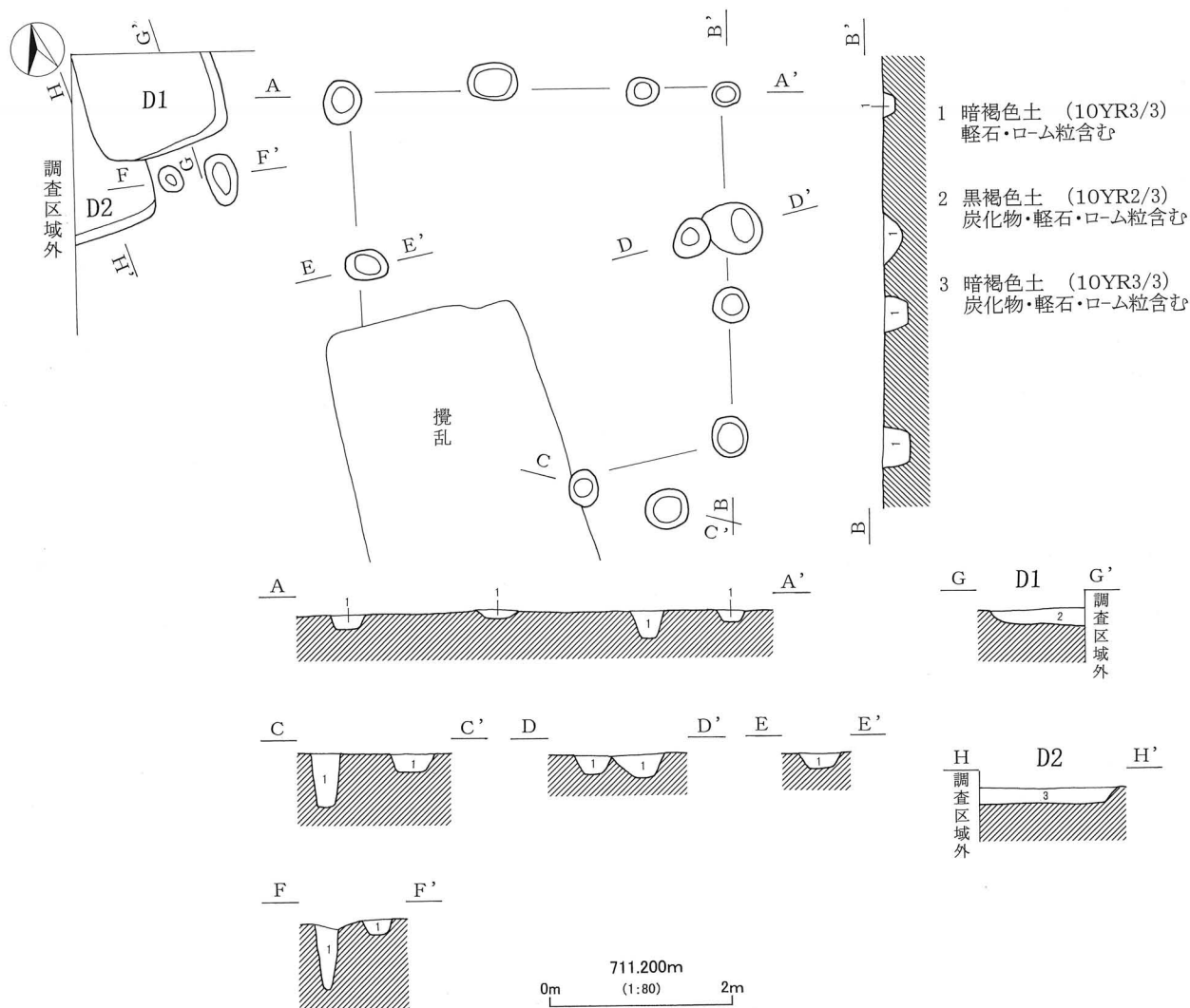
遺構は2間×2間の側柱で、南西端は攪乱によって破壊されている。確認できたピットは6個である。規模は直径30~50cm、深さは遺構確認面から10~20cmを測る。形態はほぼ円形を示している。

2 D1号土坑

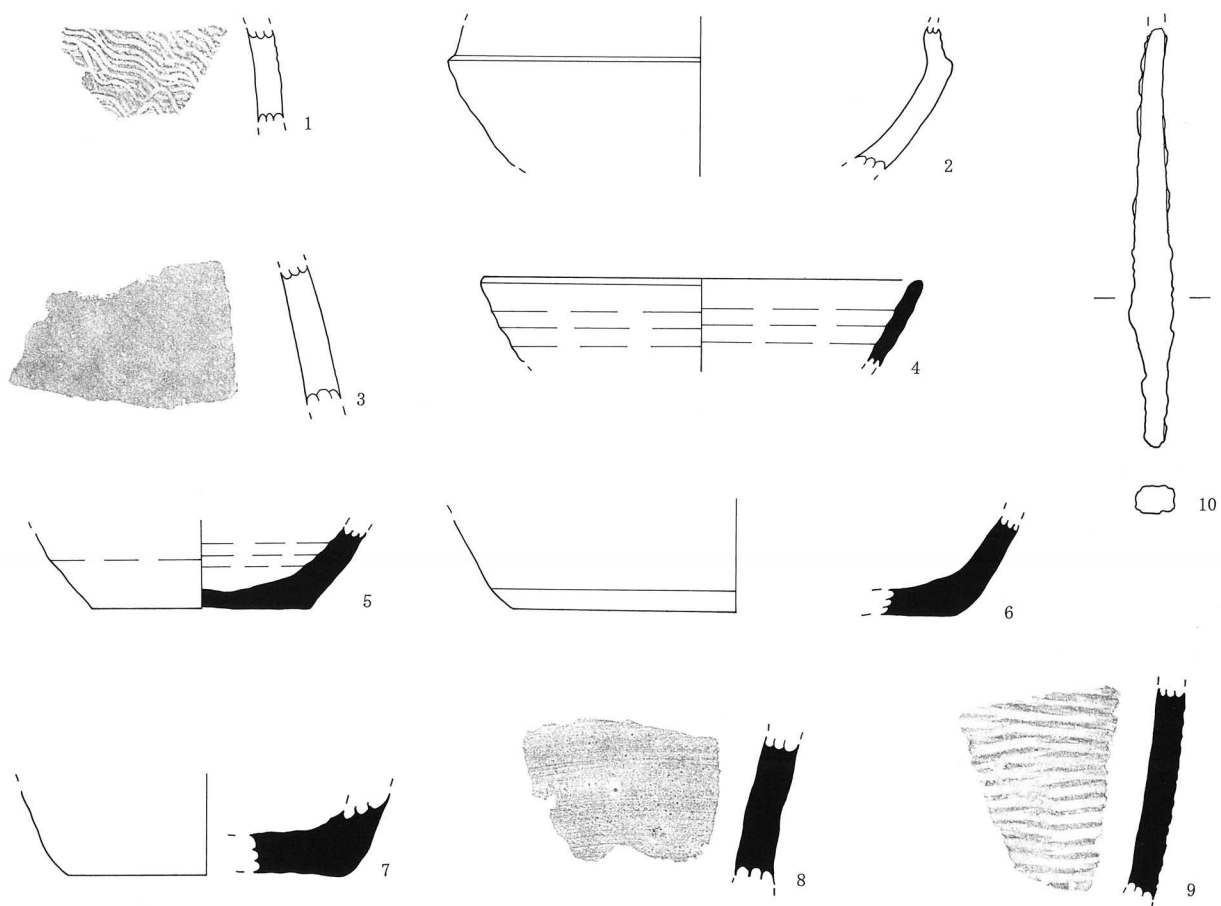
遺構は調査区北西角に位置し、北側は調査区域外となり、D2を切る。調査規模は東西1.5m、南北1.2m、深さは最深で10cmである。

3 D2号土坑

遺構は調査区北西角に位置し、西側は調査区域外となり、東側の一部はD1に切られる。調査規模は東西1.0m、南北1.6m、深さは最深で10cmを測る。遺物は、覆土内から鉄製品が出土した。断面及び形状から鉄鏃の可能性が考えられる。



第4図 F1号掘立柱建物址、D1・2号土坑実測図



第5図 南近津遺跡IV出土遺物実測図

第1表 南近津遺跡IV出土遺物観察表

番号	器種	器形	口径cm	低径cm	器高cm	調整・文様	出土位置	残存率・部位	色調整
1	弥生土器	甕	-	-	-	外面櫛描波状紋 内面ミガキ	検出	体部破片	10YR5/6黄褐色
2	土師器	坏	-	丸底	-	外面ヘラ削り 内面ナデ	検出	体部破片	10YR4/4褐色
3	土師器	甕	-	-	-	外面ナデ 内面ヘラナデ	検出	胴部破片	2.5GY5/1オリーブ灰色
4	須恵器	坏	11.8	-	-	内外面口クロナデ	検出	口縁破片	N5/1灰色
5	須恵器	壺	-	5.8	-	底部ヘラ削り 内外面口クロナデ	検出	底部～胴部破片	7.5Y6/1灰色
6	須恵器	壺	-	12	-	底部回転糸切り 内外面口クロナデ	検出	底部～胴部破片	7.5Y5/1灰色
7	須恵器	壺	-	6.7	-	底部ヘラ削り 内面口クロナデ	検出	底部～胴部破片	2.5GY5/1オリーブ灰色
8	須恵器	甕	-	-	-	内外面口クロナデ	検出	胴部破片	5G2/1緑黒色
9	須恵器	甕	-	-	-	外面平行叩き	検出	胴部破片	2.5GY4/1暗オリーブ灰色
番号	器種	器形	長さcm	幅cm	厚さcm	調整・文様	出土位置		
10	鉄製品	鉄鏃?	11.1	1	0.6		D2	基部欠損	



表土除去作業



基準杭設定作業



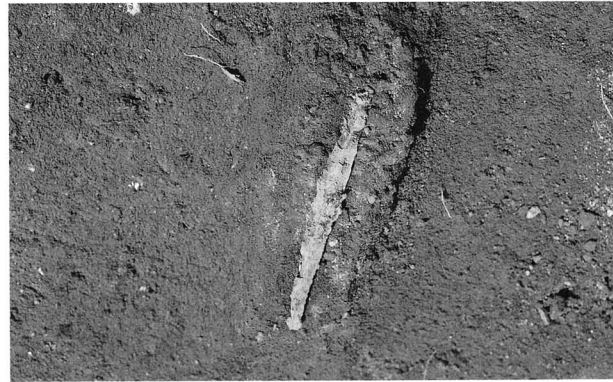
調査風景



F 1号掘立柱建物址全景 (南西から)



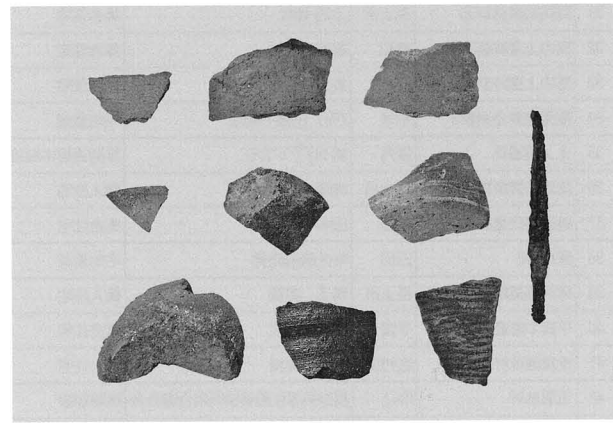
D 1・2号土坑全景 (南から)



D 2号土坑鉄製品出土状況



調査区全景 (南から)

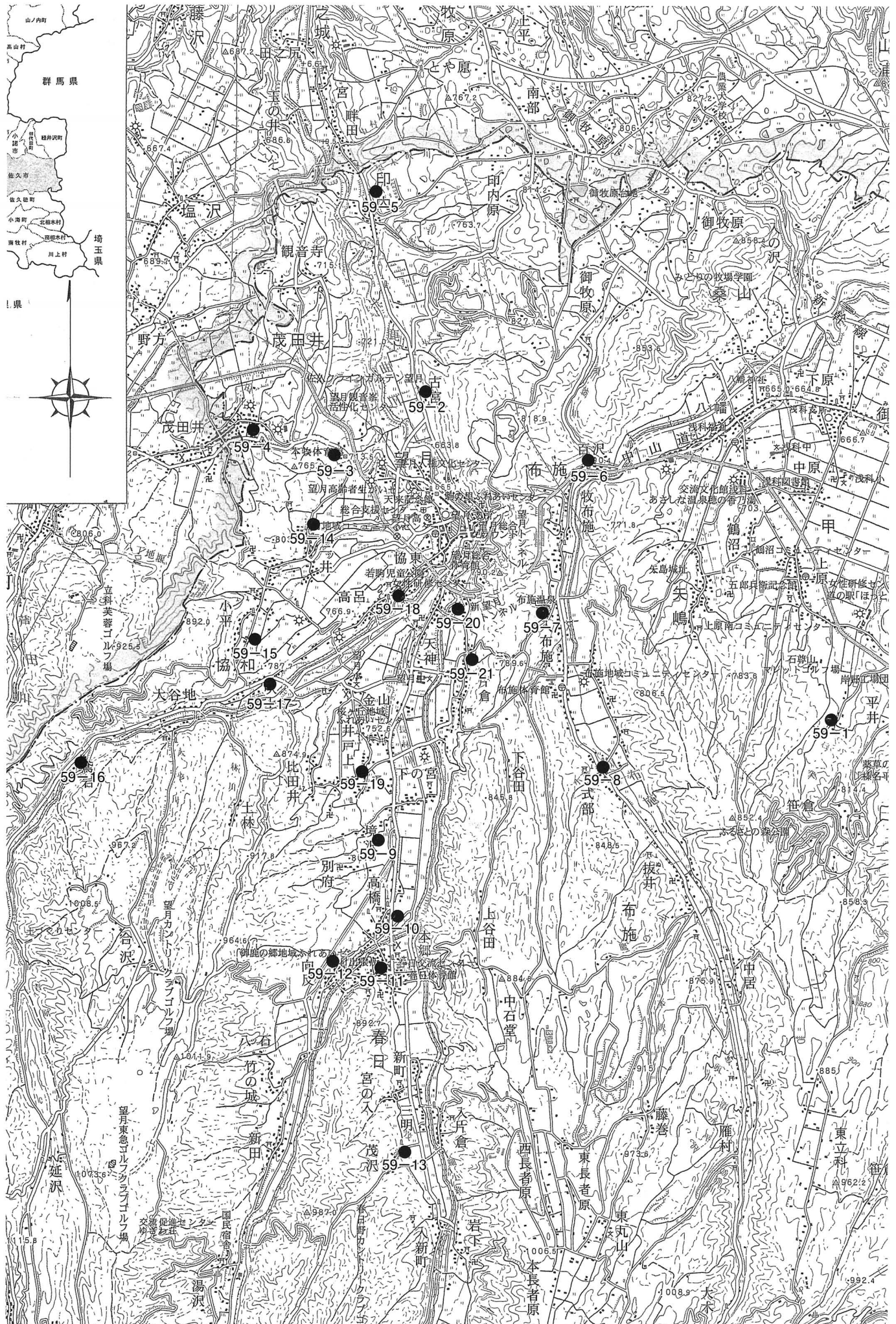


出土遺物

2010年度（平成22年度）市内遺跡発掘調査一覧表

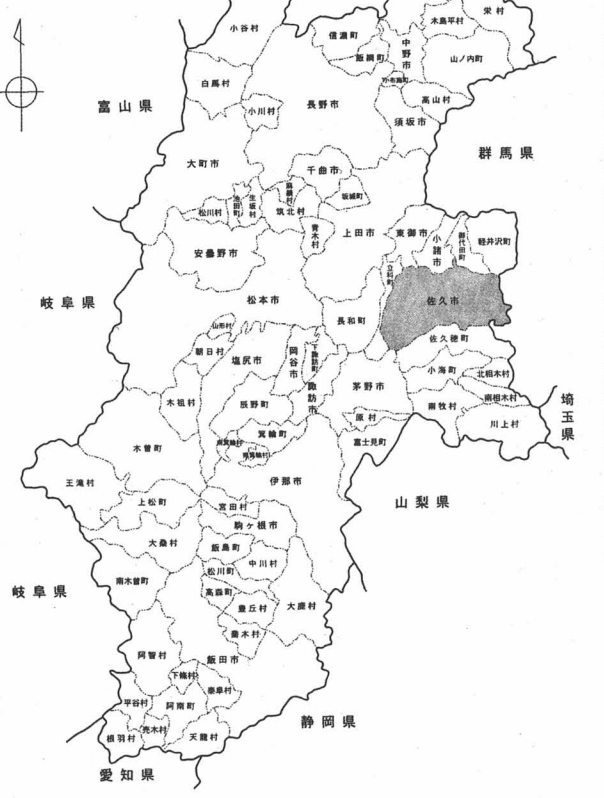
No.	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	調査面積	開発面積	保護措置	調査期間	備考
					(㎡)	(㎡)			
1	松の木遺跡9	岩村田	佐久市	学校建設	380	36,000	試掘	H22.10.21・22.11.1・2・4	
2	小山の神B遺跡2	小宮山	碓井 正雄	墓地造成	74	179	試掘	H22.4.28～5.7	
3	白山遺跡群6	鳴瀬	花里 寛一	集合住宅	138	874.89	試掘	H22.4.19・20、7.7	住居址
4	松の木遺跡10	猿久保	(有) 新日本開発	店舗	22	515.27	試掘	H.22.4.13	
5	岩村田遺跡群126	岩村田	(株) セブナイレブソフ・ジャパン	店舗	536	2,101.50	試掘	H22.4.23～27	住居址・溝・土坑・ピット
6	白山遺跡群7	横和	佐久市	道路建設	291.60	1,400	試掘	H22.4.22・23	住居址・溝・土坑・ピット
7	像ヶ岡遺跡	前山	前山南区長	公会場建設	32	501.04	試掘	H22.7.21・22	
8	西近津遺跡群12	長土呂	小池 澄江	集合住宅	42	1,124.64	試掘	H22.9.27	
9	大塚遺跡群8	中込	(有) 信州ファーマ	店舗	30	163.83	試掘	H22.7.20	
10	西近津遺跡群13	長土呂	茂木 義秀	集合住宅	340	1,382.00	試掘	H22.7.20～30	住居址・溝・土坑・ピット
11	高師町遺跡群9	新子田	中澤 文一	個人住宅	60	551.69	試掘	H22.6.18	
12	西近津遺跡群14	長土呂	原野 春彦	集合住宅	46	495	試掘	H22.7.21	
13	野馬窪遺跡群9	猿久保	(株) エヌ・ティ・ティ・ドコモ	無線基地局	52	185	試掘	H22.8.3～11・25	住居址・土坑・ピット
14	望月城跡	望月	日本放送協会 長野放送局	放送事業	13	25	試掘	H22.8.18・19	
15	中道遺跡群13	前山	(株) エヌ・ティ・ティ・ドコモ	無線基地局	15	48.30	試掘	H22.9.13・14	住居址・溝
16	岩村田遺跡群127	岩村田	早川 功	個人住宅	25	522.91	試掘	H22.7.28	住居址・溝・土坑・ピット
17	城下遺跡5	白田	菊池 智一	個人住宅	26	371.98	試掘	H22.9.17	
18	荒船湖遺跡群2	内山	佐久市	防災無線中継所	6	29	試掘	H22.10.18	
19	枇杷坂遺跡群69	岩村田	小林建設工業(株)	事務所	71	667.61	試掘	H22.9.13・14	住居址・溝・土坑・ピット
20	周防畑遺跡群54	長土呂	上原 英雄	個人住宅	85	471	試掘	H22.10.5	住居址・ピット
21	馬瀬口遺跡群5 高師町遺跡群10	瀬戸	中部電力(株)	電気等	727 640	681 126	試掘	H22.11.26 ～12.7	住居址・溝・土坑・ピット
22	上滝遺跡2・中滝遺跡2 下滝遺跡3	湯原	佐久市	道路改良	33	450	試掘	H23.2.4・22	
23	田口館跡2	田口	中條 衛次	個人住宅	50	401	試掘	H22.10.29	
24	尼塚遺跡群2	鳴瀬	中部電力(株)	電気等	6.40	52.50	試掘	H22.10.29	
25	西赤座遺跡14	岩村田	学校法人聖啓学園	食堂等改修工事	7	463.32	試掘	H22.11.12	
26	権現山遺跡群2	甲	寺岡 史人	診療所建設	170	994	試掘	H23.1.26	
27	深堀遺跡群7	瀬戸	(有) 田園不動産	宅地造成	332	1,406.67	試掘	H22.11.7	住居址
28	宮の上遺跡群18	横和	黒沢 忠雄	集合住宅	87.50	452	試掘	H22.12.17・18	溝
29	宮の上遺跡群19	横和	上原 稔	集合住宅	148	674	試掘	H22.12.17・18	溝・土坑
30	前田遺跡群13	塚原	佐藤 徳雄	集合住宅	90	983.98	試掘	H23.2.7	
31	周防畑遺跡群55	長土呂	上田 民代	集合住宅	40	282.97	試掘	H23.1.7	
32	宮の上遺跡群20	横和	黒沢 忠雄	集合住宅	71	391.20	試掘	H23.1.24、2.14～16	住居址・土坑・ピット
33	宮の上遺跡群21	横和	奥村 茂貴	集合住宅	92	442	試掘	H23.1.24、2.14～16	住居址・土坑・ピット
34	塚原屋敷遺跡5	平塚	(有) 田園不動産	宅地造成	21	2,611	試掘	H22.2.3	
35	上ノ段遺跡	望月	(株) NTTドコモ	移動通信中継施設	2.50	318.65の内9.34	試掘	H23.3.3	
36	周防畑遺跡群56	長土呂	神津 公洋	個人住宅	36	190.02	試掘	H23.3.8	
37	跡部徳田遺跡群	跡部	田中 文央	集合住宅	114	1,257	試掘	H23.3.10	
38	原遺跡2	白田	(株) 大勝田開発	宅地造成	260	1,445	試掘	H23.2.24・25	
39	周防畑遺跡群57	長土呂	嶋下 直哉	個人住宅	92	635.66	試掘	H23.3.3	
40	平賀中屋敷遺跡群13	平賀	北沢 博之	集合住宅	76	495	試掘	H23.3.23	
41	蛇塚遺跡群24	岩村田	田村 勇城	個人住宅	50	476.18	試掘	H23.3.31	
42	包蔵地外	中込	長野県厚生農業協同組合連合会	病院建設	17,306	131,556	試掘	H22.10.12～12.24	
43	田口館跡3	田口	宗教法法人 蕃松院	寺院改修		9,500	立会	H21.2.20～H23.3.31	

No.	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	調査面積	開発面積	保護措置	調査期間	備考
					(㎡)	(㎡)			
44	上平遺跡群4	鳴瀬	佐久建設事務所	道路		850	立会	H22.4.15	
45	新町遺跡11	中込	佐久建設事務所	道路改良		830	立会	H23.3.23	
46	龍岡城跡4	田口	鷲見 彰	個人住宅		585.66	立会	H22.6.7~18	
47	龍岡城跡5	田口	岩田 昭雄	個人住宅		391.42	立会	H22.5.24~31	
48	野沢城跡22	野沢	清水 琢磨	個人住宅		199	立会	H22.4.16	
49	岩村田遺跡群128	岩村田	㈲エルブールス	店舗		401.53	立会	H22.5.18	
50	三分遺跡群2	三分	岩岡 修	個人住宅		401.72	立会	H22.5.17	
51	大塚遺跡群9	中込	佐久市	駐車場等整備工事		1,900	立会	H22.7.15	
52	岩村田遺跡群129	岩村田	宮原 みゆき	個人住宅		238.68	立会	H22.6.10	
53	西妻神遺跡4	中込	小西 光子	個人住宅		614.28	立会	H22.7.5	
54	浅井城跡4	新子田	小平 健夫	個人住宅		284	立会	H22.7.26	
55	蛇塚遺跡群25	猿久保	佐久市	下水道		2.25	立会	H22.9.2	
56	野馬窪遺跡群10	猿久保	佐久土地開発公社	土測溝		100	立会	H22.7.20	
57	扇田遺跡2	内山	ソフトバンクモバイル(株)	無線基地局		1.44	立会	H22.11.30	
58	周防畑遺跡群58	長土呂	佐藤 剛	個人住宅		240.32	立会	H22.9.22	
59	五本木遺跡 (外20件別紙一覽)	根岸	佐久市	防災無線		1.13	立会	H22.10.20~11.20	
60	社宮司遺跡3	原	柳澤 裕樹	個人住宅		347	立会	H22.10.26	
61	周防畑遺跡群59	長土呂	片井 宏治	個人住宅		241.63	立会	H22.10.13	
62	日向屋敷遺跡	根々井	佐久市	公共下水道		7.7 5.5	立会	H22.11.15-16	
63	西大久保遺跡群15	下平尾	佐久市	公共下水道		172.90	立会	H22.12.10、 H23.1.11	
64	西大久保遺跡群16	下平尾	佐久市	公共下水道		212.40	立会	H22.10.29	
65	龍岡城跡6	田口	教育委員会	看板設置		30	立会	H23.2.1	
66	樋口遺跡	上小田切	佐久市	公共下水道		199.50	立会	H23.1.19	
67	原遺跡3	田口	佐久市	公共下水道		172.90	立会	H23.1.20	
68	東大久保遺跡群12	下平尾	水澤 仁太郎	個人住宅		367	立会	H23.2.3	
69	馬瀬口遺跡群6	瀬戸	坂井 豊治・一民	個人住宅		448.84	立会	H22.12.10-11	
70	平賀中屋敷遺跡群14	平賀	佐久市	公共下水道		149	立会	H23.1.12~14・17・ 24、2.2	
71	上砂田遺跡5	岩村田	須江建設工業(株)	個人住宅		475	立会	H22.12.15	
72	大沢屋敷遺跡	大沢	ソフトバンクモバイル(株)	無線基地		4	立会	H22.12.27	
73	町浦遺跡	蓬田	ソフトバンクモバイル(株)	無線基地		1.44	立会	H23.1.24	
74	神明B遺跡	八幡	ソフトバンクモバイル(株)	無線基地		1.44	立会	H22.12.25	
75	山ノ畑遺跡	甲	ソフトバンクモバイル(株)	無線基地		1.44	立会	H23.2.14	
76	黒田A遺跡2	内山	ソフトバンクモバイル(株)	無線基地		1.44	立会	H22.12.25	
77	大井城跡3	岩村田	佐久市	公共下水道		280	立会	H22.12.25	
78	岩村田遺跡群130	岩村田	佐久市	公共下水道		170	立会	H23.1.21・24・28・31、 2.9	
79	松の木遺跡11	岩村田	佐久市	公共下水道		205	立会	H23.2.4	
80	大井城跡4	岩村田	佐久市	道路		540	立会	H22.12.22	
81	筒畑遺跡群4	安原	ソフトバンクモバイル(株)	無線基地		1.44	立会	H23.1.14	
82	曾根城遺跡2・ 芝宮遺跡群26	小田井	佐久市	公共下水道		299	立会	H23.3.1	
83	大井城跡5	岩村田	佐久市	公共下水道		37	立会	H23.1.25-28	
84	周防畑遺跡群60	長土呂	古林 和敏	個人住宅		240.93	立会	H23.1.28	
85	西大久保遺跡群17	上平尾	里見 英司	個人住宅		499.98	立会	H23.3.1	
86	筒畑遺跡群5	新子田	佐久建設事務所	用水路		3,879	立会	H23.3.8-9	
87	栗毛坂遺跡群50	岩村田	JA 佐久浅間(株)アメック	個人住宅		263.83	立会	H23.3.9	
88	岩村田遺跡群131	岩村田	篠原 洋	個人住宅		573.52	立会	H23.3.29	



五本木遺跡 他20件位置図 (1 : 50,000)

位置図



2010年度(平成22年度)市内遺跡発掘調査位置図(1:50,000)

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第196集
市内遺跡発掘調査報告書2010

2012年3月

編集・発行 長野県佐久市教育委員会

長野県佐久市中込3056

文化財課

長野県佐久市志賀5953

電話 0267-68-7321

FAX 0267-68-7323

印刷所 株式会社 佐久印刷所
